# 6 よこ張りの施工

6－1. 施工の手順とポイント　・・・・P143
6－2. 15㎜品　各部位の納まり図　・・・・P156

# 6－1. 施工の手順とポイント

6－1－1. 施工の流れ
①15㎜品の場合 ・・・・P144

6－1－2. 下地の施工
①柱・間柱・サッシなどのチェック ・・・・P145
②捨て水切または通気水切の取り付け ・・・・P145
③透湿防水シート張り ・・・・P146
④胴縁の取り付け ・・・・P146

6－1－3. 本体、部材の施工
①先付け部材の施工 ・・・・P148
②本体の施工 ・・・・P150
③後付け部材の施工 ・・・・P153
④シーリング材の施工 ・・・・P154
⑤SP-ガルスパン、SP-ビレクトの施工ポイント ・・・・P155
⑥補修・点検・片づけ ・・・・P155

## 6－1. 施工の手順とポイント

### 6－1－1. 施工の流れ

## ①15㎜品の場合

サイディング本体施工の流れ

⇩

捨て水切または通気水切の取り付け※1

⇩

透湿防水シート張り

⇩

胴縁取り付け

⇩

墨出し

⇩

水切取り付け

⇩

下地材、止縁取り付け …①

⇩

スターター取り付け

⇩

サイディング本体取り付け
（横走り防止シーリング）

⇩

キャップ類取り付け …②

⇩

シーリング

⇩

クリーニング

※1　水切15Sまたは通気水切15を使用する場合。
① 先付け部材
② 後付け部材

よこ張りに使用する部材

| 部位 | 必要部材 | 手順 |
|---|---|---|
| 土台部 | 水切15S／通気水切15<br>スターター15S | ①<br>① |
| 出隅部 | 〔出隅下地15N<br>3M出隅キャップ15-25<br>4M出隅キャップ15-25〕<br>段出隅 | ①<br>②<br>②<br>② |
| 入隅部 | 止縁C15<br>〔入隅下地15S<br>入隅キャップ15-25S〕 | ①<br>①<br>② |
| 横継ぎ部 | 〔段Tジョイナー15-25<br>段キャップ類<br>フラットTキャップ15〕<br>〔ワンタッチTジョイナー15N<br>ワンタッチHキャップ15-25〕 | ①<br>②<br>②<br>①<br>② |
| 軒部 | 通気軒見切15-25<br>止縁C15<br>〔止縁捨板<br>止縁キャップC15〕 | ①<br>①<br>①<br>② |
| 見切り部 下屋 | スターター15S<br>縦用スターター15 | ①<br>① |
| 笠木部 | 通気水切15<br>スターター15S | ①<br>① |
| 下がり壁部 | 下がり壁水切D45<br>スターター15S<br>縦用スターター15 | ①<br>①<br>① |
| 開口部 上 | 捨板（15×85）<br>小口カバー15<br>止縁C15※2 | ①<br>① |
| 開口部 左右・下 | 〔止縁C15<br>止縁捨板<br>止縁キャップC15〕 | ①<br>①<br>② |
| 開口部 隅角 | ワンタッチコーナー<br>キャップ15-25 | ② |

注）部材の〔〕内はセットで使用してください。商品毎に対応部材が異なります。
各商品の部材規格をご確認ください。
※2　水抜き穴（Φ5@300㎜）の現場加工が必要です。
① 先付け部材
② 後付け部材

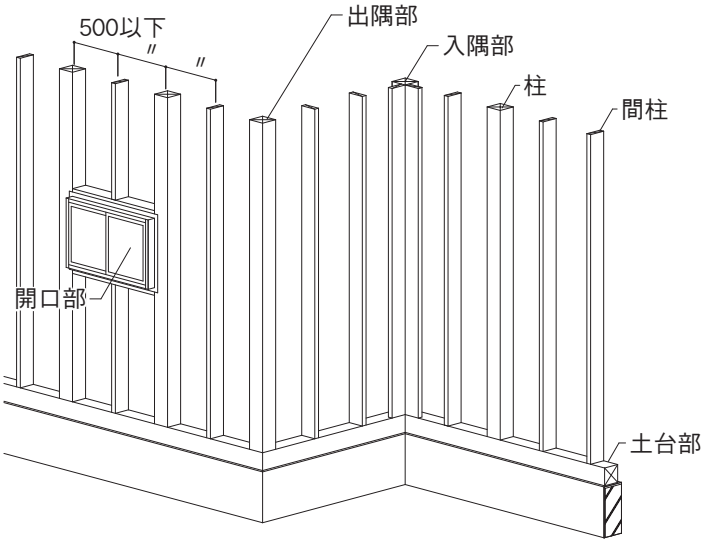
# 6－1. 施工の手順とポイント

単位：㎜

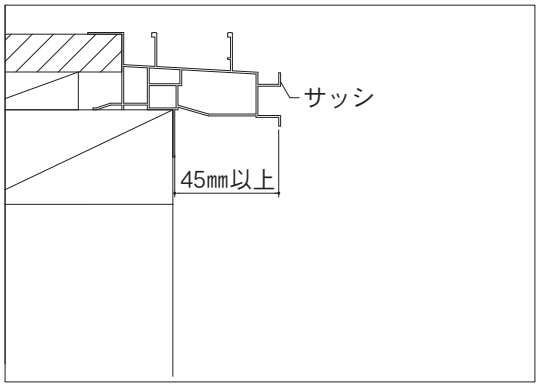
## 6－1－2. 下地の施工

### ①柱・間柱・サッシなどのチェック

・柱、間柱の間隔は500㎜以下としてください。（一部の防耐火構造認定では455㎜以下に指定されています。）
・本体に室内側から何らかの力が加わると、仕上がりの意匠に影響が出る場合があります。取り付け面に突起物がないことを確認してください。また、躯体と本体との間に充てん材などを施工する場合は、本体に充てん材などの反発力が作用しない構造としてください。
・入隅部、開口部などでは、90㎜幅の胴縁を取り付けます。胴縁の取り付け面を確保してください。
・サッシは、半外付けサッシまたは外付けサッシを使用してください。

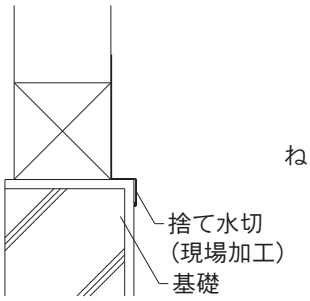



・サッシは、下地表面からの出幅が45㎜以上のものを使用してください。

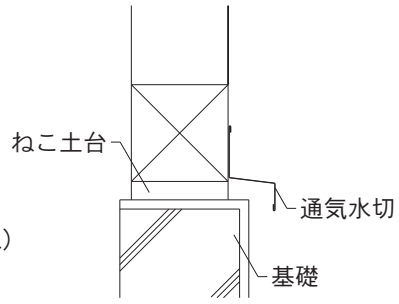



### ②捨て水切または通気水切の取り付け

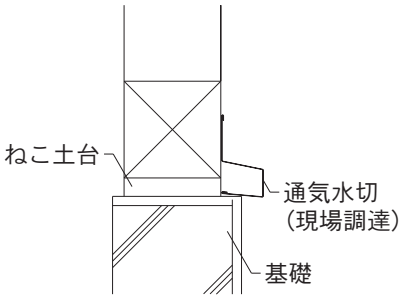
○水切15Sを使用する場合




○通気水切15を使用する場合




○水切（現場調達）を使用する場合



単位：㎜

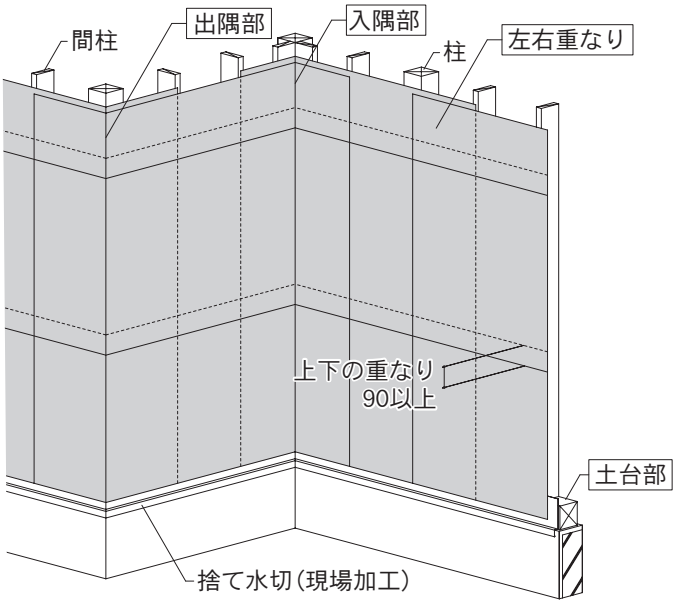
## 6－1－2. 下地の施工

### ③透湿防水シート張り

1）一般部

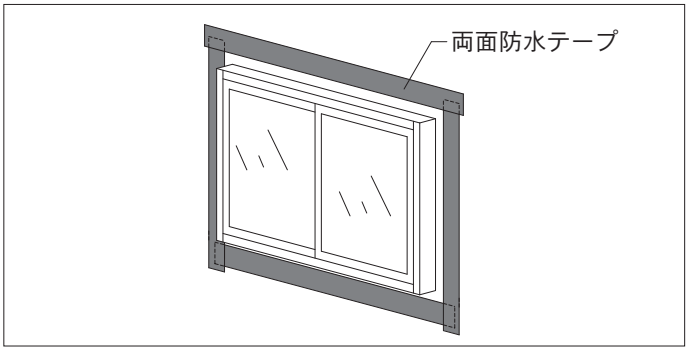
・透湿防水シートは横張りを原則とし、下から上へ張り上げてください。重ね合わせは鉛直方向で、90㎜以上、水平方向で耐力面材のない場合は、間柱（柱）と間柱の間とし、耐力面材のある場合は150㎜以上としてください。

・換気口、配管回り、その他の壁貫通口などの周囲は、防水テープを貼り、すき間ができないように透湿防水シートと密着してください。




2）開口部

・開口部では、サッシ枠周囲に両面防水テープを貼り、すき間ができないよう防水紙を密着してください。




### ④胴縁の取り付け

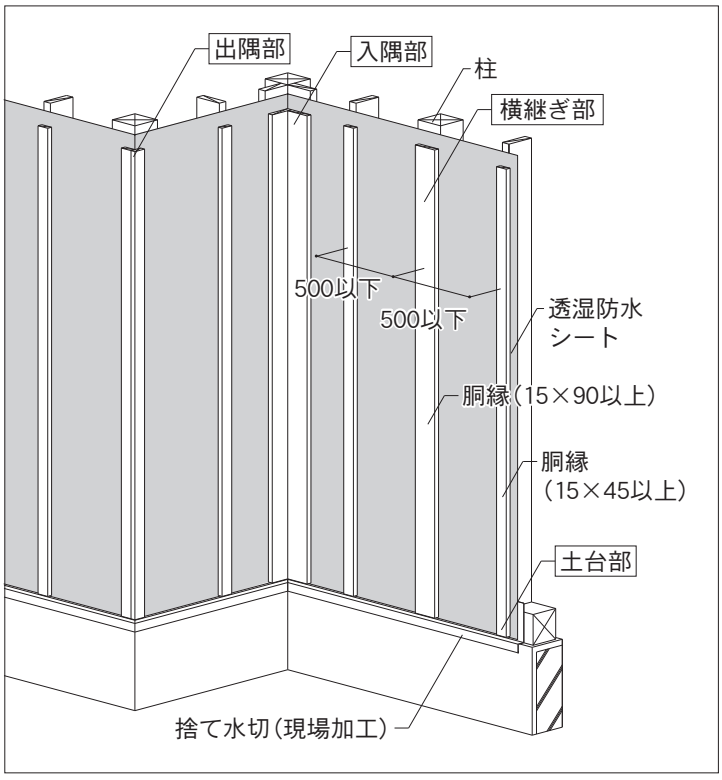
次の胴縁を施工してください。
胴縁間隔：500㎜以下
一部の防耐火構造認定では、455㎜以下

| 部位 | 胴縁サイズ |
|---|---|
| 一般部<br>出隅部 | 15×45㎜以上 |
| 横継ぎ部<br>開口部 | 15×90㎜以上、<br>または15×45㎜以上（ダブル） |

・積雪地域では、雪の積もる高さまで、胴縁間隔を狭くするなどの対処をしてください。

・胴縁は、柱・間柱に確実に留め付けてください。

・虫の多い地域は、虫が入らない様に、通気の出入り口には防虫網を取り付けてください。

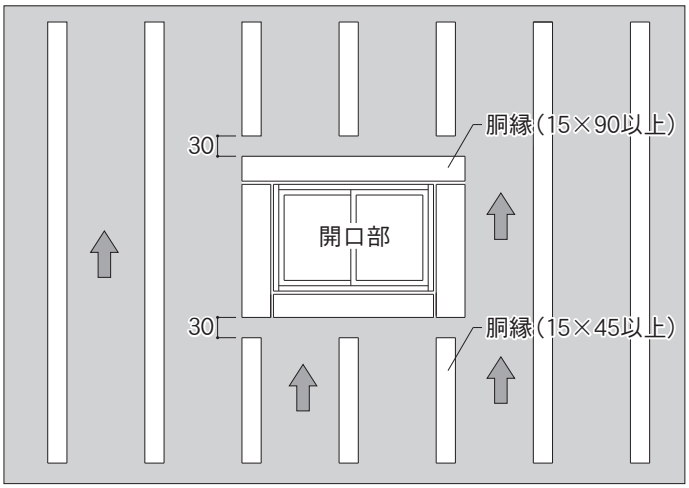


## 6－1. 施工の手順とポイント

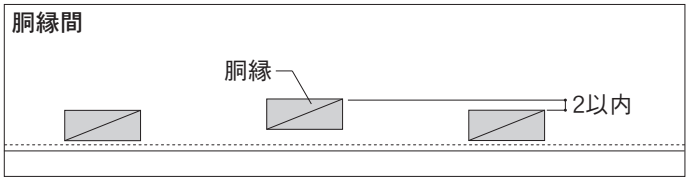
単位：㎜

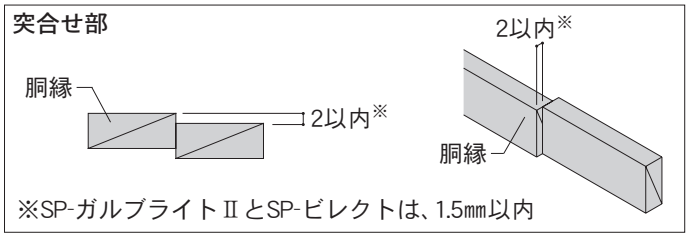
### 6－1－2. 下地の施工

・開口部
開口部周囲の胴縁は、30㎜程度のすき間をあけ、通気を妨げないように施工してください。




・胴縁の不陸
本体を施工する前に、胴縁の不陸を確認し調整をしてください。
胴縁間の不陸は、2㎜以内、突合せ部は2㎜以内としてください。SP-ガルブライトⅡとSP-ビレクトは、表面がフラットです。表面のゆがみや下地の跡が強調される場合があります。突合せ部は、1.5㎜以内としてください。



単位：㎜

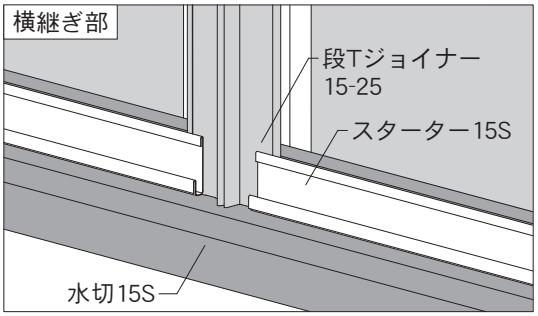
## 6－1－3. 本体、部材の施工

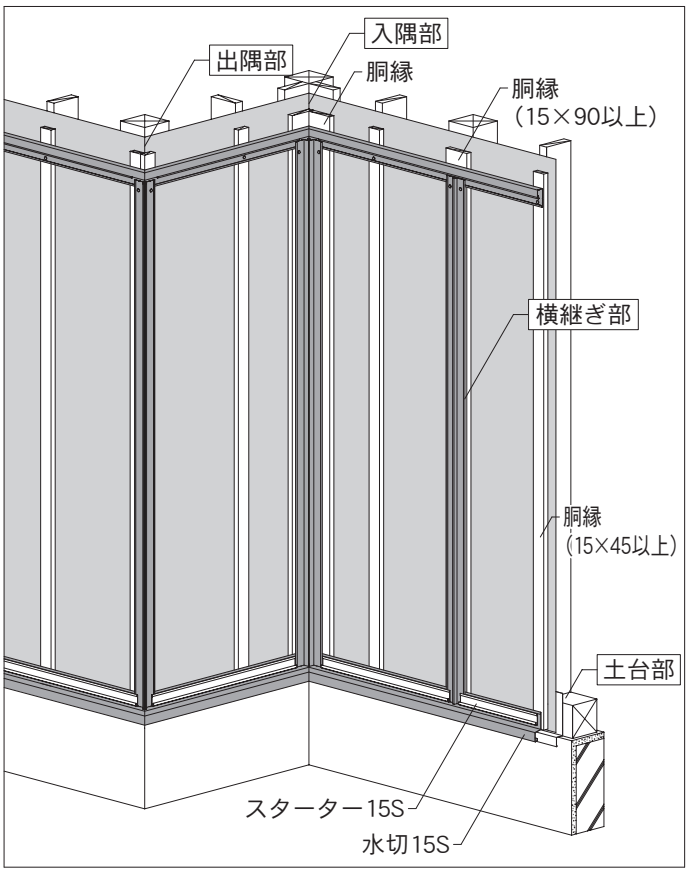
### ①先付け部材の施工

1）部材の施工順序

| 施工順序 | 部位 | 部材名 |
|---|---|---|
| 1 | 土台部 | 水切15S |
| 2 | 出隅部 | 出隅下地15N |
| 3 | 入隅部 | 入隅下地15S |
| | | 止縁C15または止縁捨板 |
| 4 | 土台部 | スターター15S |

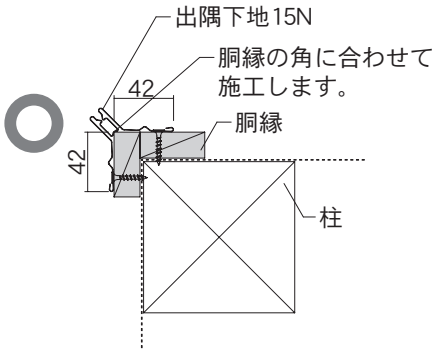
・部材の加工例とつなぎ方を併せて参照ください。（P220～）

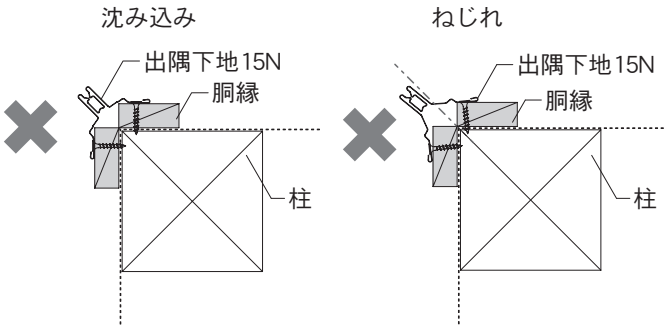



2）墨出し

・墨出しを行い、先付け部材を水平、垂直に施工してください。
・出隅下地15N を留め付ける際に、ねじれたり沈み込んだりすると3M ／ 4M 出隅キャップ15-25がはまりにくくなります。墨出しを行ってから、出隅下地15N を施工してください。



## 6－1. 施工の手順とポイント

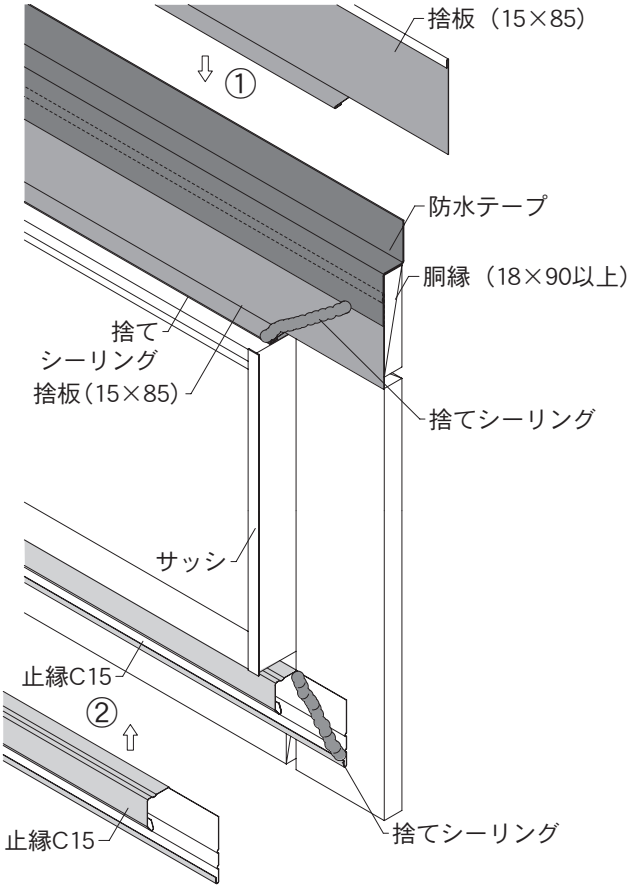
単位：㎜

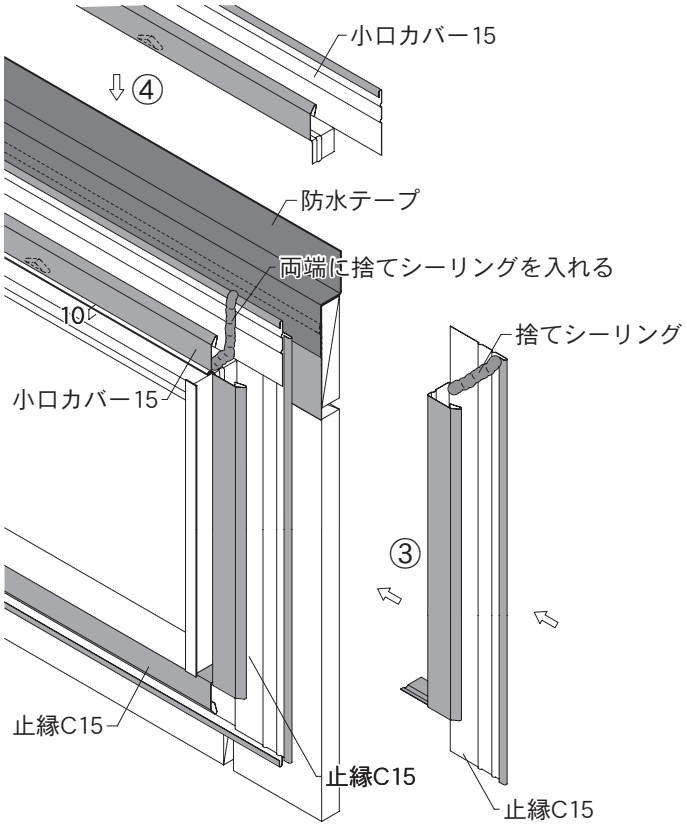
### 6－1－3. 本体、部材の施工

3）開口部：部材の施工順序
・次の順序で施工してください。

| 施工順序 | 部位 | 部材名 |
|---|---|---|
| 1 | 開口部上 | 捨板（15×85） |
| 2 | 開口部下 | 止縁C15 |
| 3 | 開口部左右 | 止縁C15 |
| 4 | 開口部上 | 小口カバー15または止縁C15 |
| 5 | 隅角部 | ワンタッチコーナーキャップ15-25 |

4）その他の部材
横継ぎ部、出入隅部などの納めには、複数の部材を用意しています。6-2.15㎜品 各部位の納まり図を併せて参照してください。 （P156～）



単位：㎜

## 6－1－3. 本体、部材の施工

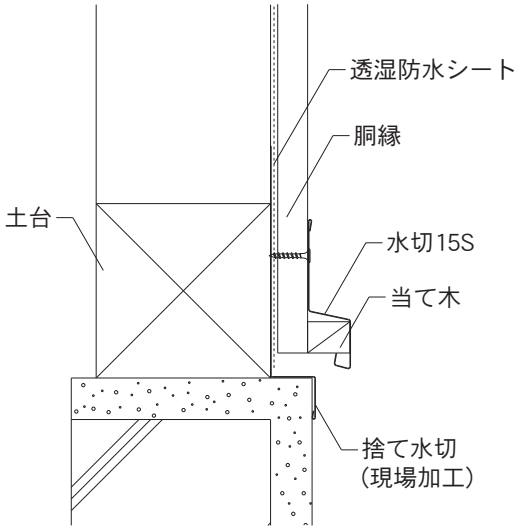
5）積雪の影響（雪の負荷）のある地域

土台部や下屋見切り部では、雪の重みで本体や部材が変形するおそれがありますので、次の対処をしてください。

・胴縁間隔
雪の積もる高さまで胴縁の間隔を狭くするなどの対処をしてください。

・水切15S及び通気水切15
当て木を入れるなどの対処をしてください。

・本体と部材
積雪の荷重や落雪、除雪の固まりなどが当たらないよう対処してください。

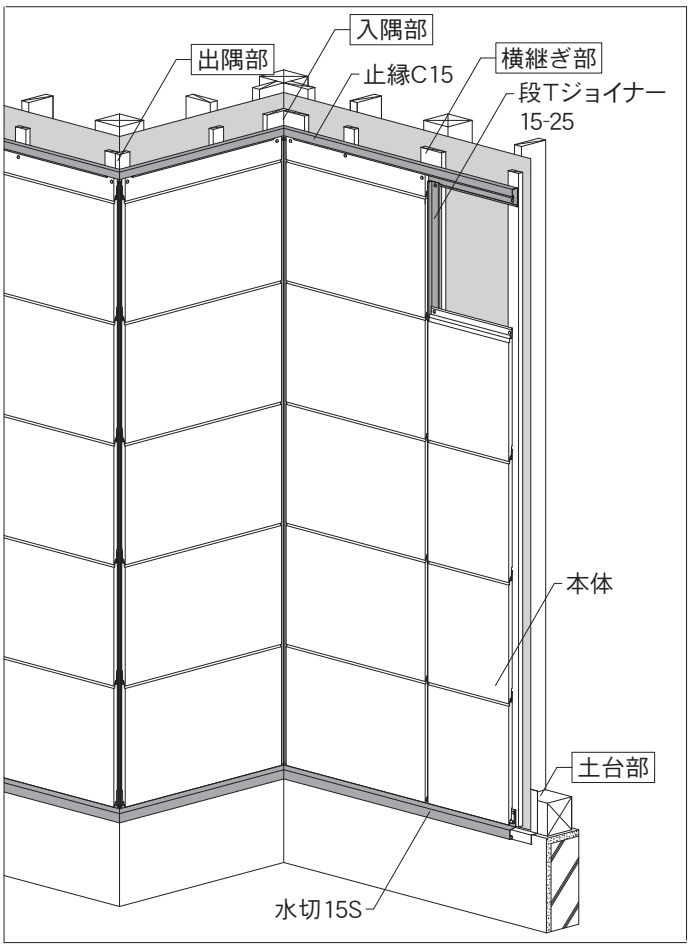



### ②本体の施工

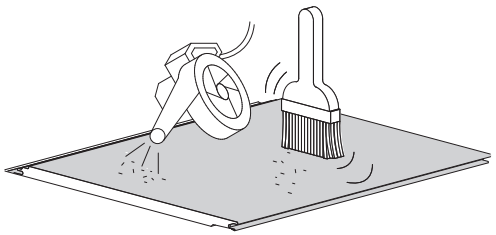
・本体は、15㎜品で記載しています。
詳細は、6-2.15㎜品 各部位の納まり図と併せて参照ください。（P156～）

1）墨出し
・働き幅に合わせ墨出しを行ってください。

2）本体の施工
・本体は、働き幅で施工してください。働き幅より広い幅で施工すると、水密性や耐風圧強度などで十分な性能を発揮できなくなるおそれがあります。ただし、SF-ガルステージシャイン、NFI／NPT／NPシリーズは、働き幅以下になる場合もありますが、目地幅を整えて施工してください。




・本体の切断と施工
切断時に発生するバリや切粉を放置すると、さびや汚れの原因になります。速やかに除去してください。



## 6－1. 施工の手順とポイント

単位：㎜

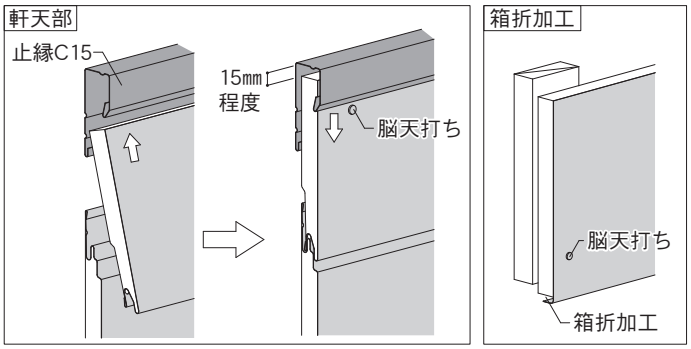
### 6－1－3. 本体、部材の施工

・本体の留め具
留め具の寸法は、防耐火構造認定に従ってください。防耐火構造認定を必要としない場合は、右に従ってください。材質は、ステンレスまたは亜鉛めっきを推奨します。（P38参照）

留め具
スクリューくぎ：φ2.15×L38 ㎜以上
木ねじ　　：φ3.1×L25 ㎜以上
（木ねじは木胴縁を貫通する長さを選定してください。）

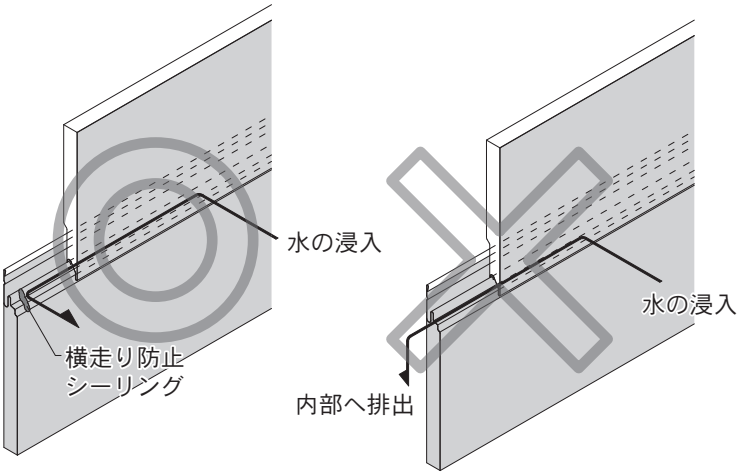
・本体の張り終わり
軒天部などで、本体の最上段を止縁C15に差し込む際は、15㎜程度のはめ込み代が必要となります。採寸時に注意してください。

・箱折加工
開口部、下屋見切り部、下がり壁部などで、本体を切断して納める場合は、箱折加工をしてください。




・脳天打ち
本体のかん合部を切り欠いた箇所
脱落や変形を防止するために脳天打ちをしてください。本体表面に施工したくぎ頭やねじ頭には、シーリング材の施工またはタッチアップペイントで塗装をしてください。
本体に脳天打ちを行う場合は、下穴をあけてから胴縁に留め付けてください。留め具の打ち込みすぎには注意してください。

・横走り防止シーリング
本体の端部からの雨水の浸入を防止するため、一枚ごとに横走り防止シーリングを施工してください。部材と本体の間に施工するシーリングと連続させて止水性を高めます。




・横走り防止シーリングは、本体の施工後に部材と本体の間に行うシーリング材とつながるように施工してください。

## 6－1. 施工の手順とポイント

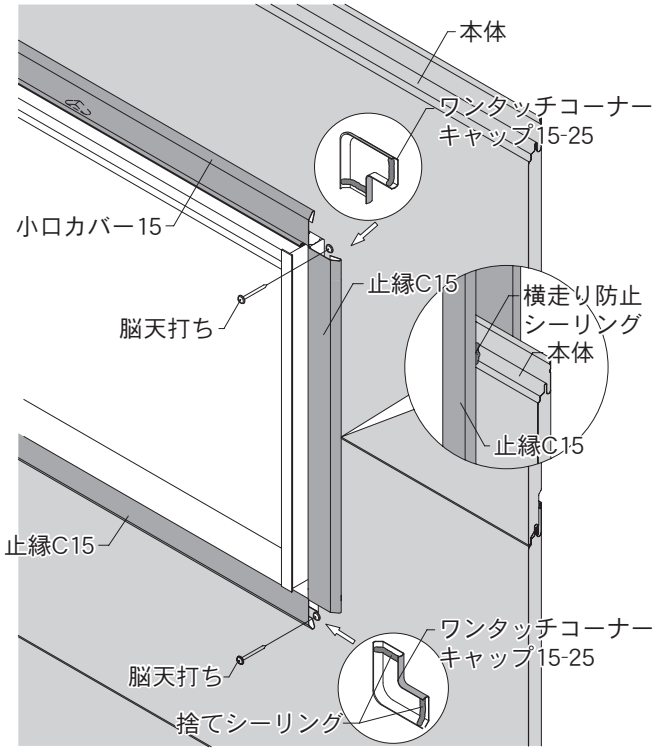
単位：㎜

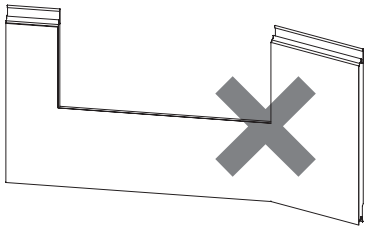
### 6－1－3. 本体、部材の施工

3）開口部：本体の施工

・本体の切断と施工
割り付けを行って無理な力がかからないように施工してください。無理に押し込むとゆがみの原因になります。しん材が破損した本体は使用しないでください。

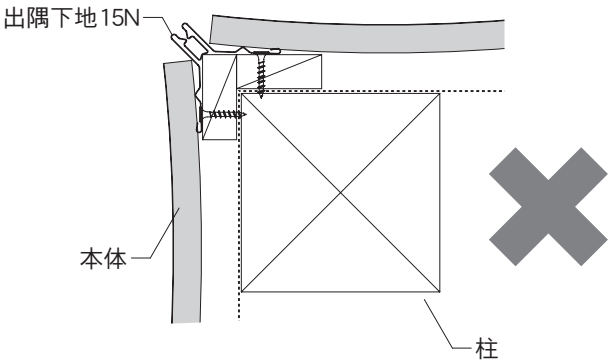
・本体の留め付け
本体は、必ず胴縁に留め付けてください。
かん合部を切り欠いた場合は、脳天打ちをしてください。



・出隅部
本体の端部が、出隅下地15Ｎの中央部にのり上げると、3M／4M出隅キャップ15-25がはめにくくなりますので、注意してください。

・施工期間中の養生
施工期間中は、笠木などの部分から雨水が入らないよう養生してください。



# 6－1. 施工の手順とポイント

単位：㎜

## 6－1－3. 本体、部材の施工

### ③後付け部材の施工

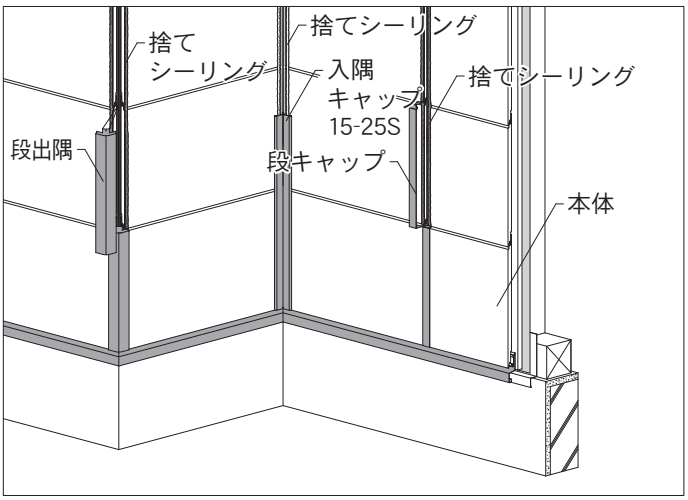
1）捨てシーリングの施工
後付け部材を施工する際に、指定箇所に捨てシーリングを施工してください。

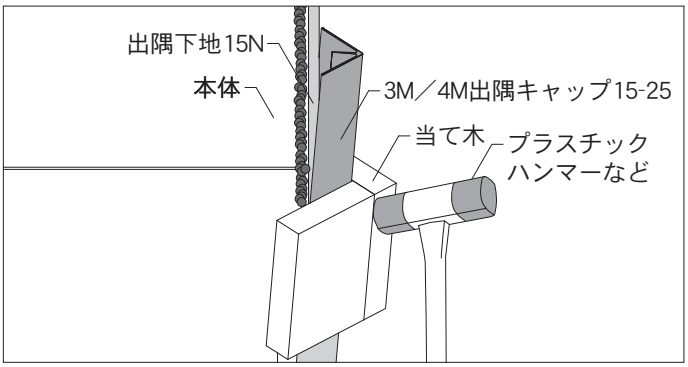
2）部材の施工順序

| 施工順序 | 部位 | 部材名 |
|---|---|---|
| 1 | 出隅部 | 3M／4M出隅キャップ15-25<br>段出隅 |
| | 入隅部 | 入隅キャップ15-25S |
| | 縦継ぎ部 | 止縁キャップC15 |
| | | 段キャップ<br>フラットTキャップ15<br>ワンタッチHキャップ15D<br>ワンタッチHキャップ15-25 |
| 2 | 軒部 | 止縁キャップC15 |

3）3M出隅キャップ15-25
または4M出隅キャップ15-25の施工

・3M／4M出隅キャップ15-25が出隅下地15Nにはまりにくい場合は、当て木の上からプラスチックハンマーなどで3M／4M出隅キャップ15-25を下から順にたたいて、はめてください。はめた後は、3M／4M出隅キャップ15-25を軽く引っ張り、がたついたり出隅下地15Nから抜けたりしないことを確認してください。



単位：㎜



## ④シーリング材の施工

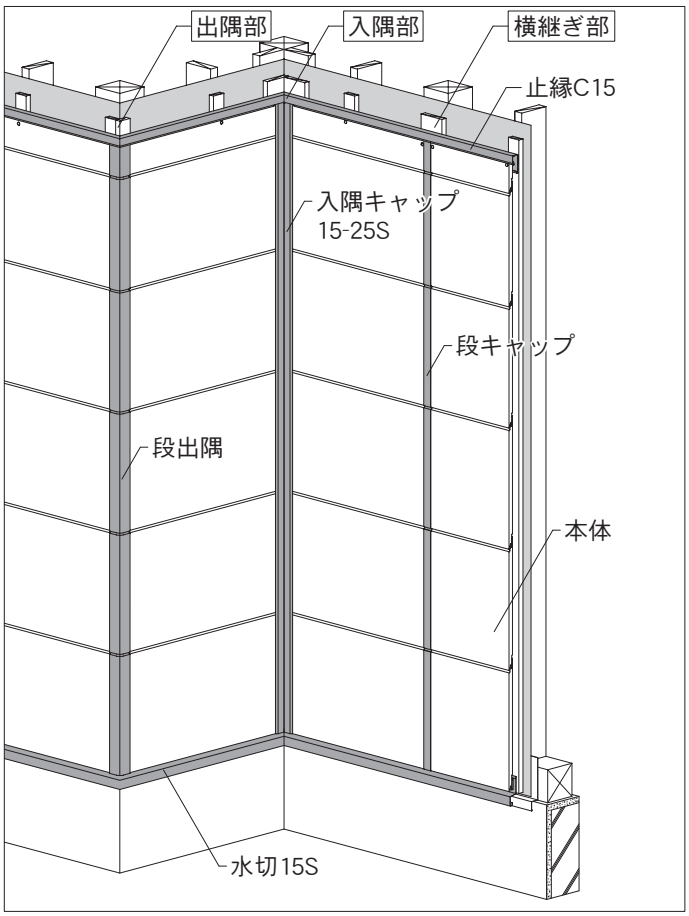
1）本体と部材の間

・雨水の浸入を防ぐため、シーリング材を施工してください。

・本体を脳天打ちしたくぎやねじ頭が見える場合くぎやねじ頭には、シーリング材の施工またはタッチアップペイントで塗装をしてください。

・シーリング材を施工する際の注意
シーリング材は、接着面が乾燥している状態で施工してください。接着面が高温の場合には、施工を控えてください。また、水分、油分、ほこりなどにも注意してください。

・詳細は、6-2.15㎜品 各部位の納まり図を併せて参照してください。（P156～）

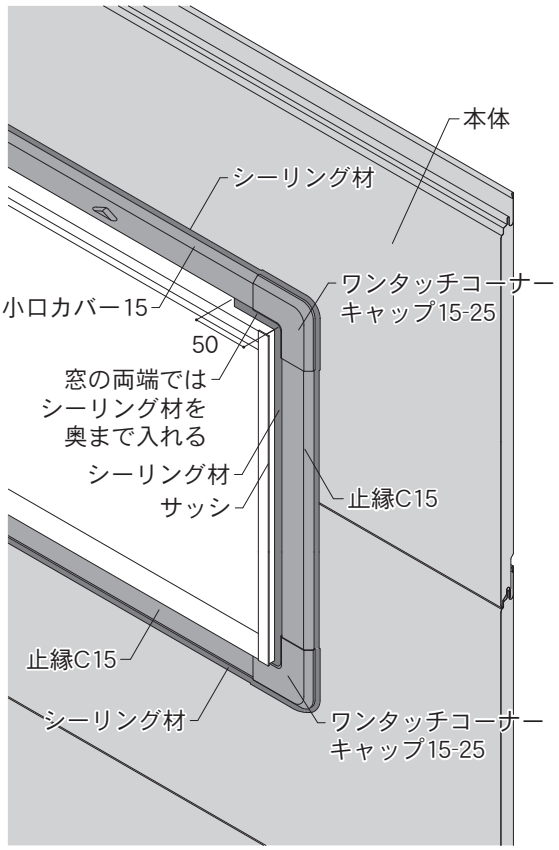



2）開口部

・部材とサッシの間、本体と部材の間
雨水の浸入を防ぐため、シーリング材を施工してください。

・小口カバー15または止縁C15とサッシの間（開口部上）
開口部上では、小口カバー15または止縁C15とサッシの間に、両端左右50㎜程度にシーリング材を奥まで入れてください。

・詳細は、6-2.15㎜品 各部位の納まり図を併せて参照してください。（P156～）



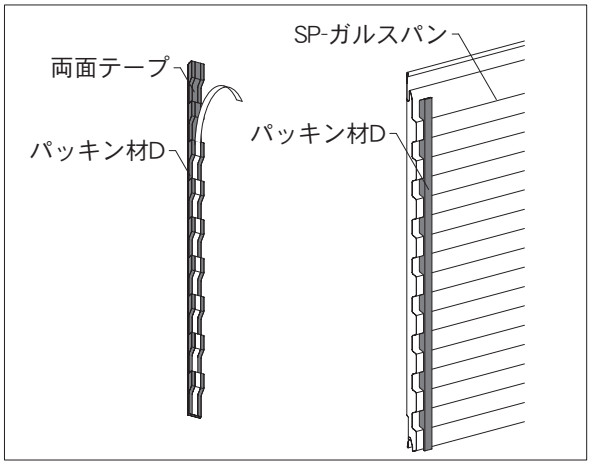
## 6－1. 施工の手順とポイント

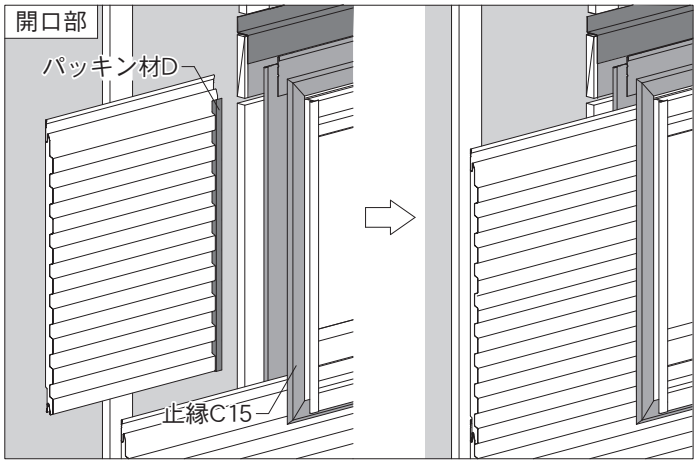
単位：㎜

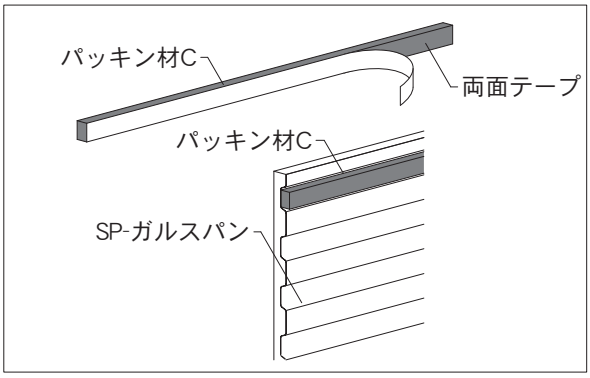
### 6－1－3. 本体、部材の施工

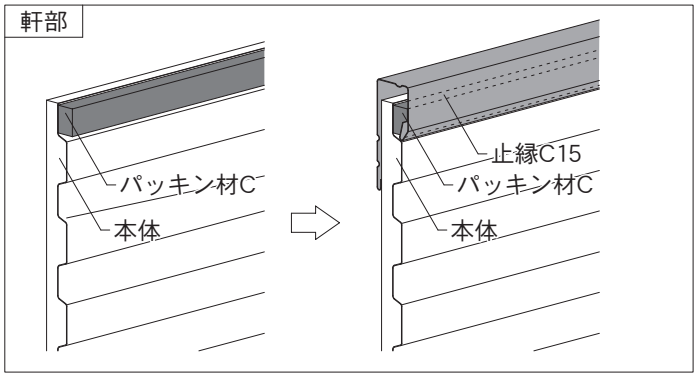
#### ⑤SP-ガルスパン、SP-ビレクトの施工ポイント

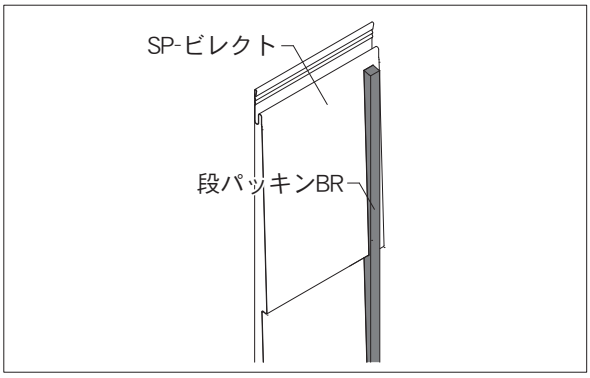
・部材の施工方法は、15㎜品共通です。
・止縁C15を使用する際は、本体にパッキン材を貼り付けてから止縁C15に差し込んでください。その他の部材を使用する場合は、本体にパッキン材を貼り付けてから後付け部材を施工してください。
パッキン材を施工した箇所は、シーリング材を施工してください。詳細は、6-2.15㎜品 各部位の納まり図を併せて参照ください。（P156～）



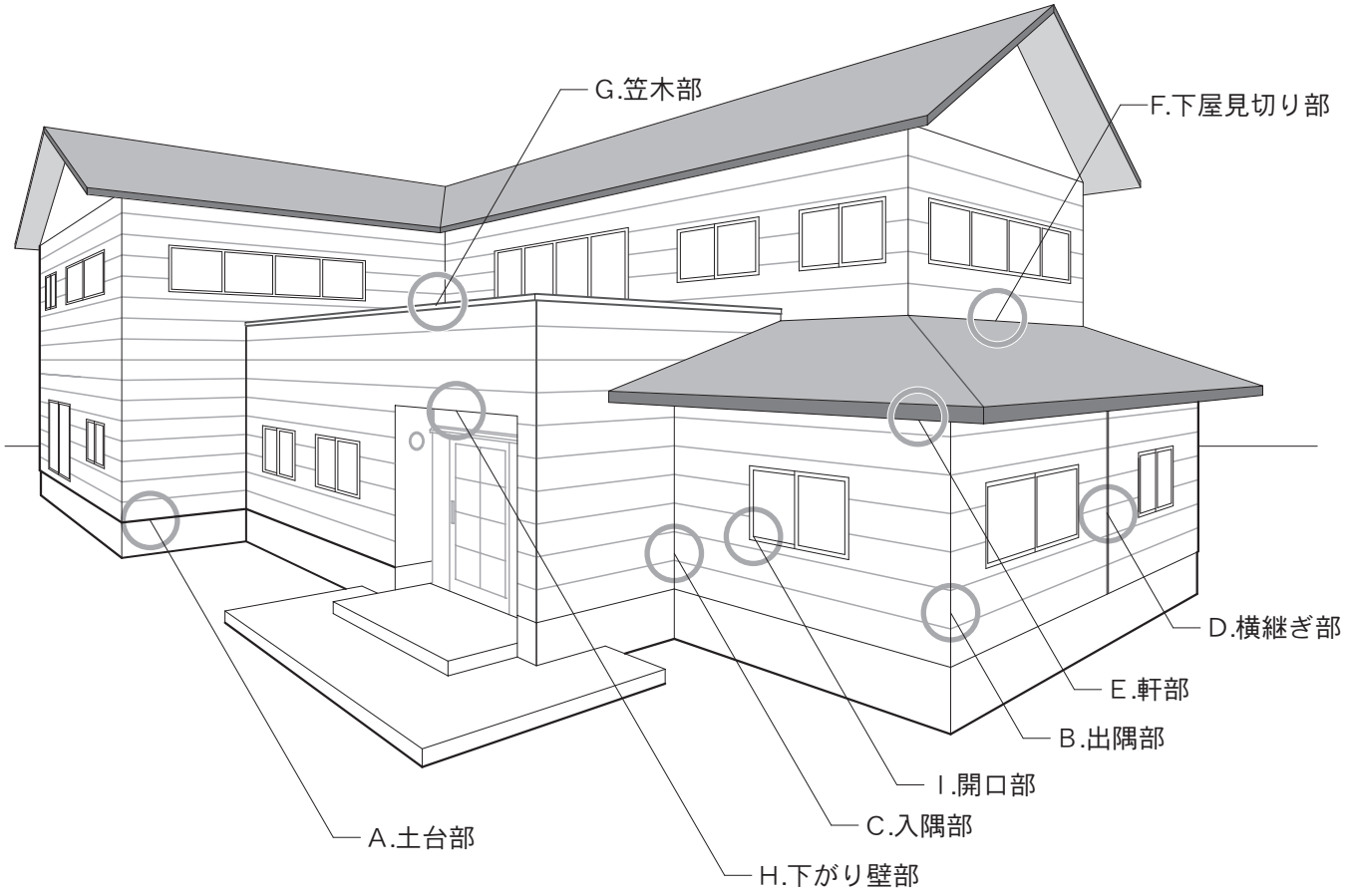




#### ⑥補修・点検・片づけ

・後付け部材が先付け部材にはまっていることを確認してください。
・キズがあった場合は、タッチアップペイントで補修してください。

# 6－2.　15㎜品　各部位の納まり図






| 対象商品 |
| --- |
| ・SP-ビレクト<br>・SP-ガルブライトⅡ<br>・SF-ガルステージシャイン<br>・NFI／NPT／NP<br>・伸壁Ⅱ<br>・SP-ガルスパン |

| 納まり図 | |
| --- | --- |
| A．土台部 | P157 |
| B．出隅部 | P158 |
| C．入隅部 | P162 |
| D．横継ぎ部 | P166 |
| E．軒部 | P170 |
| F．下屋見切り部 | P176 |
| G．笠木部 | P178 |
| H．下がり壁部 | P180 |
| I．開口部 | P182 |

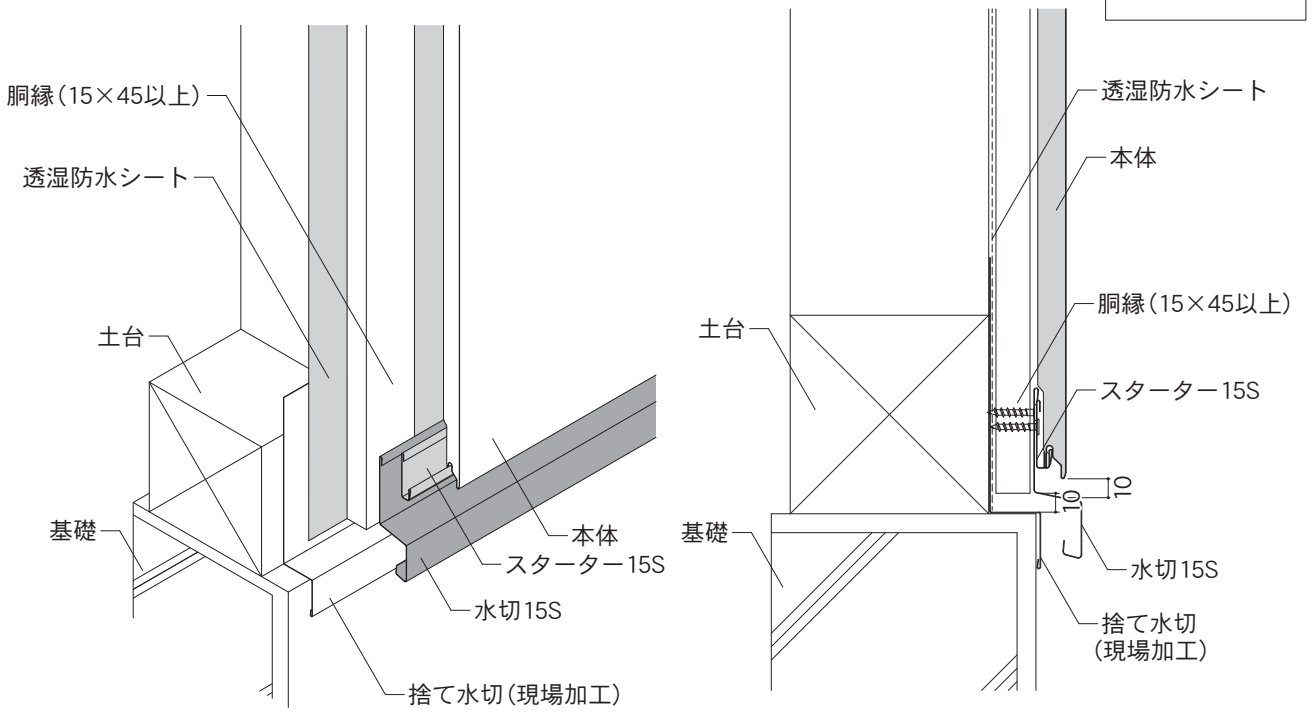
## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

### A. 土台部

・本体の下端と水切15Sの間には、雨水が滞留しないよう10㎜のすき間をあけてください。
・積雪の影響のある地域では、雪の重みにより水切が変形するおそれがあります。水切の下に当て木を入れるなど対処をしてください（P150参照）。

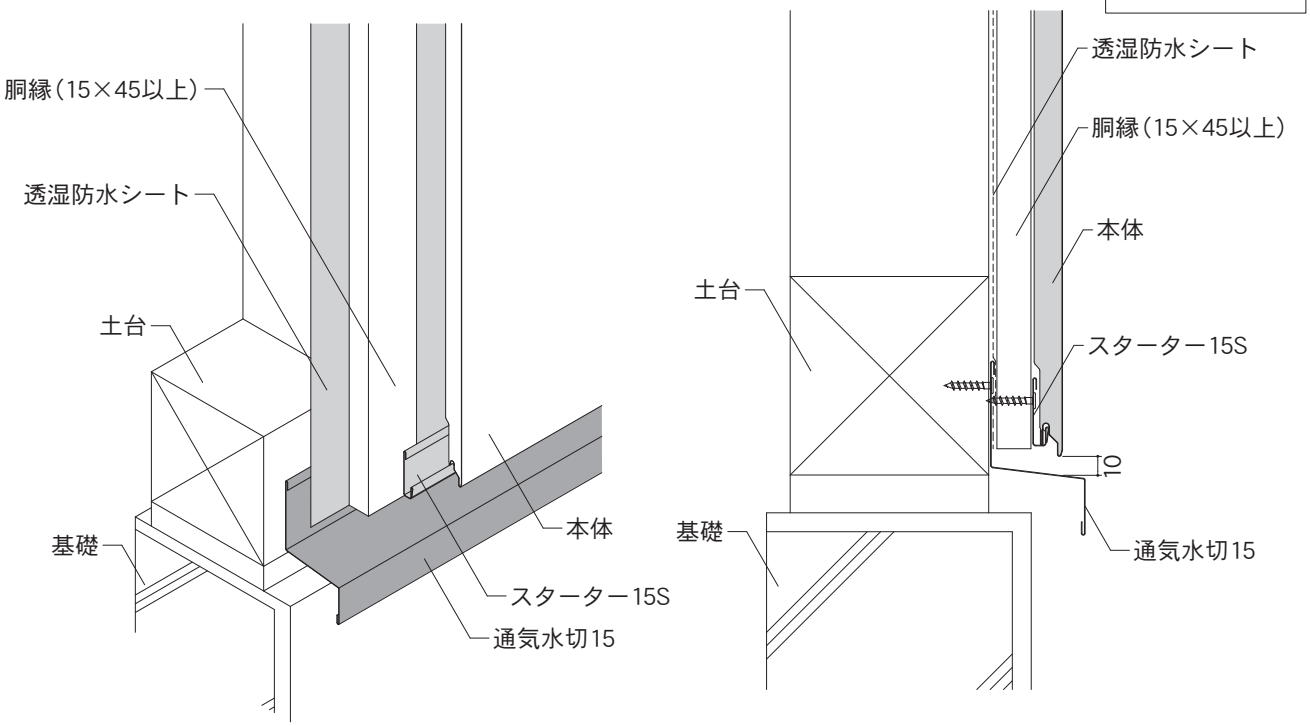
使用部材：水切15S・スターター15S

・本頁説明商品
15㎜品共通




使用部材：通気水切15・スターター15S

・本頁説明商品
15㎜品共通



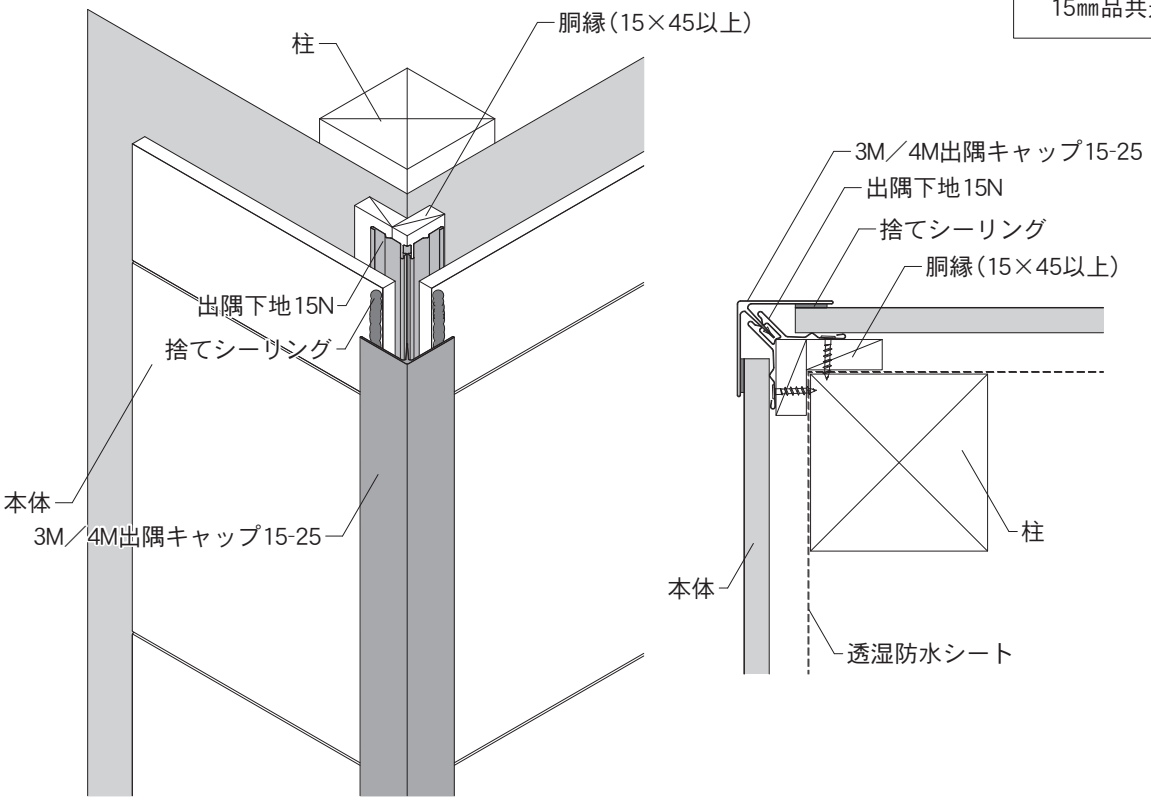
## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

### B. 出隅部（1）

・本体1枚ごとに、横走り防止シーリングを捨てシーリングと連続する位置に施工してください（P159参照）。
・本体の端部が、出隅下地15Nの中央部にのり上げると、3M／4M出隅キャップ15-25がはまりにくくなりますので、注意してください（P152参照）。
・3M／4M出隅キャップ15-25がはまりにくい場合は、当て木の上から3M／4M出隅キャップ15-25をプラスチックハンマーなどでたたいてはめてください。
・本体を施工した後に、捨てシーリングを施工し、3M／4M出隅キャップ15-25を出隅下地15Nに確実に施工してください。

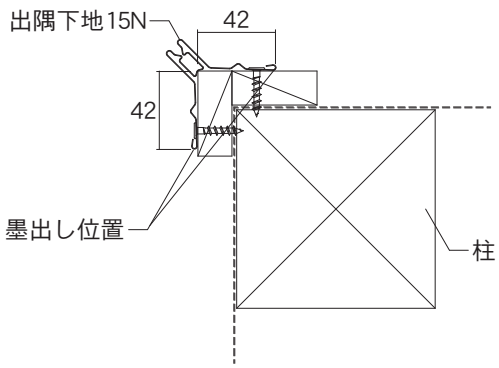
使用部材：3M／4M出隅キャップ15-25・出隅下地15N

・本頁説明商品
15㎜品共通

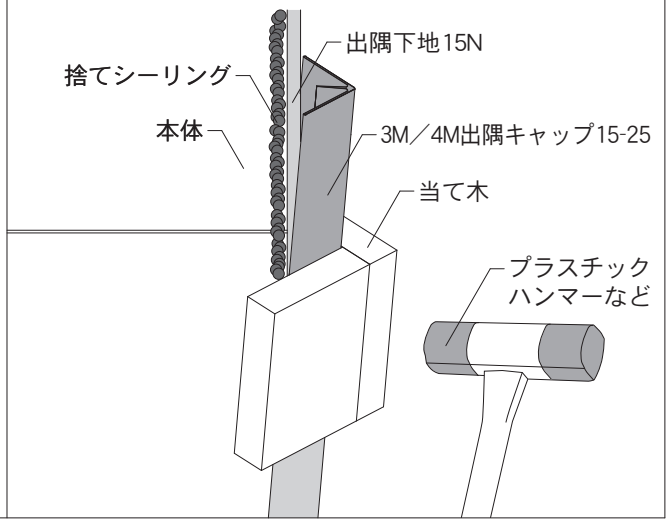



施工時の確認

・出隅下地15Nは、ねじれや沈み込みが起こらないように墨出しを行ってから施工してください（P148参照）。




・3M／4M出隅キャップ15-25が出隅下地15Nにはまりにくい場合は、当て木の上からプラスチックハンマーなどで3M／4M出隅キャップ15-25を下から順にたたいて、はめてください。はめた後は、3M／4M出隅キャップ15-25を軽く引っ張り、がたついたり出隅下地15Nから抜けたりしないことを確認してください。



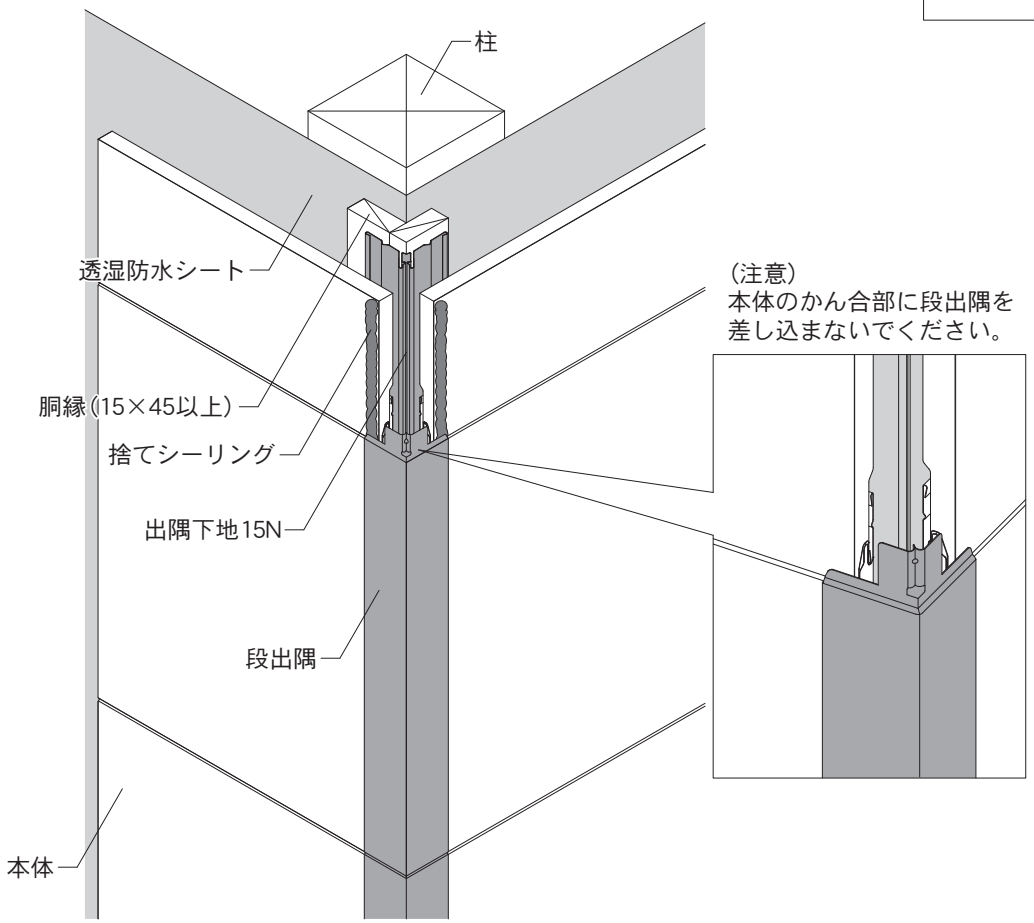
## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

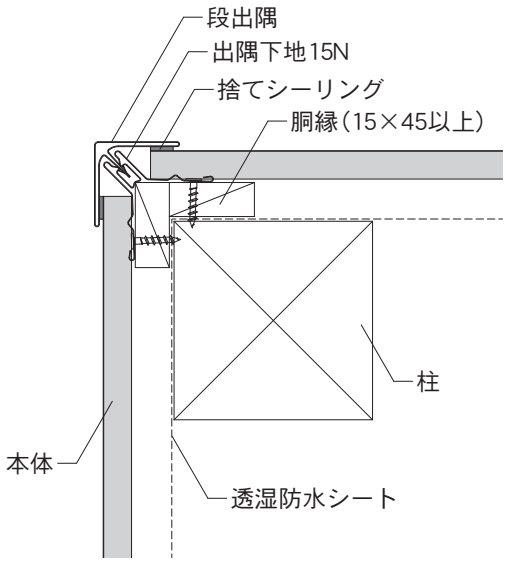
### B. 出隅部（2）

・本体1枚ごとに、横走り防止シーリングを捨てシーリングと連続する位置に施工してください（P151参照）。
・出隅下地15Nは、ねじれや沈み込みが起こらないように墨出しを行ってから施工してください（P148参照）。
・本体の端部が、出隅下地15Nの中央部にのり上げると、段出隅がはまりにくくなりますので、注意してください（P152参照）。
・本体を施工した後に、捨てシーリングを施工し、段出隅を出隅下地15Nに確実にはめてください。
・段出隅は、本体の目地に合わせて施工します。本体を施工した後に段出隅を施工してください。
・段出隅がはまりにくい場合は、当て木の上から段出隅をプラスチックハンマーなどでたたいてはめてください（P158参照）。

使用部材：段出隅・出隅下地15N

・本頁説明商品
NFI／NPT／NP



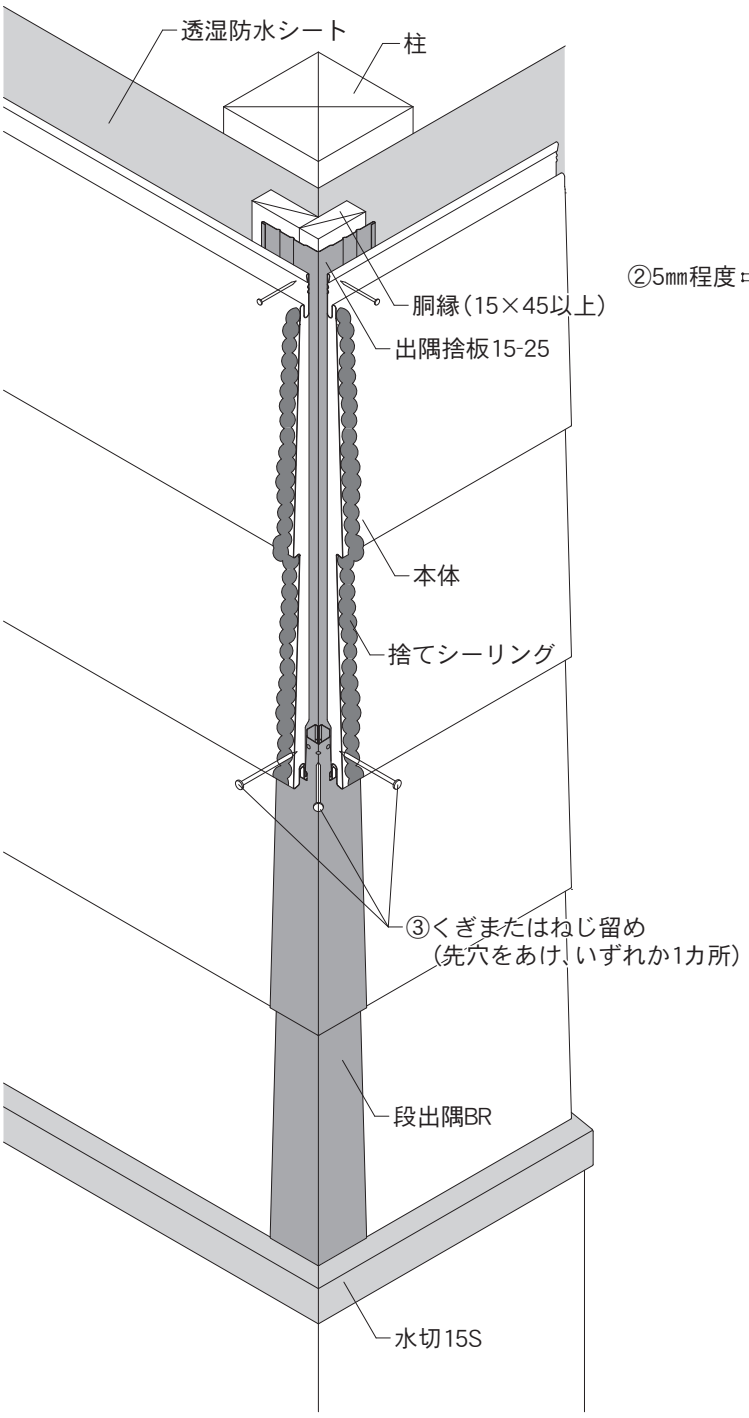
## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

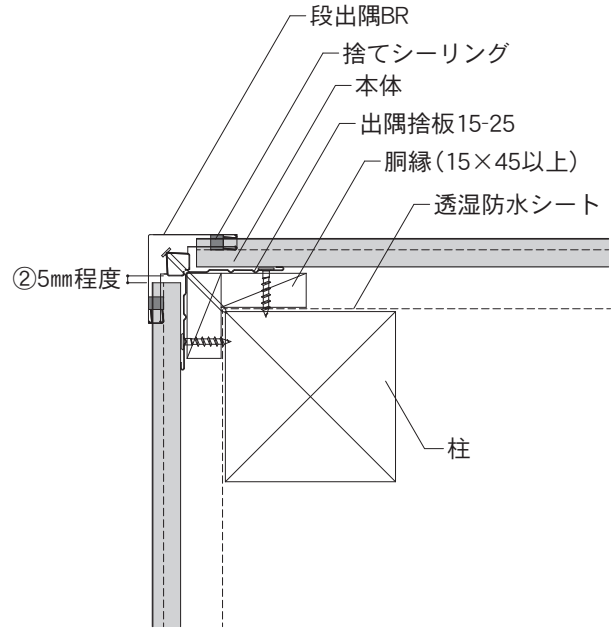
### B．出隅部（3）

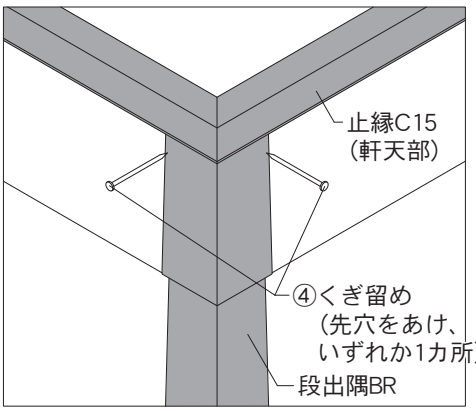
・本体1枚ごとに、横走り防止シーリングを捨てシーリングと連続する位置に施工してください。
・出隅捨板15-25は、ねじれや沈み込みが起こらないように墨出しを行ってから施工してください。
・必ず出隅捨板15-25を施工してください。出隅下地15Nを施工すると段出隅BRが施工できなくなります。
・本体を施工した後に、捨てシーリングを施工し、段出隅BRを本体にはめて留め付けてください。
・段出隅BRは本体の目地に合わせて施工します。本体を施工した後に段出隅BRを施工してください。

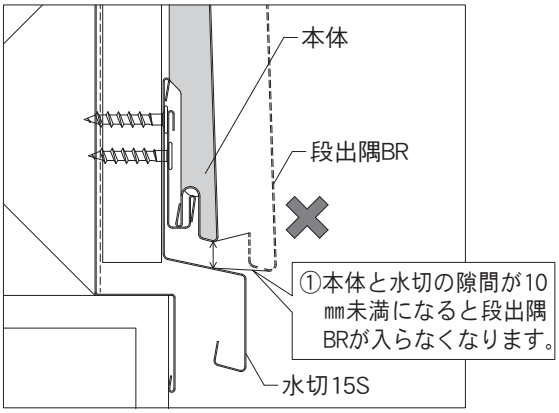
使用部材：段出隅BR・出隅捨板15-25

・本頁説明商品
SP-ビレクト



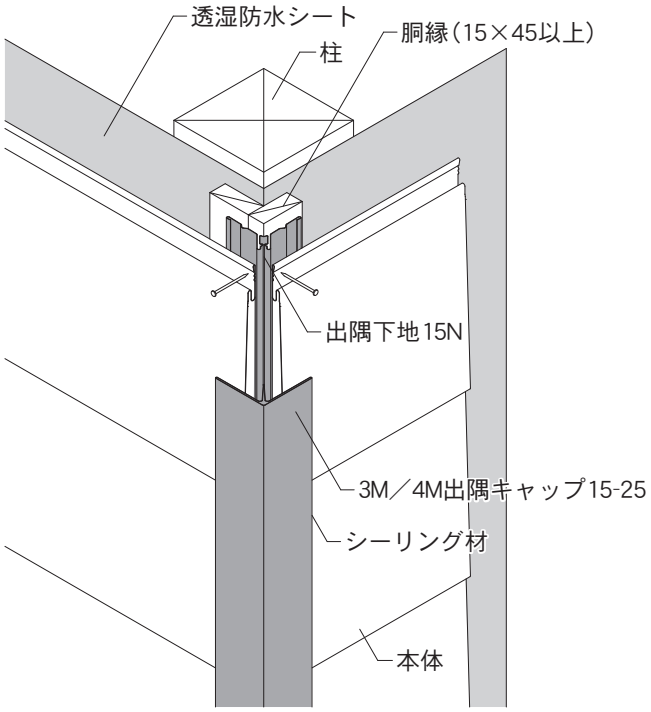
## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

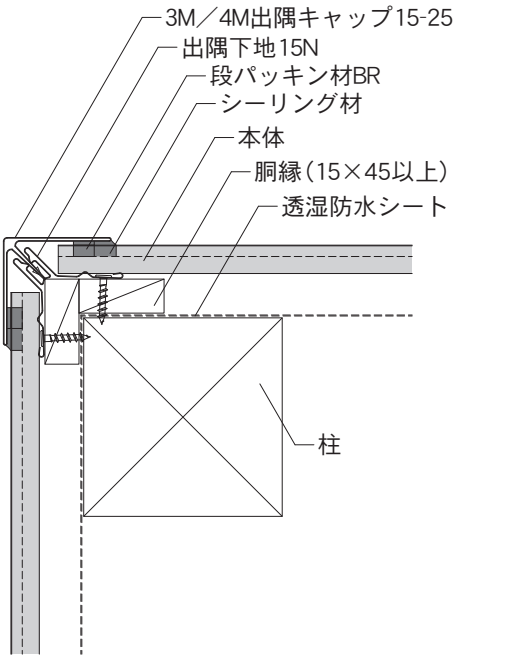
### B. 出隅部（4）

・本体1枚ごとに、横走り防止シーリングを捨てシーリングと連続する位置に施工してください（P150参照）。
・本体の端部が、出隅下地15Nの中央部にのり上げると、3M／4M出隅キャップ15-25がはまりにくくなりますので、注意してください（P148参照）。
・3M／4M出隅キャップ15-25がはまりにくい場合は、当て木の上から3M／4M出隅キャップ15-25をプラスチックハンマーなどでたたいてはめてください。
・本体を施工した後に、捨てシーリングを施工し、3M／4M出隅キャップ15-25を出隅下地15Nに確実に施工してください。

使用部材：3M／4M出隅キャップ15-25・出隅下地15N・段パッキンBR

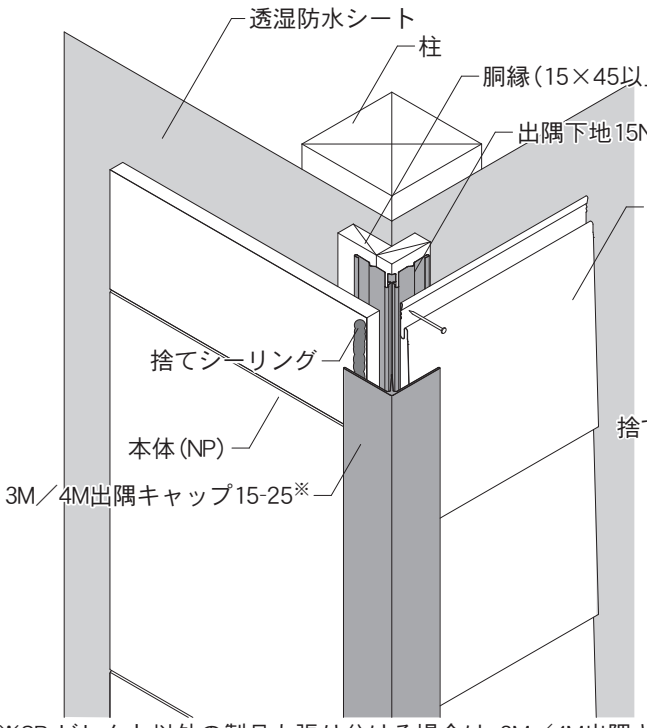
・本頁説明商品
SP-ビレクト

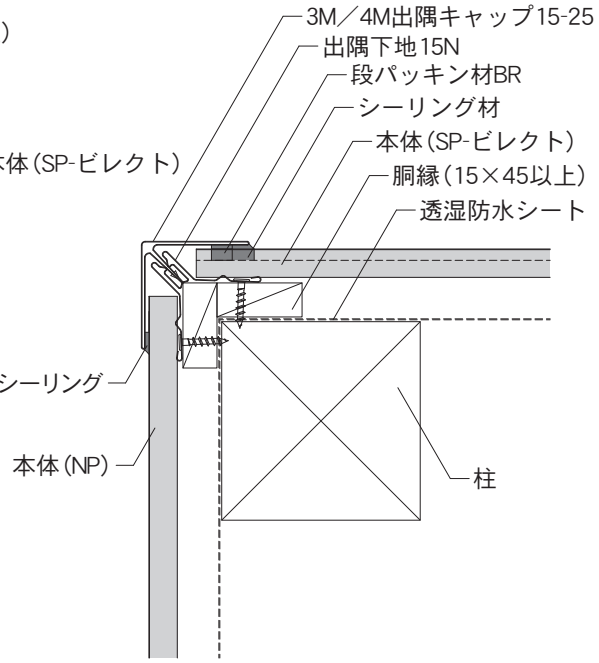



使用部材：3M／4M出隅キャップ15-25・出隅下地15N・段パッキンBR

・本頁説明商品
SP-ビレクト




※SP-ビレクト以外の製品と張り分ける場合は、3M／4M出隅キャップ15-25を使用してください。

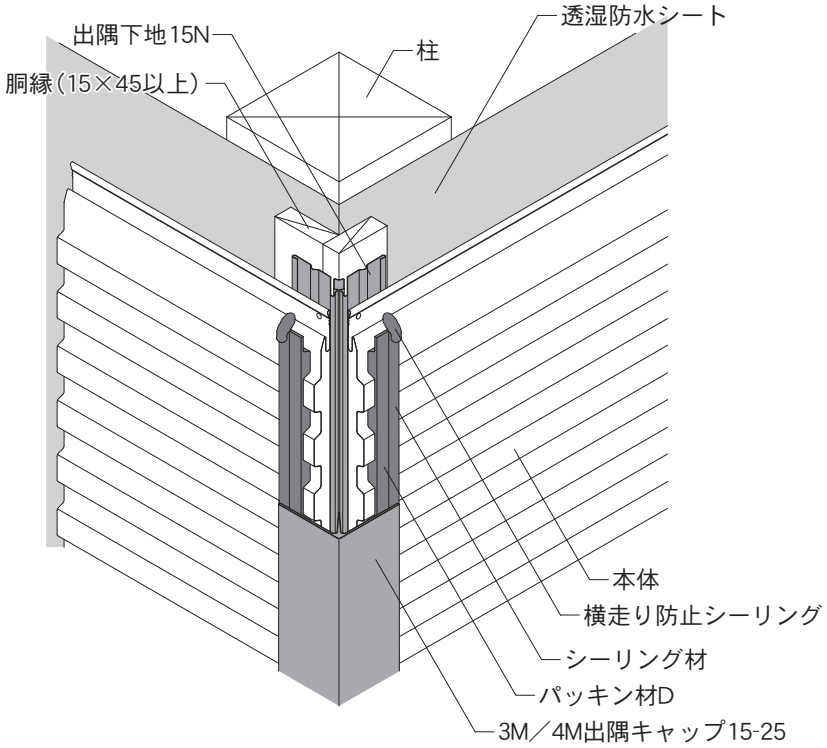
## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

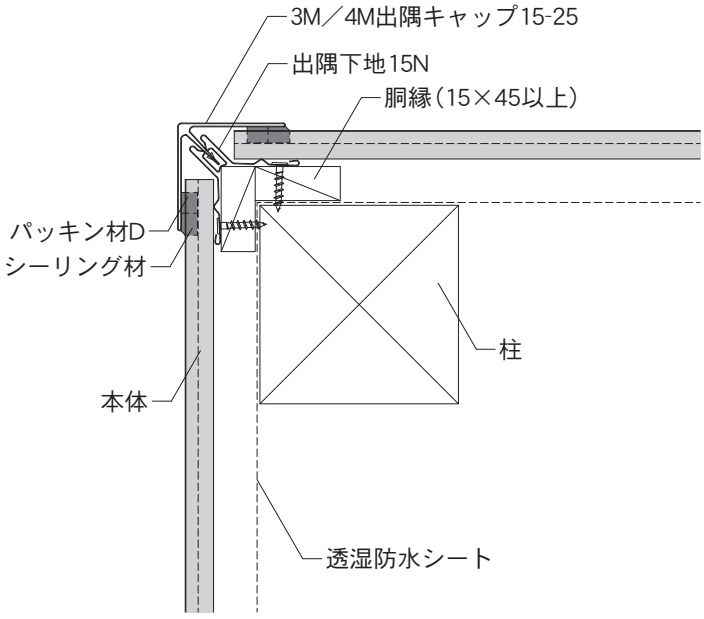
### B．出隅部（5）

・出隅下地15Nは、ねじれや沈み込みが起こらないように墨出しを行ってから施工してください（P148参照）。
・本体1枚ごとに、横走り防止シーリングを捨てシーリングと連続する位置に施工してください（P151参照）。
・本体の端部が、出隅下地15Nの中央部にのり上げると、3M／4M出隅キャップ15-25がはまりにくくなりますので、注意してください（P156参照）。
・3M／4M出隅キャップ15-25を取り付ける前に、本体にパッキン材Dを貼り付けてください。
・3M／4M出隅キャップ15-25がはまりにくい場合は、当て木の上から3M／4M出隅キャップ15-25をプラスチックハンマーなどでたたいてはめてください（P158参照）。

使用部材：3M／4M出隅キャップ15-25・出隅下地15N・パッキン材D

・本頁説明商品
SP-ガルスパン



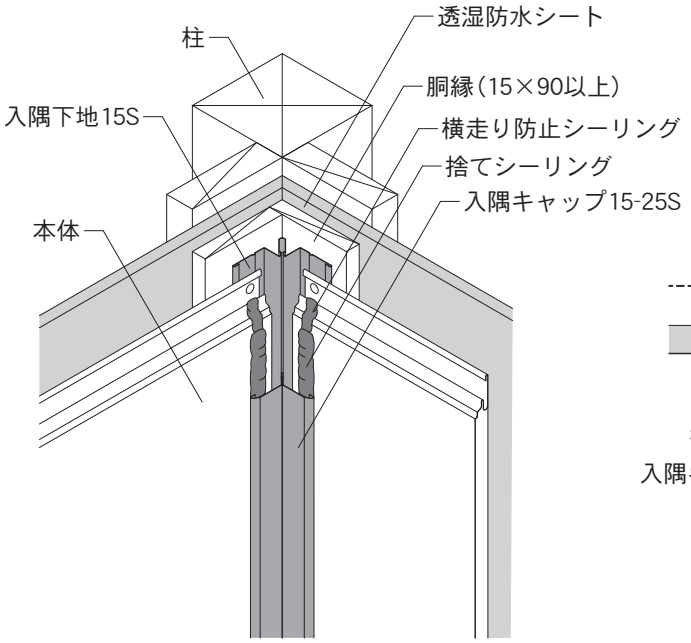
## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

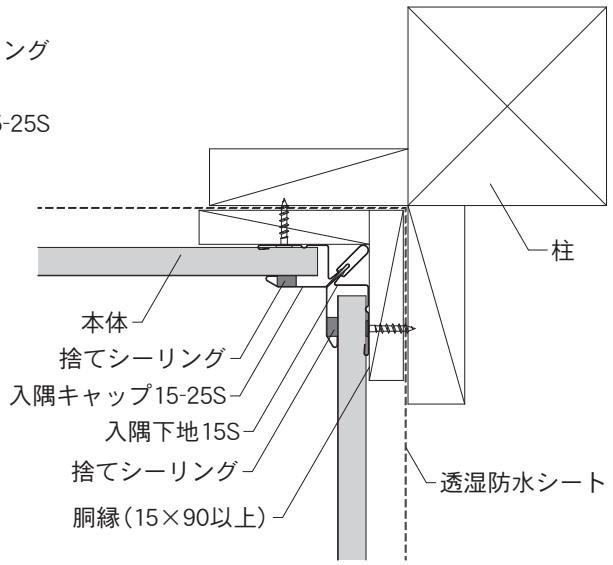
### C. 入隅部（1）

・本体1枚ごとに、横走り防止シーリングを捨てシーリングと連続する位置に施工してください（P151参照）。

使用部材：入隅キャップ15-25S・入隅下地15S

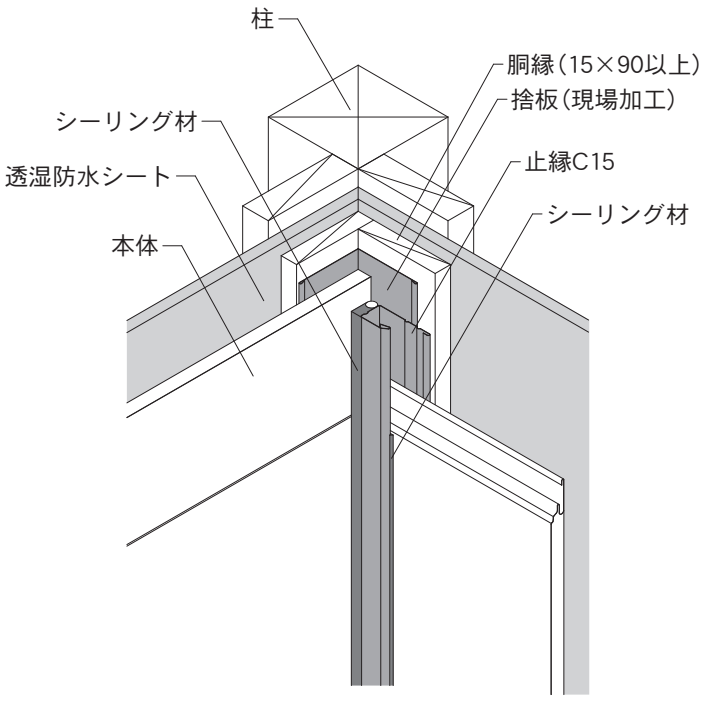
・本頁説明商品
SP-ガルブライトⅡ
SF-ガルステージシャイン
NPT／NP、伸壁Ⅱ

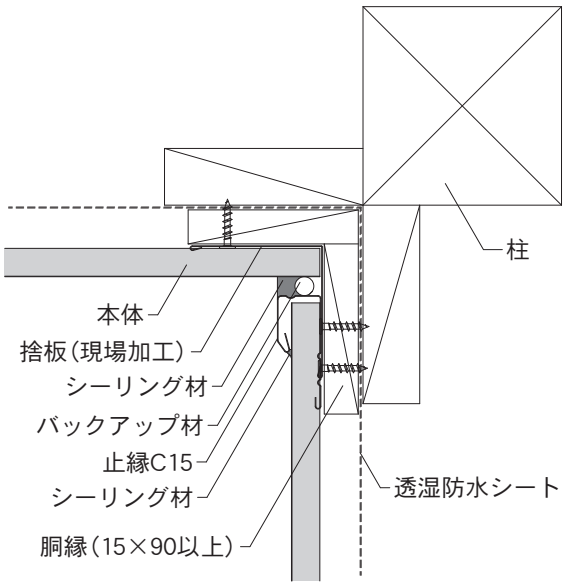



使用部材：止縁C15

・本頁説明商品
15㎜品共通



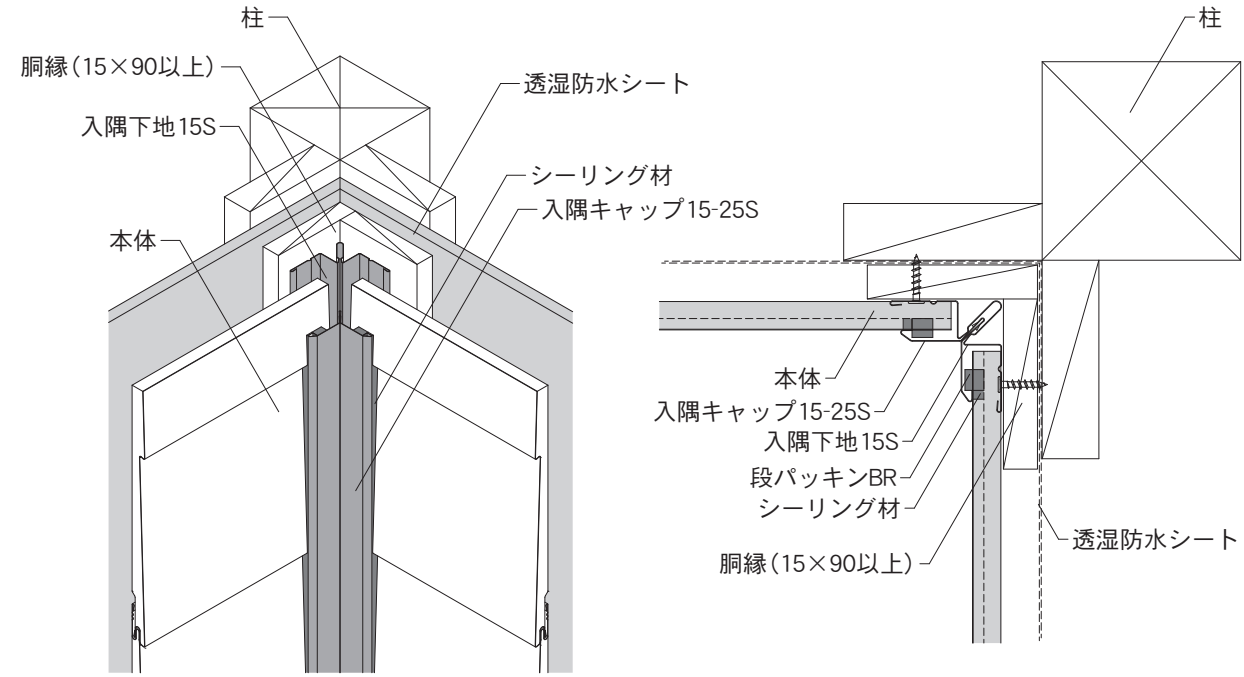
## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

### C. 入隅部（2）

・本体1枚ごとに、横走り防止シーリングを捨てシーリングと連続する位置に施工してください（P151参照）。

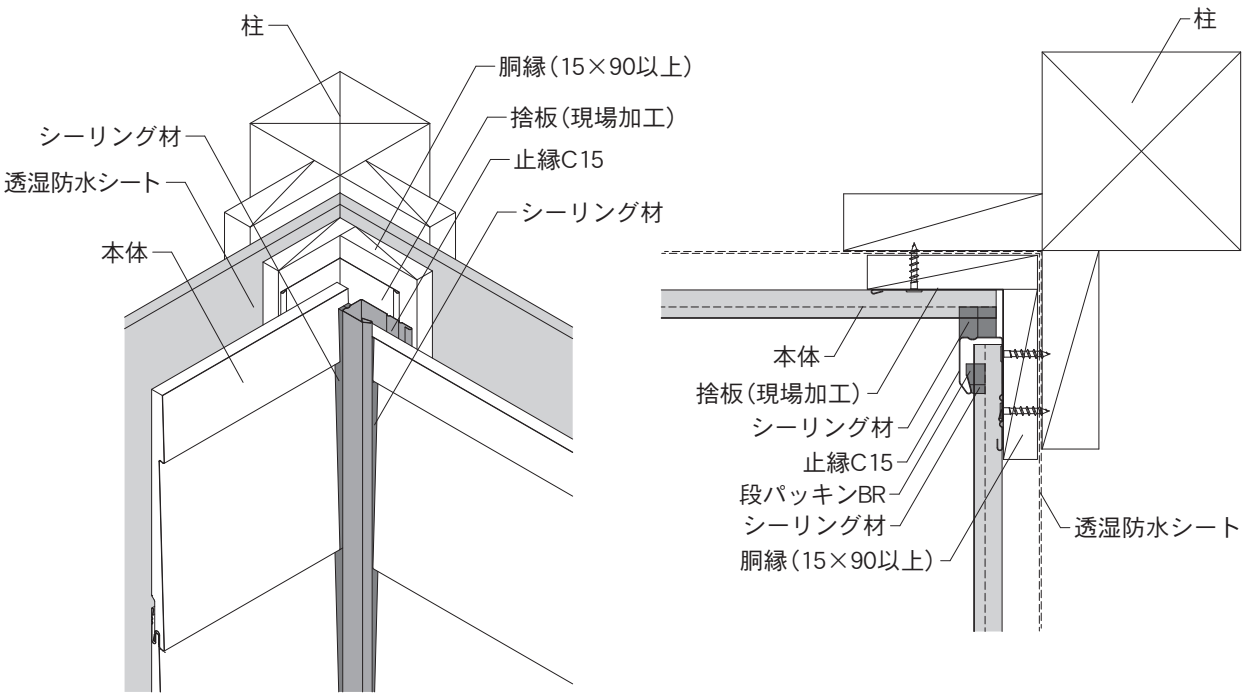
使用部材：入隅キャップ15-25S・入隅下地15S・段パッキンBR

・本頁説明商品
SP-ビレクト




使用部材：止縁C15・段パッキンBR

・本頁説明商品
SP-ビレクト



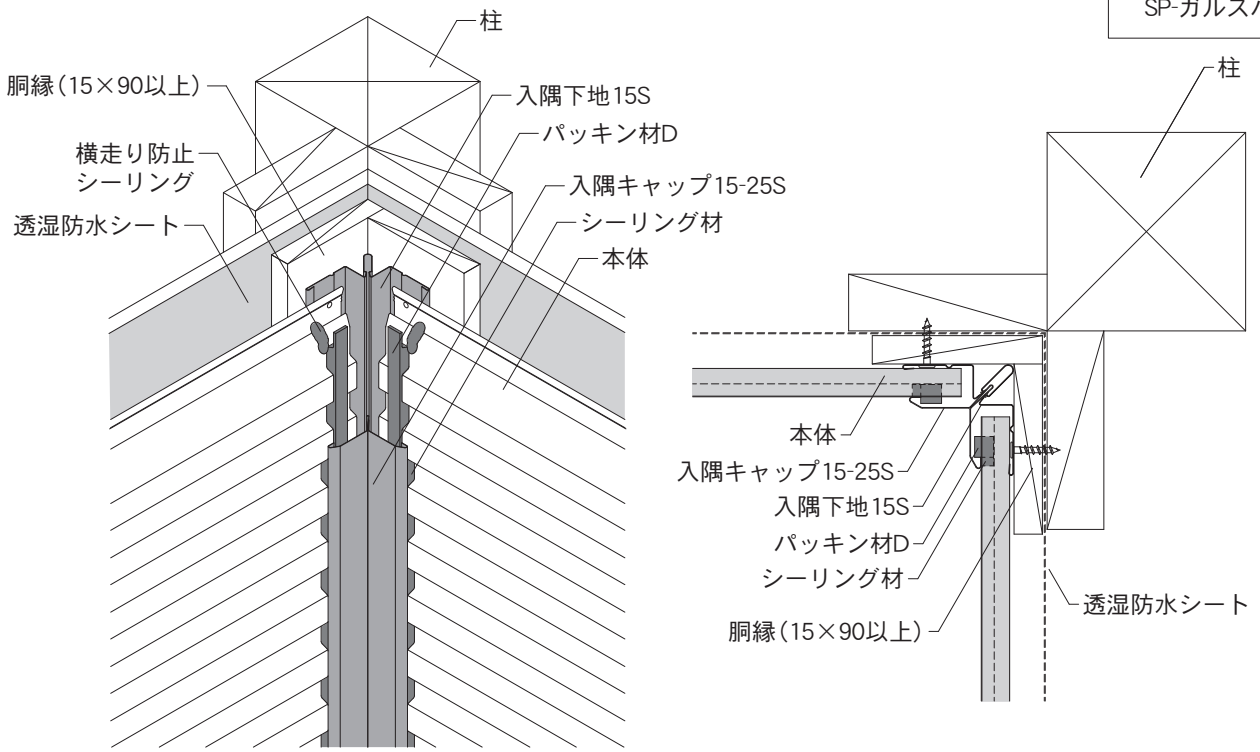
## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

### C. 入隅部（3）

・本体１枚ごとに、横走り防止シーリングを捨てシーリングと連続する位置に施工してください（P151参照）。
・入隅キャップ15-25Sを取り付ける前に本体にパッキン材Dを貼り付けてください。
・本体にパッキン材Dを貼り付けてから、止縁C15に差し込んでください。

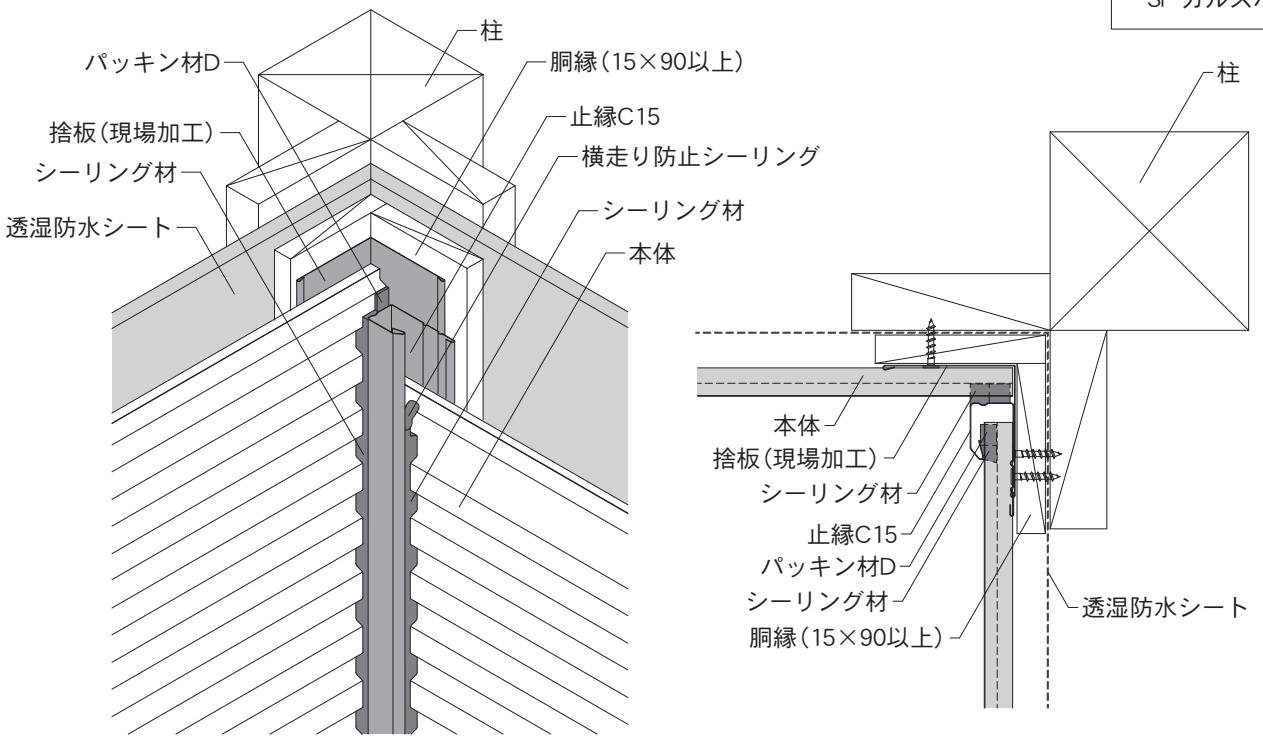
使用部材：入隅キャップ15-25S・入隅下地15S・パッキン材D

・本頁説明商品
SP-ガルスパン




使用部材：止縁C15・パッキン材D

・本頁説明商品
SP-ガルスパン



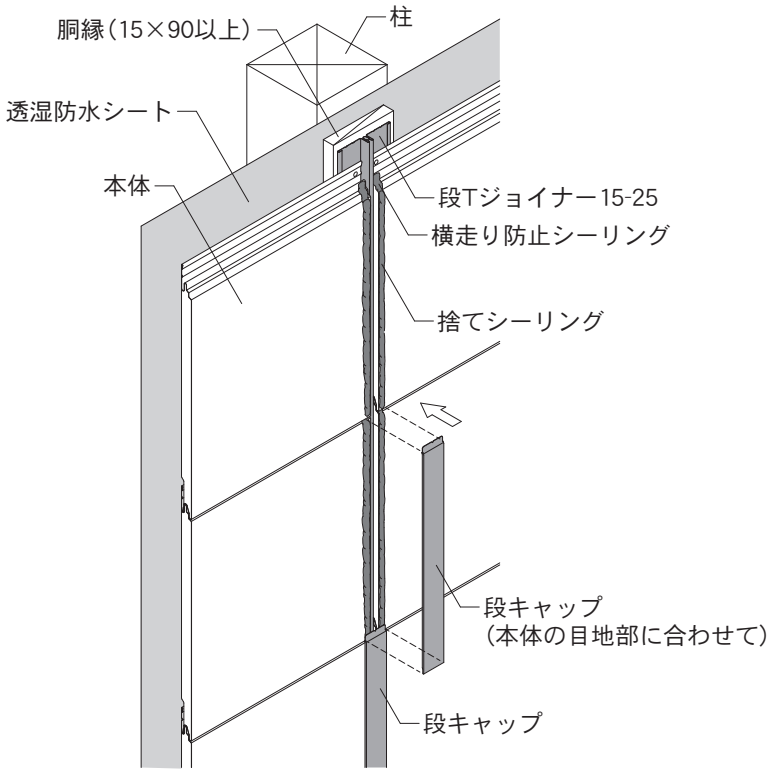
## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

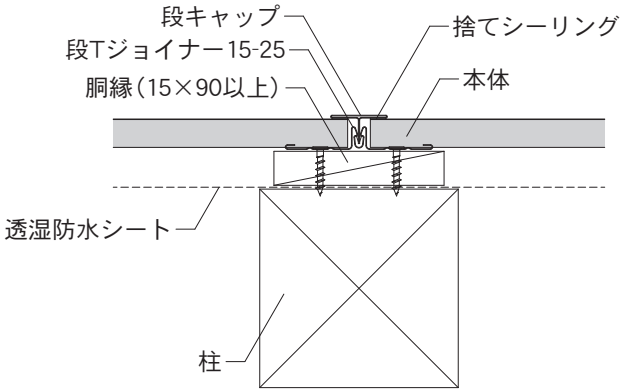
### D．横継ぎ部（1）

・本体1枚ごとに、横走り防止シーリングを捨てシーリングと連続する位置に施工してください（P151参照）。
・本体を施工してから、段キャップを施工してください。

使用部材：段キャップ・段Tジョイナー15-25

・本頁説明商品
SF-ガルステージシャイン
NFI／NPT／NP




（注意）
本体の目地部に合わせて、段キャップを段Tジョイナー15-25に施工してください。
本体のかん合部に段キャップを差し込まないでください。

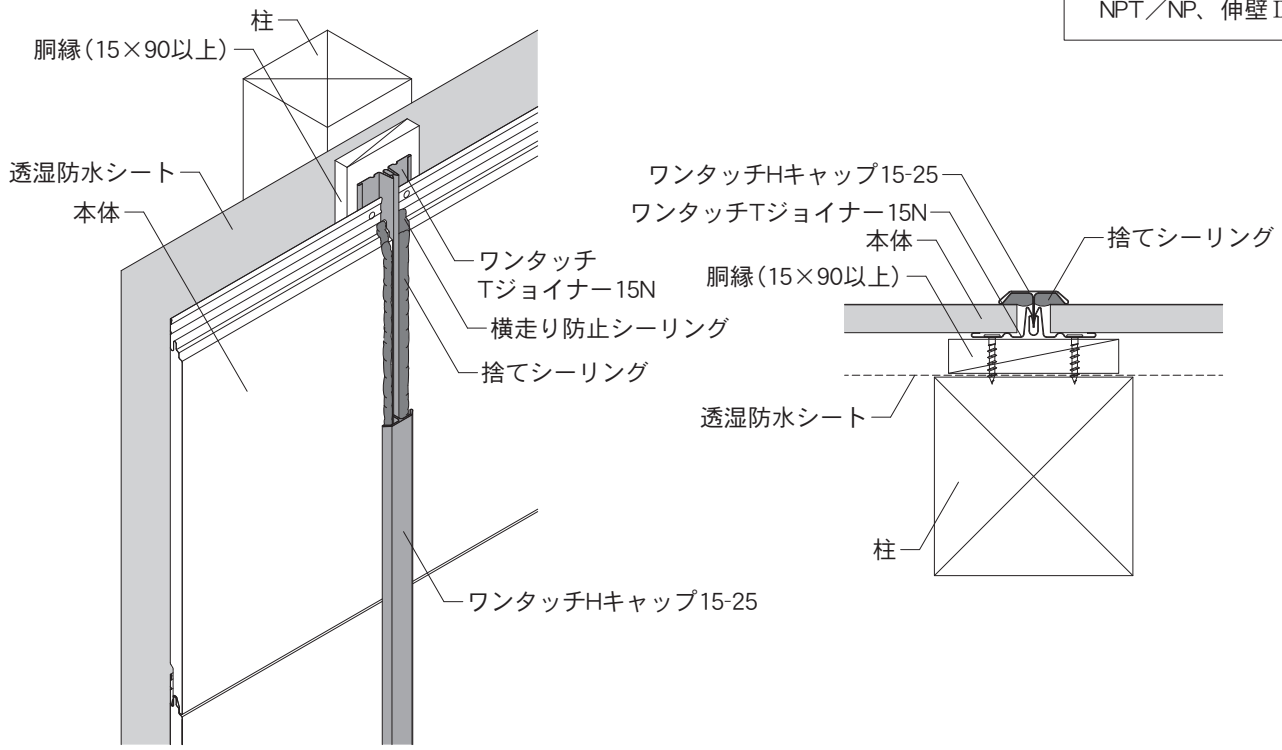
## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

### D. 横継ぎ部（2）

・本体１枚ごとに、横走り防止シーリングを捨てシーリングと連続する位置に施工してください（P151参照）。

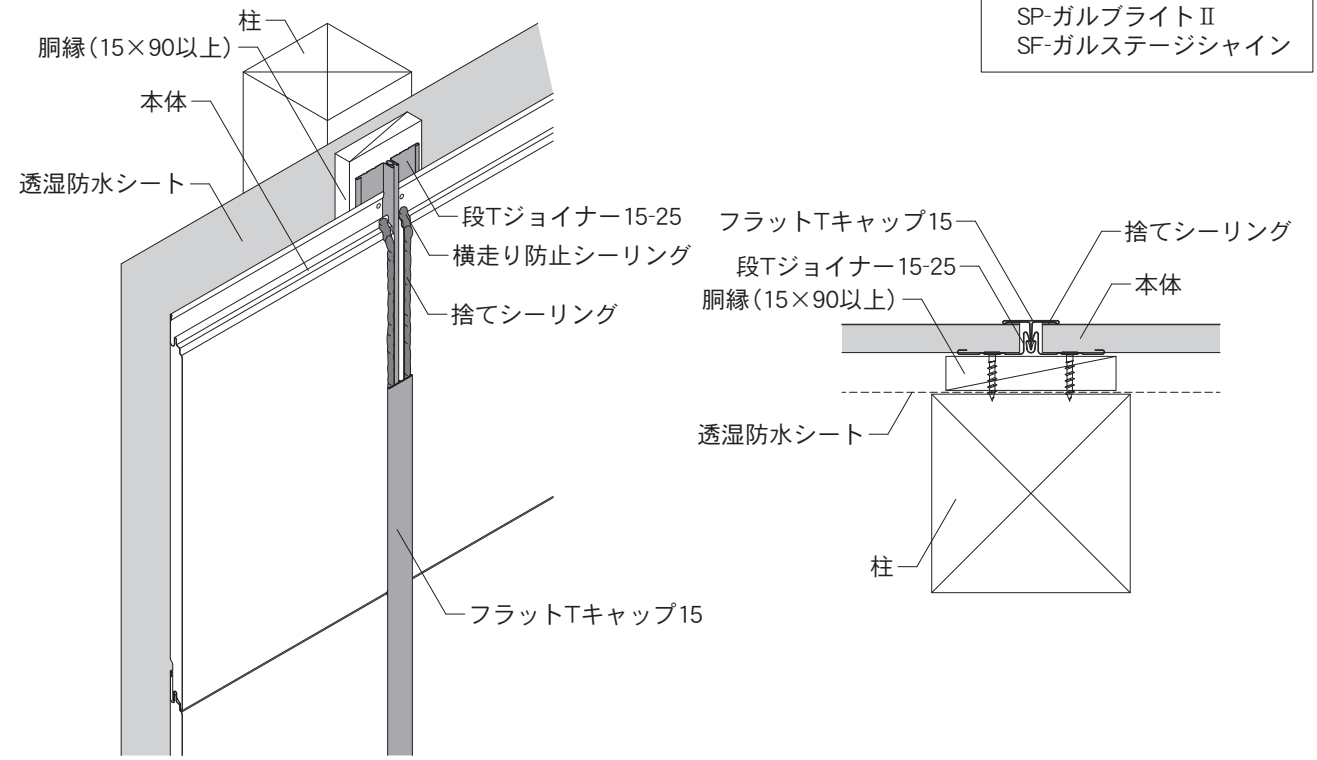
使用部材：ワンタッチHキャップ15-25（ワンタッチHキャップ15D）・ワンタッチTジョイナー15N

・本頁説明商品
NPT／NP、伸壁Ⅱ




使用部材：フラットTキャップ15・段Tジョイナー15-25

・本頁説明商品
SP-ガルブライトⅡ
SF-ガルステージシャイン



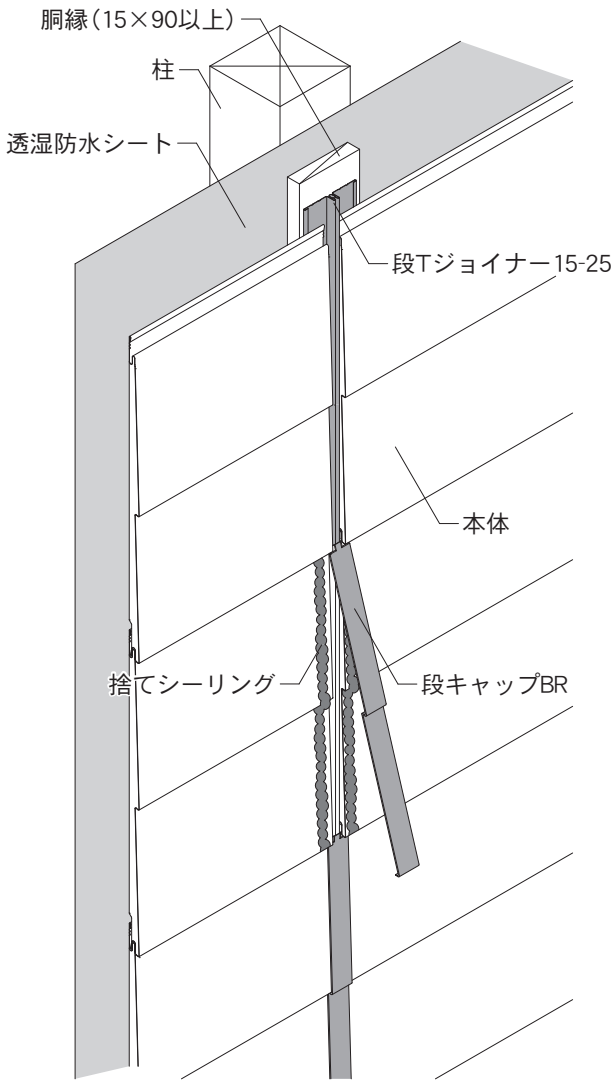
## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

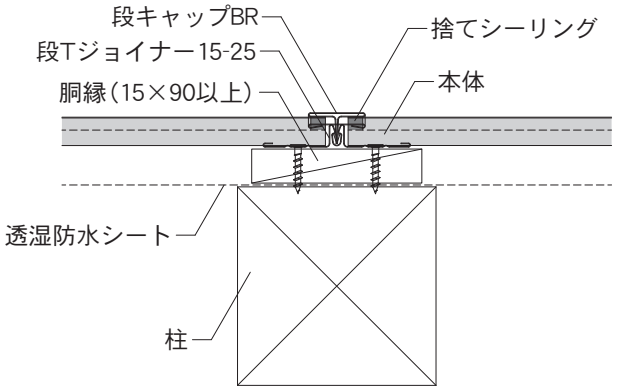
### D. 横継ぎ部（3）

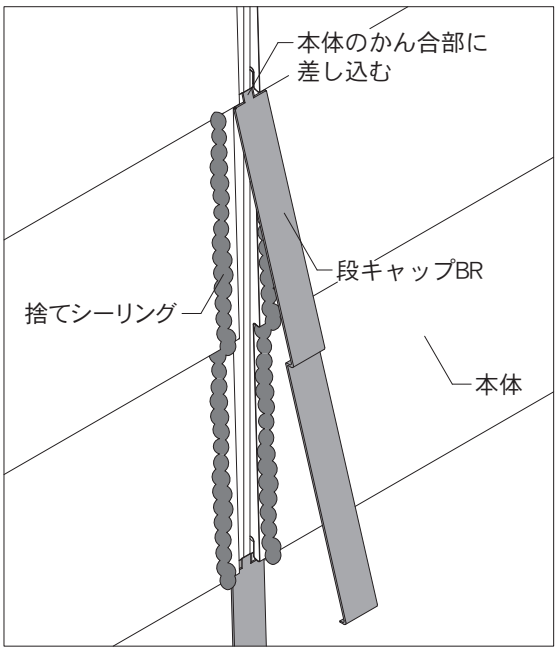
・本体1枚ごとに、横走り防止シーリングを捨てシーリングと連続する位置に施工してください（P151参照）。
・本体を施工してから、段キャップBRを施工してください。

使用部材：段キャップBR・段Tジョイナー15-25

・本頁説明商品
SP-ビレクト



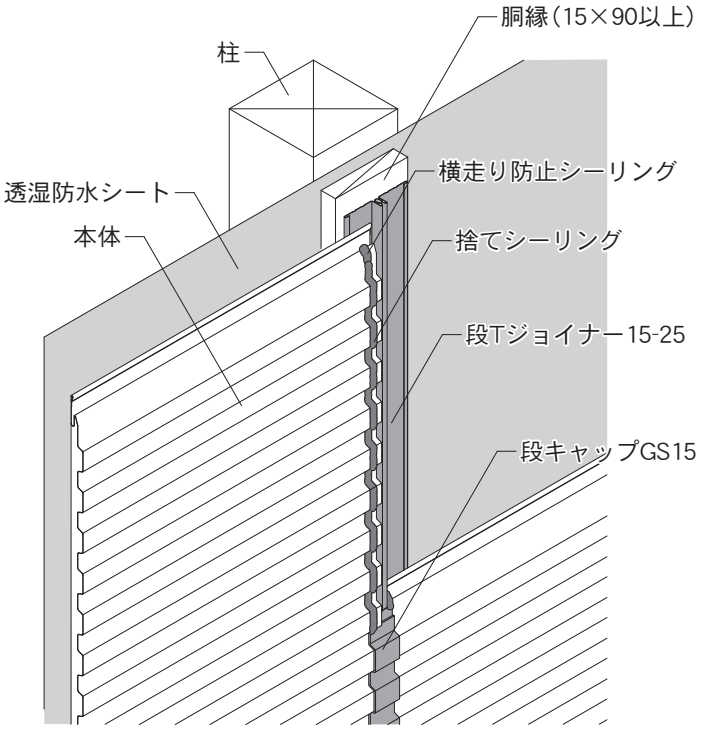
## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

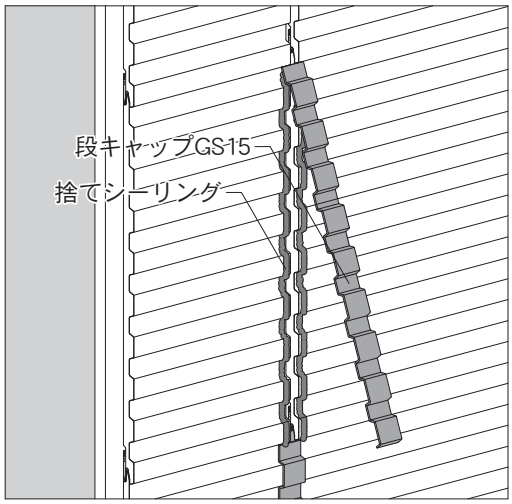
### D. 横継ぎ部（4）

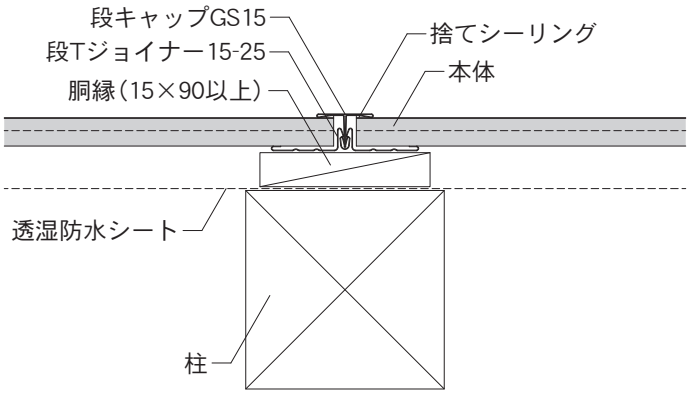
・本体１枚ごとに、横走り防止シーリングを捨てシーリングと連続する位置に施工してください（P151参照）。

使用部材：段キャップGS15・段Tジョイナー15-25

・本頁説明商品
SP-ガルスパン



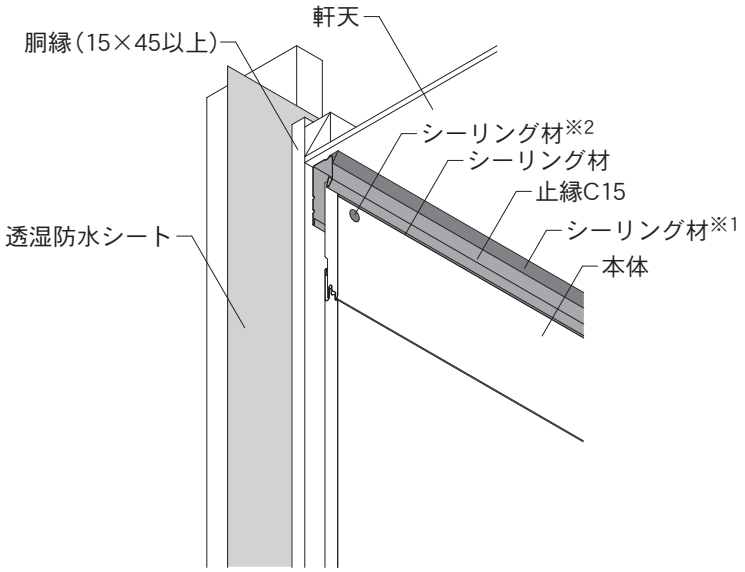
## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

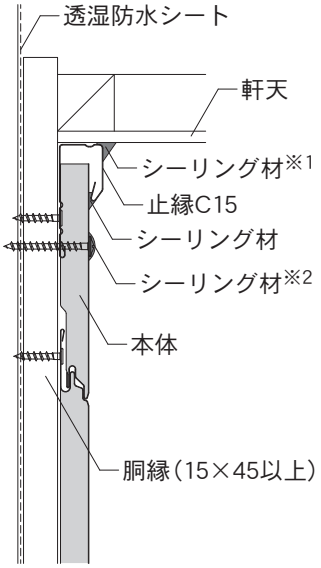
### E．軒部（1）

・軒裏や小屋裏への通気経路を確保してください。軒裏や小屋裏への通気を行わない場合は、通気軒見切15-25を使用することで通気構法が可能となります。
・本体の端部は必ず留め具（スクリューくぎまたは木ねじ）で、直接下地に留め付けてください。
※1　軒の出が外壁表面から300㎜以上の場合は、軒天と部材の間のシーリング材は無しも可。
※2　脳天打ちをしたくぎやねじ頭には、シーリング材の施工またはタッチアップペイントで塗装してください。

使用部材：止縁C15（止縁C15D）

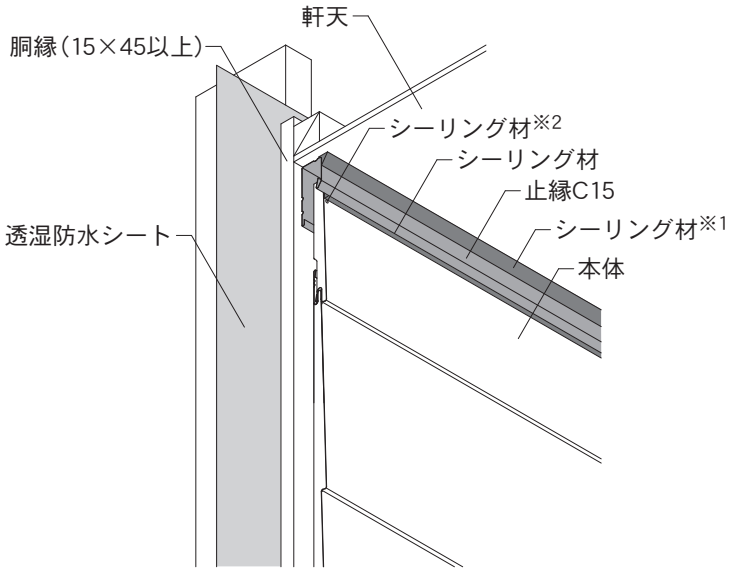
・本頁説明商品
SP-ガルブライトⅡ
SF-ガルステージシャイン
NFI／NPT／NP、伸壁Ⅱ

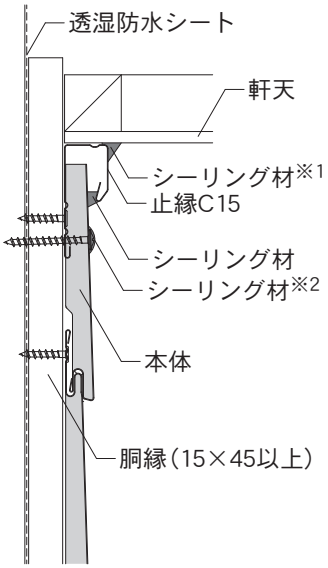



使用部材：止縁C15

・本頁説明商品
SP-ビレクト



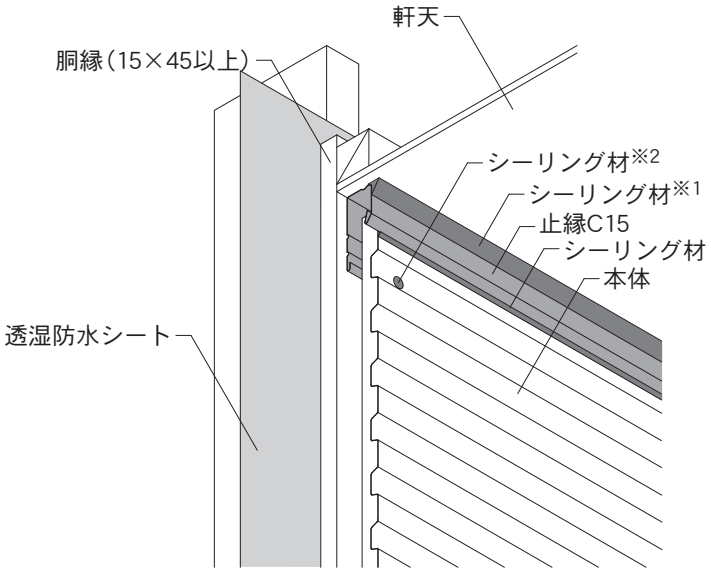
## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

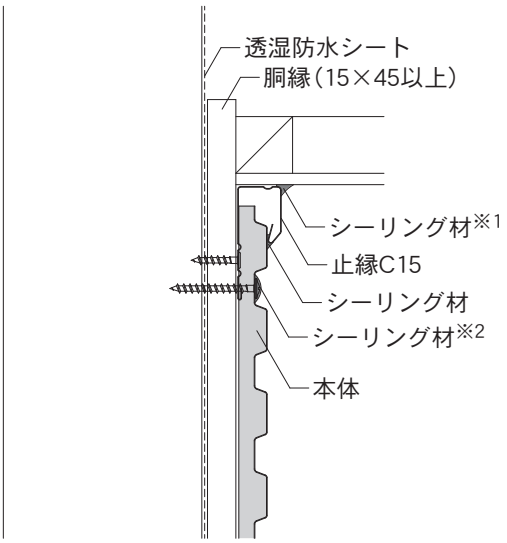
### E．軒部（2）

・軒裏や小屋裏への通気経路を確保してください。軒裏や小屋裏への通気を行わない場合は、通気軒見切15-25を使用することで通気構法が可能となります。
・本体の端部は必ず留め具（スクリューくぎまたは木ねじ）で、直接下地に留め付けてください。
※1　軒の出が外壁表面から300㎜以上の場合は、軒天と部材の間のシーリング材は無しも可。
※2　脳天打ちをしたくぎやねじ頭には、シーリング材の施工またはタッチアップペイントで塗装してください。

使用部材：止縁C15

・本頁説明商品
SP-ガルスパン



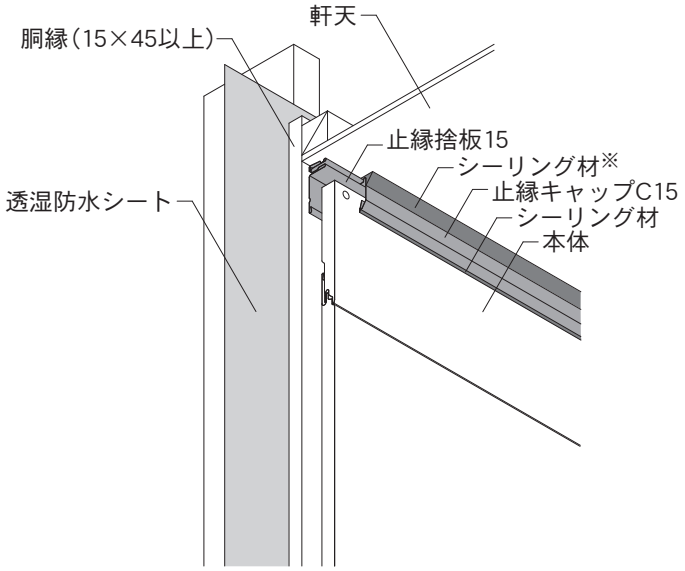
## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

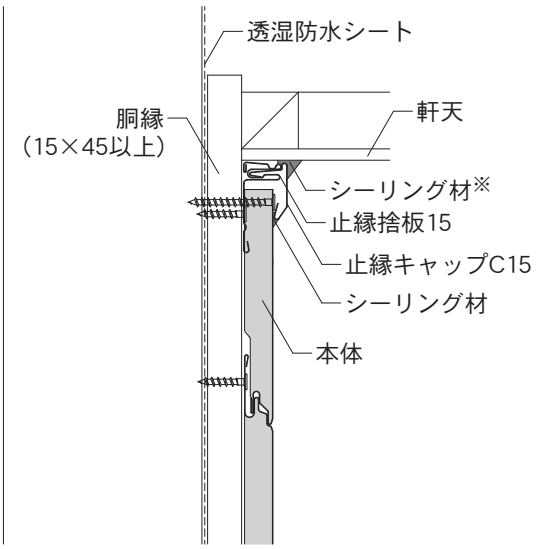
### E．軒部（3）

・軒裏や小屋裏への通気経路を確保してください。軒裏や小屋裏への通気を行わない場合は、通気軒見切15-25を使用することで通気構法が可能となります。
・本体の端部は必ず留め具（スクリューくぎまたは木ねじ）で、直接下地に留め付けてください。
※軒の出が外壁表面から300㎜以上の場合は、軒天と部材の間のシーリング材は無しも可。

使用部材：止縁キャップC15・止縁捨板15

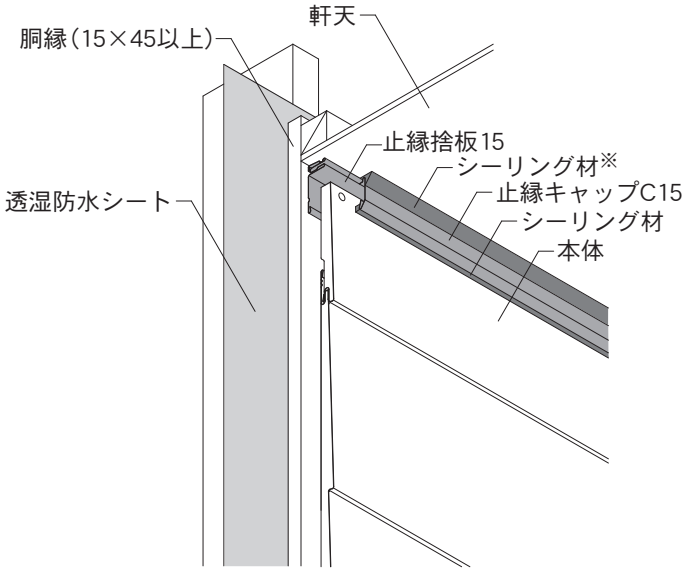
・本頁説明商品
SP-ガルブライトⅡ
SF-ガルステージシャイン
NPT／NP

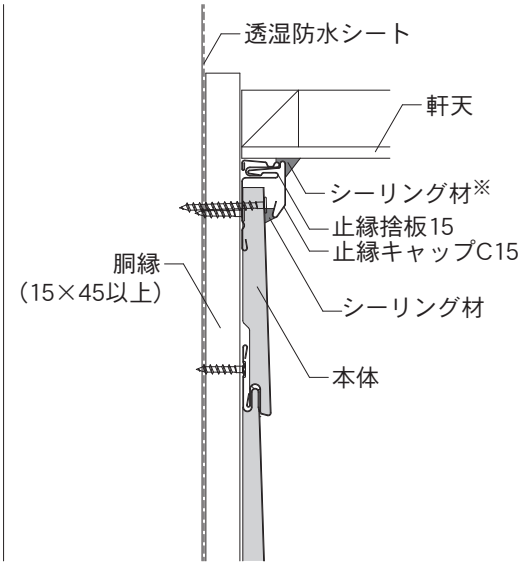



使用部材：止縁キャップC15・止縁捨板15

・本頁説明商品
SP-ビレクト



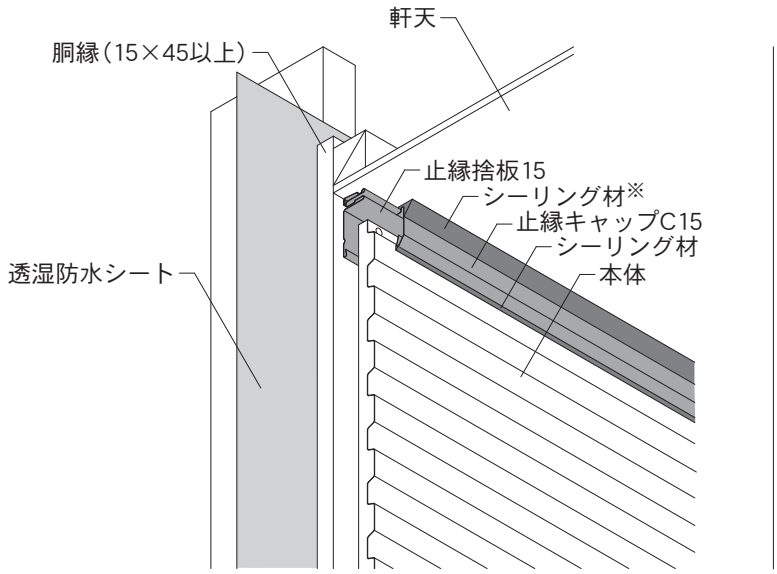
## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

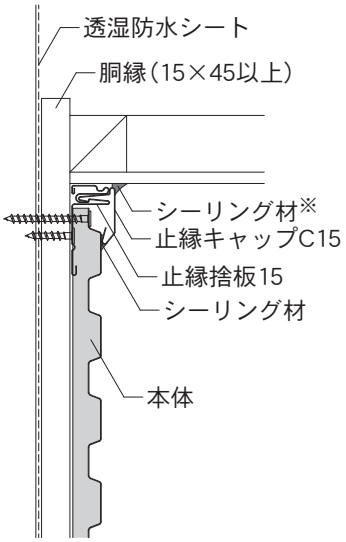
### E．軒部（4）

・本体の端部は必ず留め具（スクリューくぎまたは木ねじ）で、直接下地に留め付けてください。
・軒裏や小屋裏への通気経路を確保してください。軒裏や小屋裏への通気を行わない場合は、通気軒見切15-25を使用することで通気構法が可能となります。
※軒の出が外壁表面から300㎜以上の場合は、軒天と部材の間のシーリング材は無しも可。

使用部材：止縁キャップC15・止縁捨板15

・本頁説明商品
SP-ガルスパン



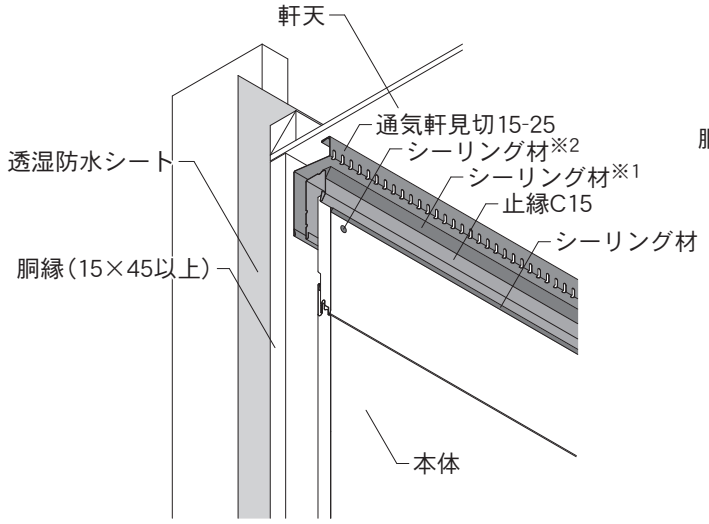
## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

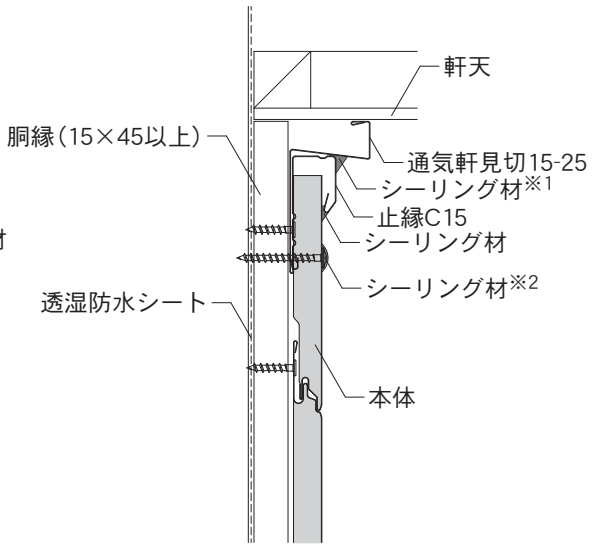
### E．軒部（5）

・軒裏や小屋裏への通気経路を確保してください。軒裏や小屋裏への通気を行わない場合は、通気軒見切15-25を使用することで通気構法が可能となります。通気軒見切15-25は、軒の出が外壁表面から300㎜以上の建物に施工してください。
・本体の端部は必ず留め具（スクリューくぎまたは木ねじ）で、直接下地に留め付けてください。
・片流れ屋根の棟側の軒には通気軒見切15-25を施工しないでください。
※1　通気軒見切り15-25と部材の間のシーリング材は無しも可。
※2　脳天打ちをしたくぎやねじ頭には、シーリング材の施工またはタッチアップペイントで塗装してください。

使用部材：通気軒見切15-25・止縁C15

・本頁説明商品
15㎜品共通



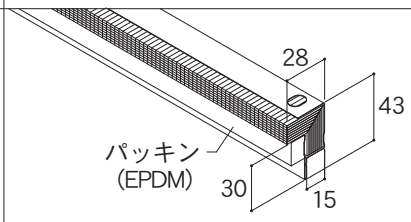
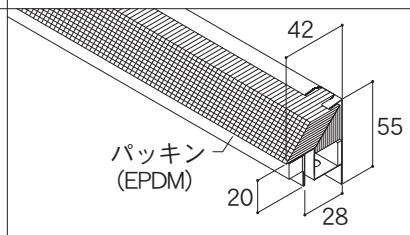
## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

### E．軒部（6）

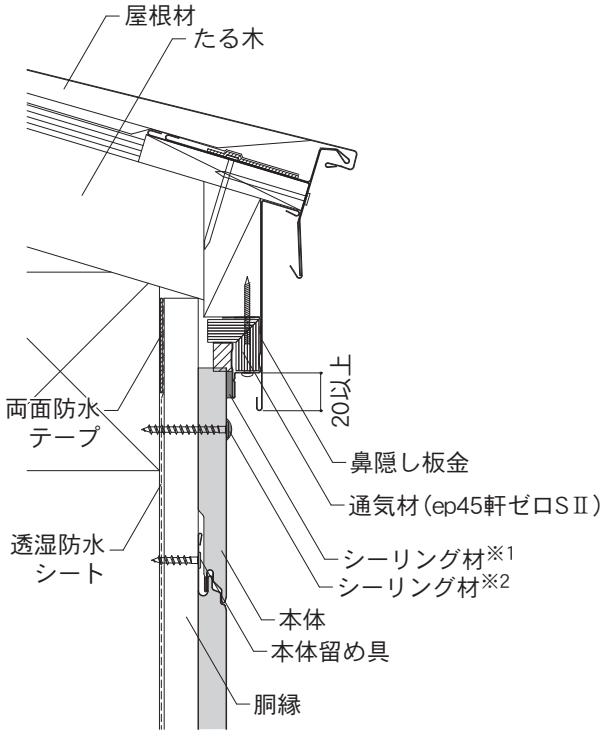
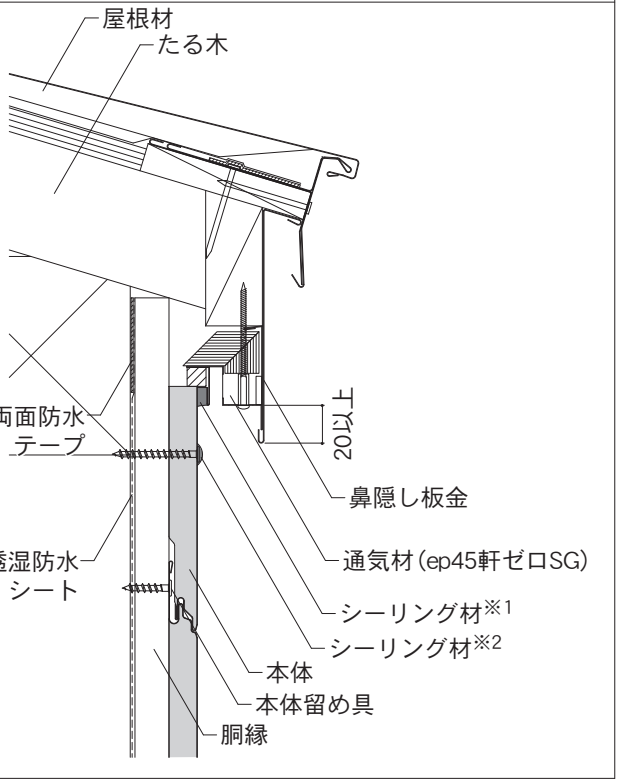
・軒ゼロ住宅に施工する場合の参考例です。
・軒裏45分準耐火構造の換気材として使う場合の構造仕様の詳細は、「日本住環境株式会社」のカタログをご確認ください。
※1　通気材とサイディング本体の取り合い部はシーリング材で防水してください。
※2　脳天打ちしたくぎやねじ頭には、シーリング材の施工またはタッチアップペイントで塗装をしてください。

・本頁説明商品
15㎜品共通

軒ゼロ通気材の参考例

| メーカー | 日本住環境株式会社品 | |
|---|---|---|
| 商品名 | ep45軒ゼロSⅡ | ep45軒ゼロSG |
| 商品図 |  |  |
| 防耐火認定 | 軒裏45分準耐火構造適合品 | 軒裏45分準耐火構造適合品 |

納まり図参考例

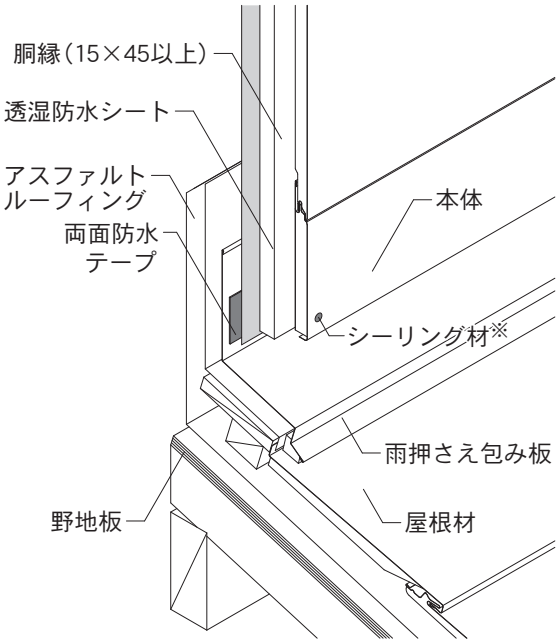
| ep45軒ゼロSⅡ | ep45軒ゼロSG |
|---|---|
|  |  |

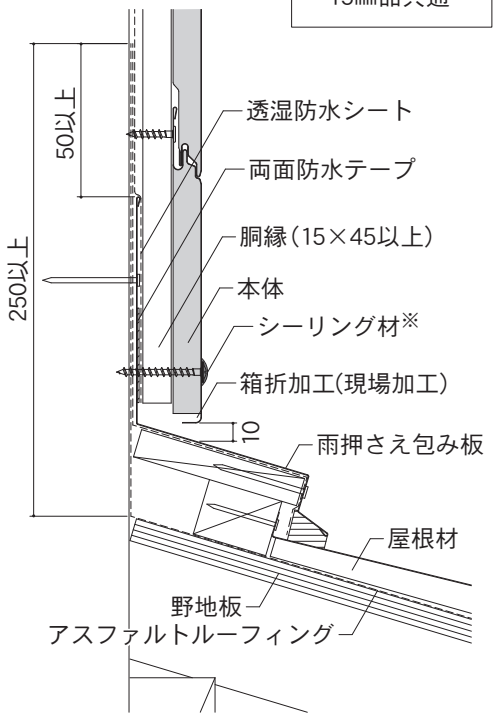
## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

### F．下屋見切り部（1）

・本体の下端と雨押え包み板の間には、雨水が滞留しないよう10㎜程度のすき間をあけてください。
・積雪の影響のある地域では、本体と部材に積雪の荷重や落雪、除雪の固まりなどが当たらないよう対処してください。
・本体の端部は必ず留め具（スクリューくぎまたは木ねじ）で、直接下地に留め付けてください。
※脳天打ちをしたくぎやねじ頭には、シーリング材の施工またはタッチアップペイントで塗装してください。

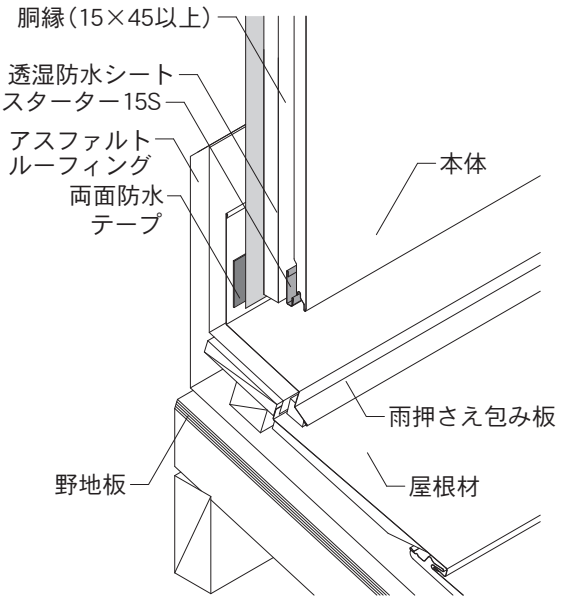
・本頁説明商品
15㎜品共通

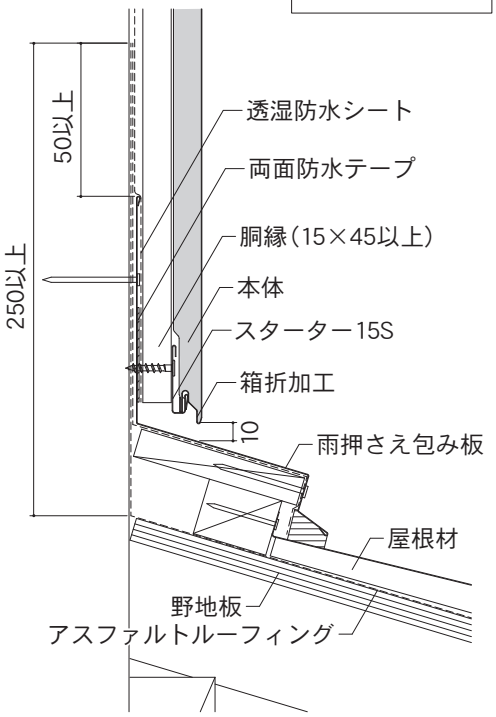



使用部材：スターター15S

・本頁説明商品
15㎜品共通



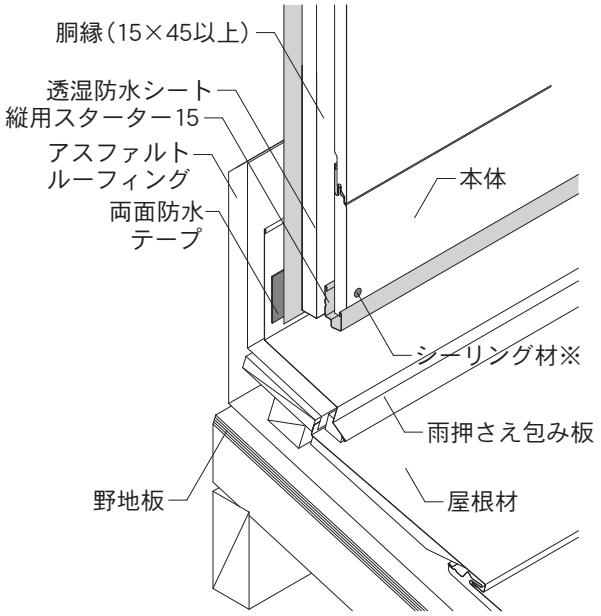
## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

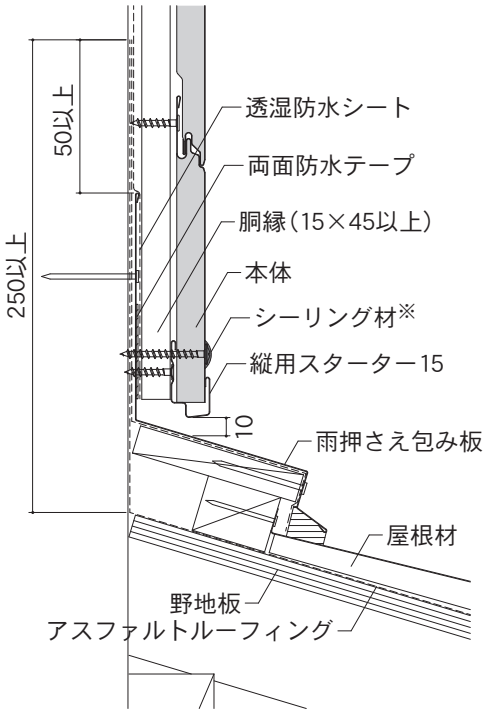
### F．下屋見切り部（2）

・縦用スターター15の下端と雨押え包み板の間には、雨水が滞留しないよう10㎜程度のすき間をあけてください。
・積雪の影響のある地域では、本体と部材に積雪の荷重や落雪、除雪の固まりなどが当たらないよう対処してください。
・本体の端部は必ず留め具（スクリューくぎまたは木ねじ）で、直接下地に留め付けてください。
※脳天打ちをしたくぎやねじ頭には、シーリング材の施工またはタッチアップペイントで塗装してください。

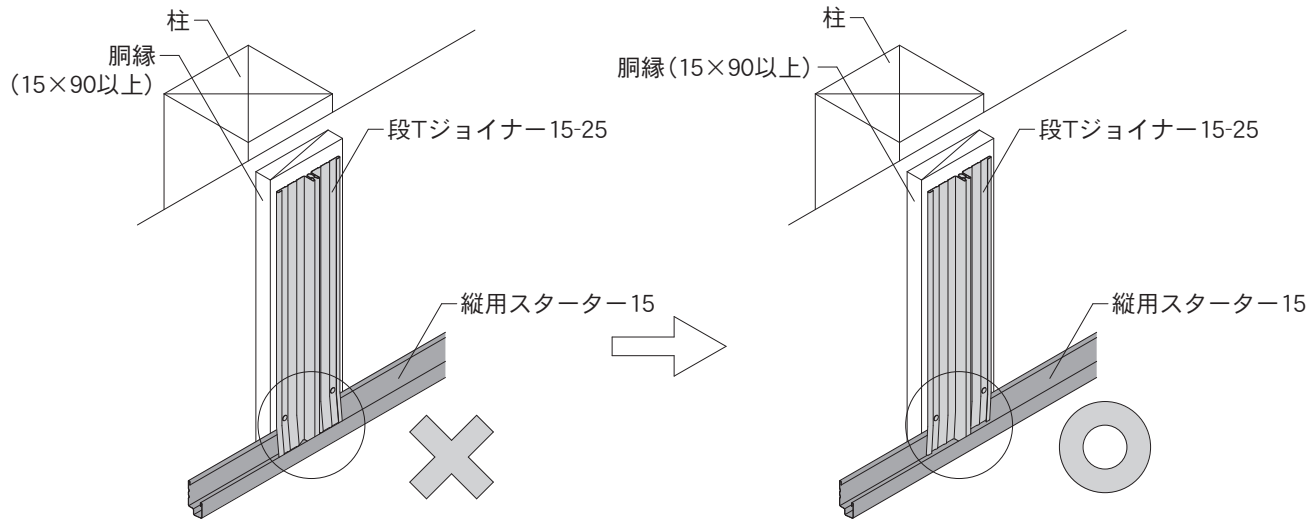
使用部材：縦用スターター15

・本頁説明商品
SP-ガルスパン
SP-ビレクト
SP-ガルブライトⅡ
SF-ガルステージシャイン
NPT／NP、伸壁Ⅱ




・下図のように段Tジョイナー15-25を留め付けた際に変形があった場合は、端部をたたいて変形を直してください。本体の仕上がりに影響することがあります。



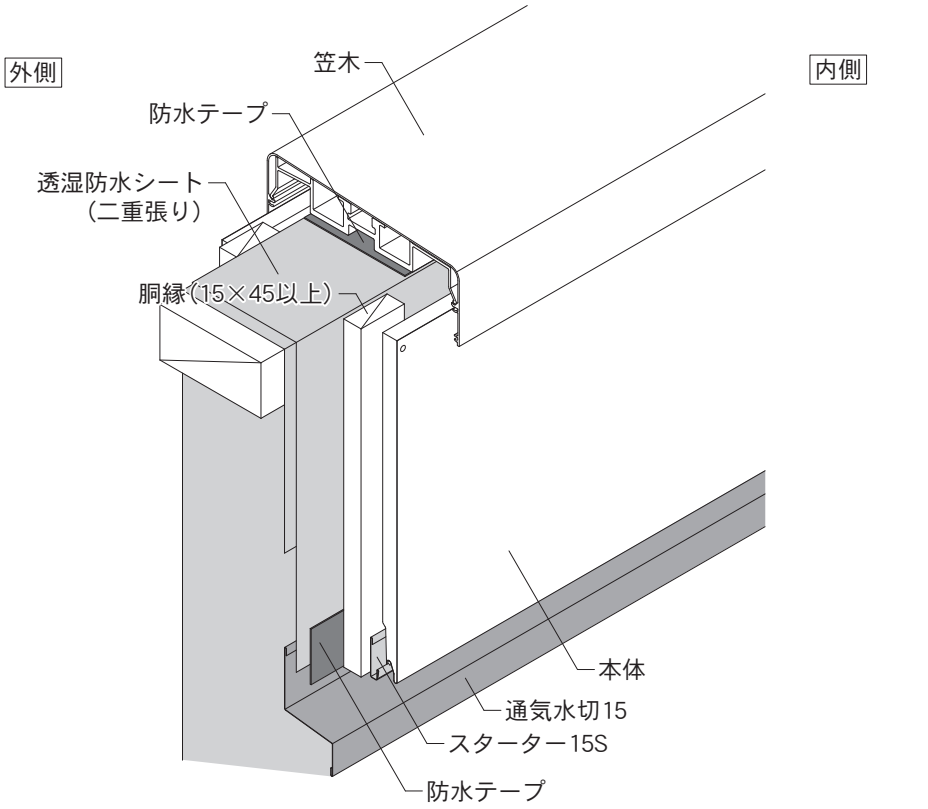
## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

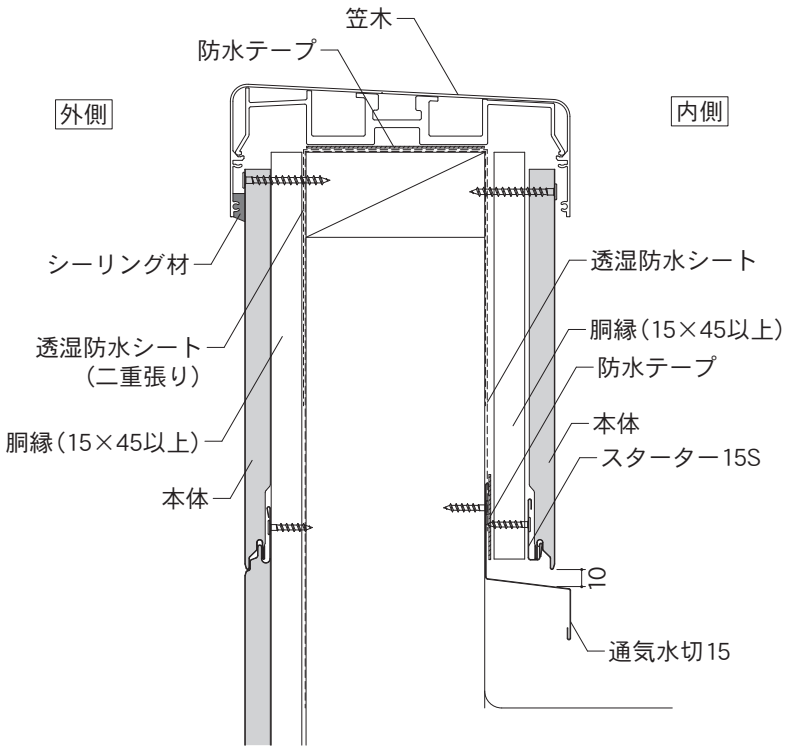
### G. 笠木部（1）

・防水上万全を期すため、透湿防水シートを二重張りにしてください。
・通気経路を確保してください。通気口から直接雨水が入らないように配慮してください。
・積雪の影響のある地域では、本体と部材に積雪の荷重や落雪、除雪の固まりなどが当たらないよう対処してください。
通気水切15の下に当て木を入れるなどの対処をしてください（P148参照）。
・本体の端部は必ず留め具（スクリューくぎまたは木ねじ）で、直接下地に留め付けてください。

使用部材：通気水切15・スターター15S

・本頁説明商品
15㎜品共通



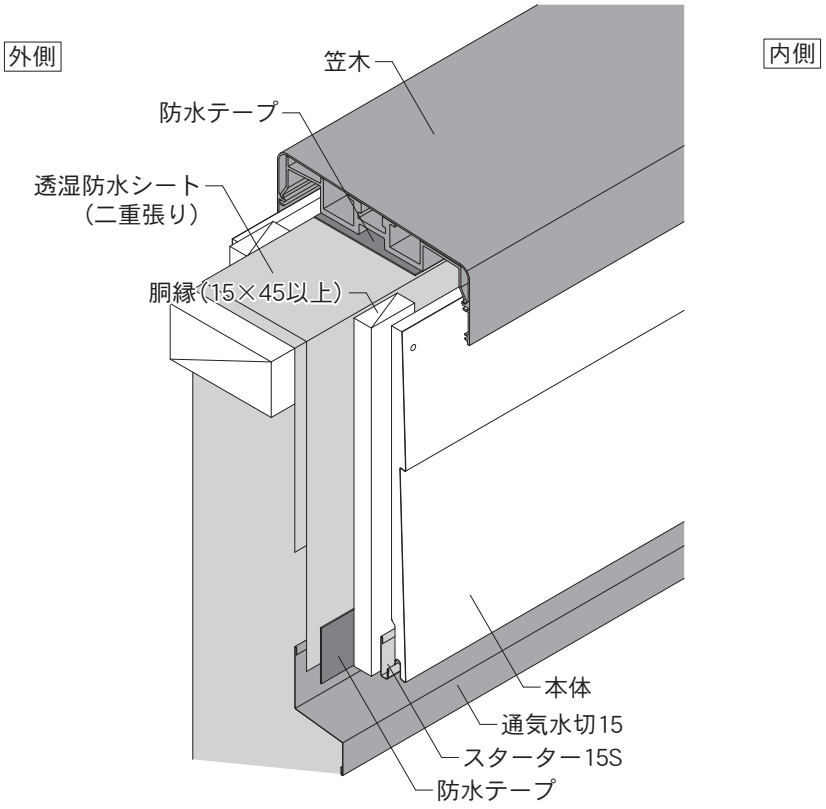
## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

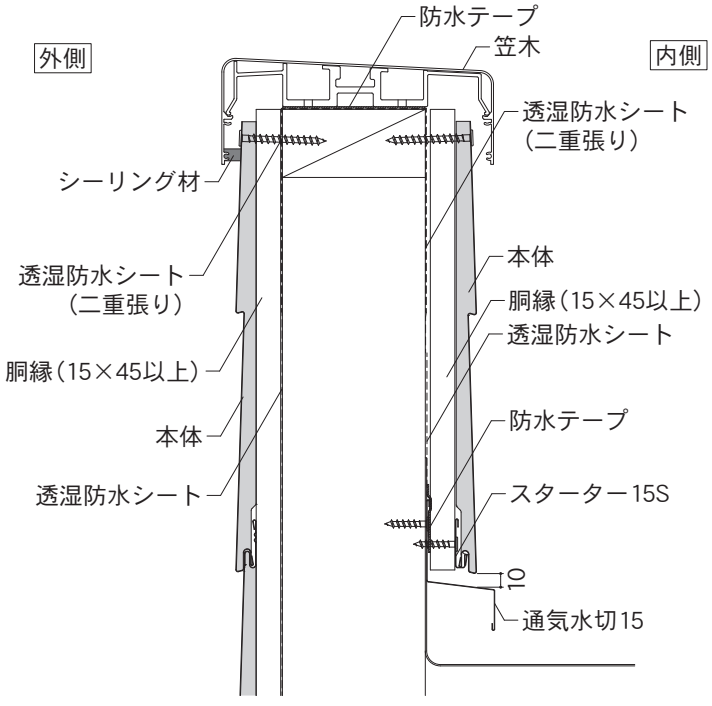
### G. 笠木部（2）

・防水上万全を期すため、透湿防水シートを二重張りにしてください。
・通気経路を確保してください。通気口から直接雨水が入らないように配慮してください。
・積雪の影響のある地域では、本体と部材に積雪の荷重や落雪、除雪の固まりなどが当たらないよう対処してください。
通気水切15の下に当て木を入れるなどの対処をしてください（P148参照）。
・本体の端部は必ず留め具（スクリューくぎまたは木ねじ）で、直接下地に留め付けてください。

使用部材：通気水切15・スターター15S

・本頁説明商品
SP-ビレクト



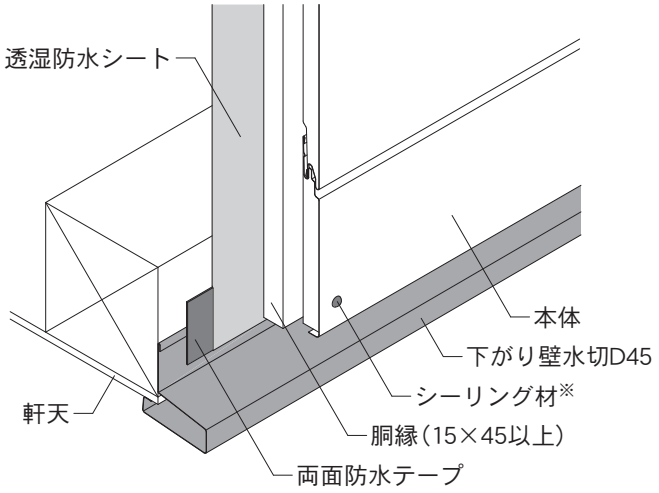
## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

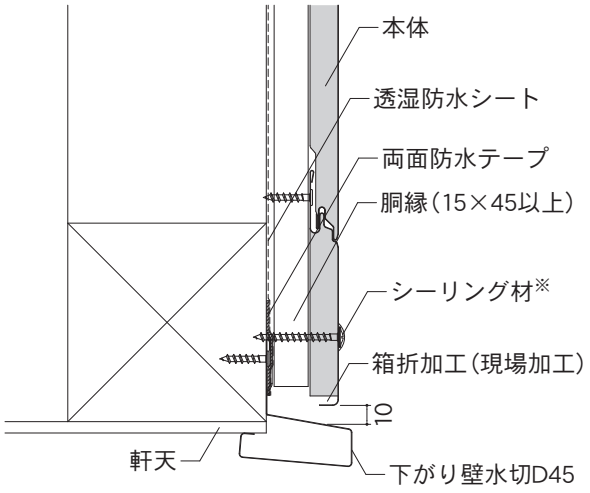
### H. 下がり壁部（1）

・本体または縦用スターター15の下端と下がり壁水切D45の間には、雨水が滞留しないよう10㎜程度のすき間をあけてください。
・施工時に発生する切粉は、縦用スターター15内に入らないように注意してください。切粉が入った場合は、さびや汚れの原因になりますので、必ず取り除いてから本体を施工してください。
・本体の端部は必ず留め具（スクリューくぎまたは木ねじ）で、直接下地に留め付けてください。
※脳天打ちをしたくぎやねじ頭には、シーリング材の施工またはタッチアップペイントで塗装してください。

使用部材：下がり壁水切D45

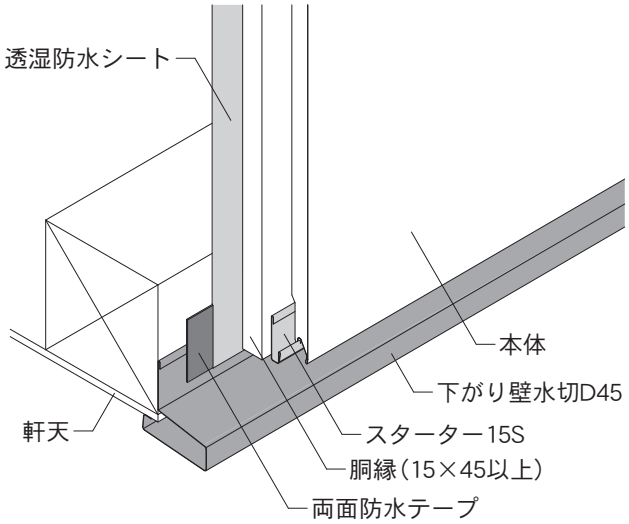
・本頁説明商品
15㎜品共通

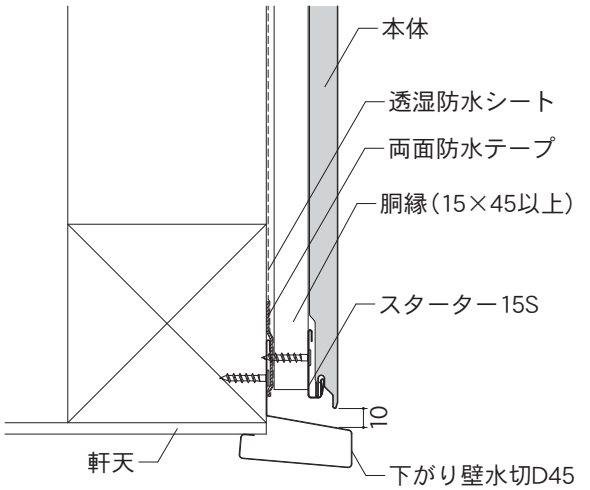



使用部材：下がり壁水切D45・スターター15S

・本頁説明商品
15㎜品共通



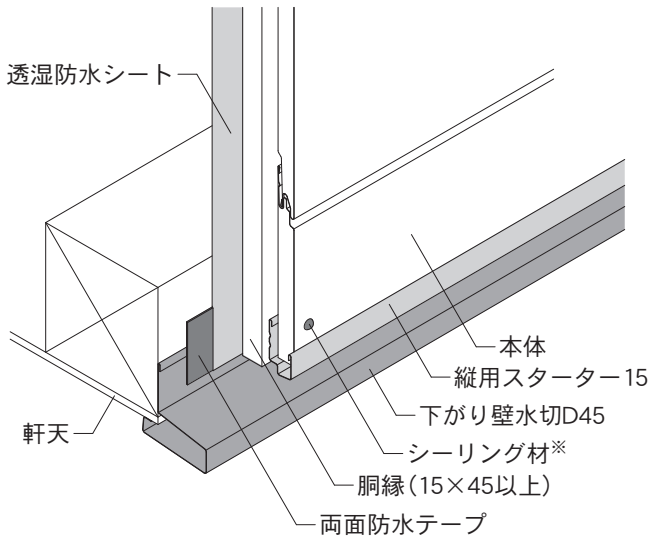
## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

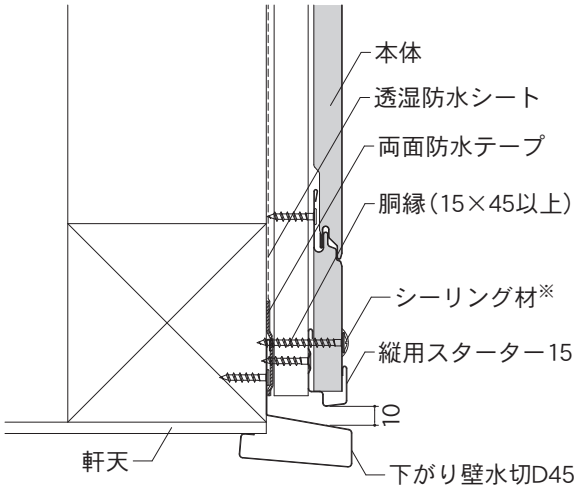
### H. 下がり壁部（2）

・本体または縦用スターター15の下端と下がり壁水切D45の間には、雨水が滞留しないよう10㎜程度のすき間をあけてください。
・施工時に発生する切粉は、縦用スターター15内に入らないように注意してください。切粉が入った場合は、さびや汚れの原因になりますので、必ず取り除いてから本体を施工してください。
・本体の端部は必ず留め具（スクリューくぎまたは木ねじ）で、直接下地に留め付けてください。
※脳天打ちをしたくぎやねじ頭には、シーリング材の施工またはタッチアップペイントで塗装してください。

使用部材：下がり壁水切D45・縦用スターター15

・本頁説明商品
SP-ガルスパン
SP-ビレクト
SP-ガルブライトⅡ
SF-ガルステージシャイン
NPT／NP、伸壁Ⅱ



## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

### Ⅰ. 開口部（共通）

サッシと部材の取り合いのシーリングの施工について
・サッシと部材の取り合いでシーリングを施工する場合は、図1、図2のいずれかのようにシーリング材を施工してください。
・図2の場合は、接着断面の長さは5㎜以上とし、両面が薄くならないように均一に施工してください。
・シーリング材が薄い箇所は劣化が早く進みシーリング切れの原因となります。シーリング材のこまめな点検、補修が必要です。
・次ページより、図1を代表して記載しています。

図1

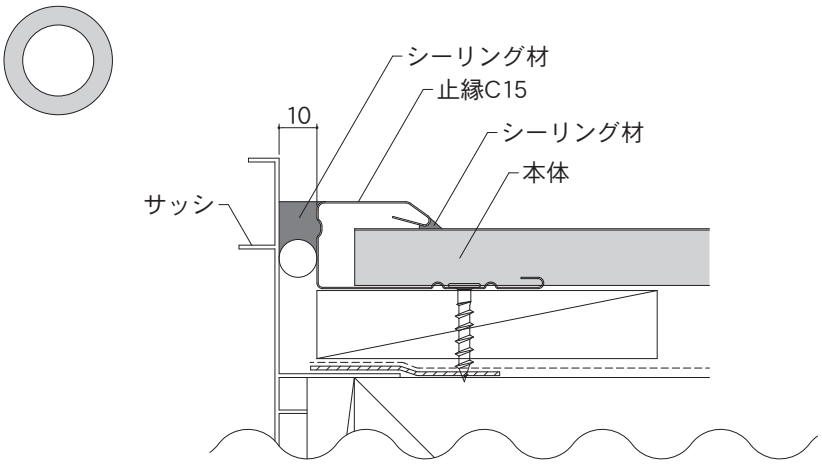
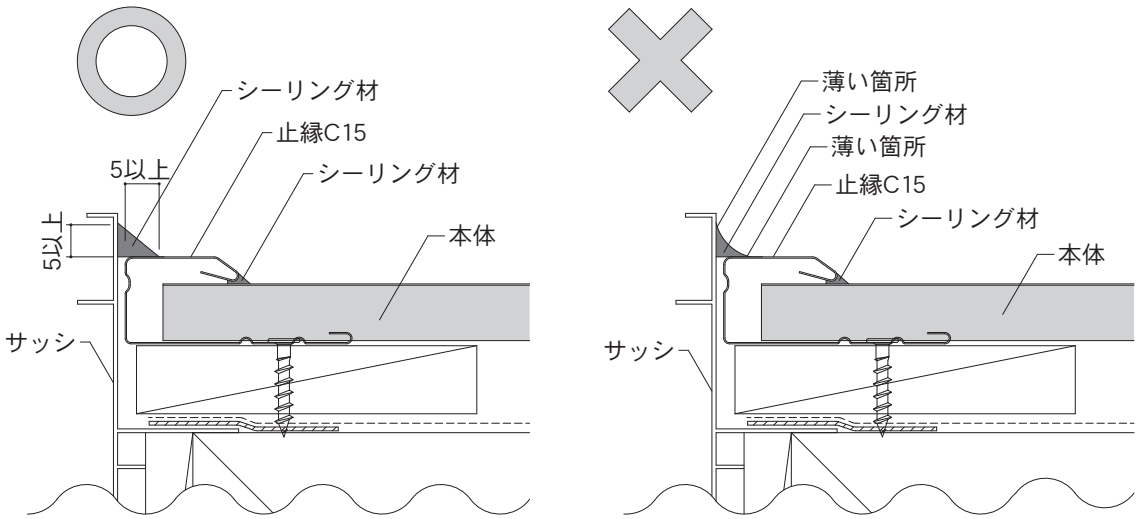



図2



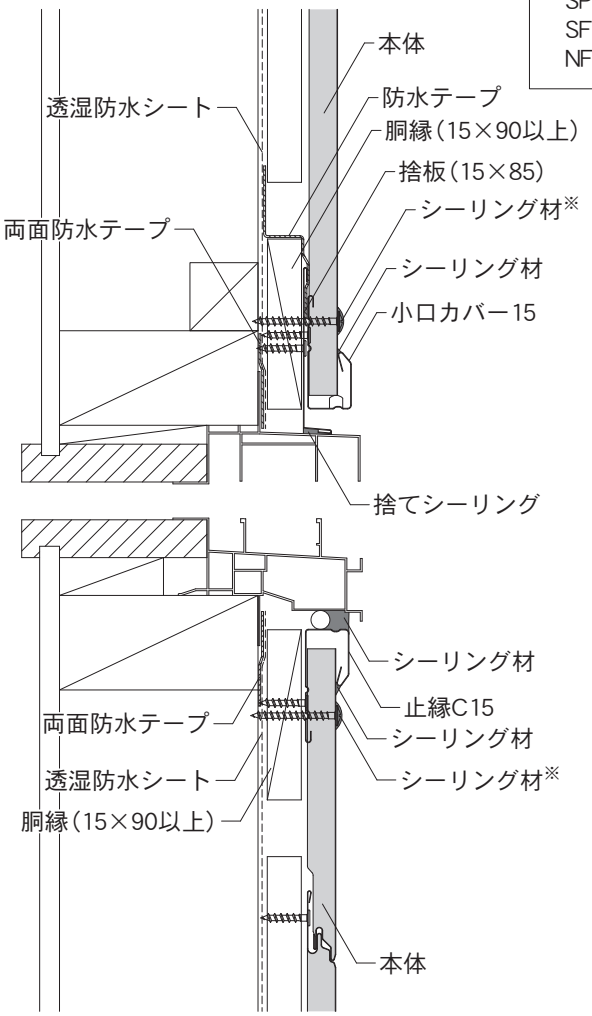
## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

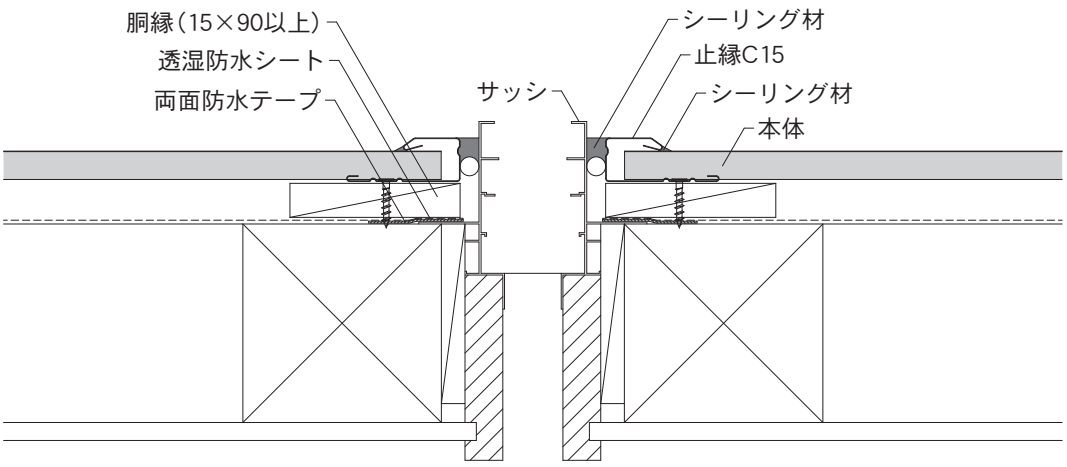
### Ⅰ. 開口部（1）

・止縁C15を開口部上に取り付ける際は、あらかじめ水抜き穴をあけてから取り付けてください。小口カバー15は、水抜き穴があいています。
・本体の端部は必ず留め具（スクリューくぎまたは木ねじ）で、直接下地に留め付けてください。
※脳天打ちしたくぎやねじ頭には、シーリング材の施工またはタッチアップペイントで塗装をしてください。

使用部材：小口カバー15・止縁C15（止縁C15D）・捨板（15×85）

・本頁説明商品
SP-ガルブライトⅡ
SF-ガルステージシャイン
NFI／NPT／NP、伸壁Ⅱ



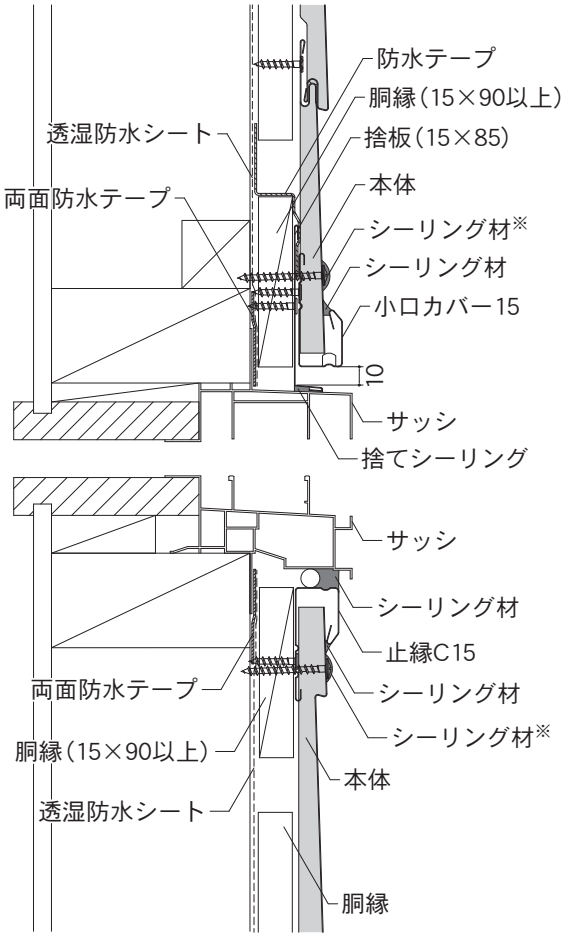
## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

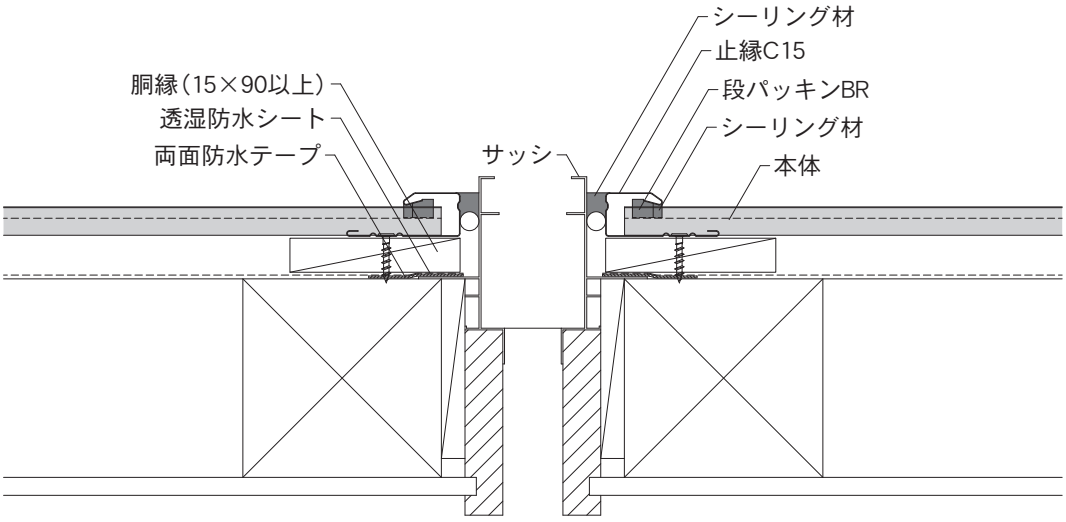
### Ⅰ. 開口部（1）

・本体の端部は必ず留め具（スクリューくぎまたは木ねじ）で、直接下地に留め付けてください。
※脳天打ちしたくぎやねじ頭には、シーリング材の施工またはタッチアップペイントで塗装をしてください。

使用部材：小口カバー15・捨板（15×85）・段パッキンBR

・本頁説明商品
SP-ビレクト



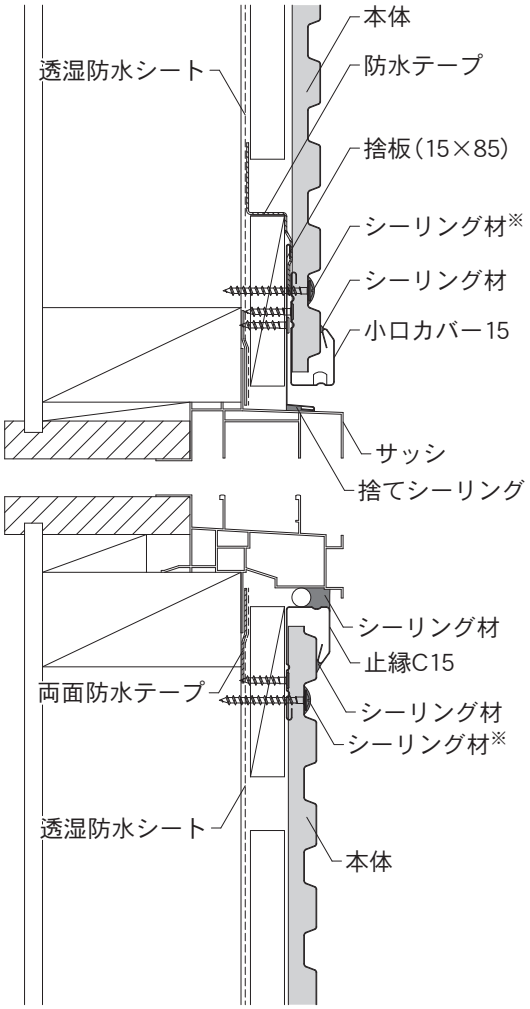
## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

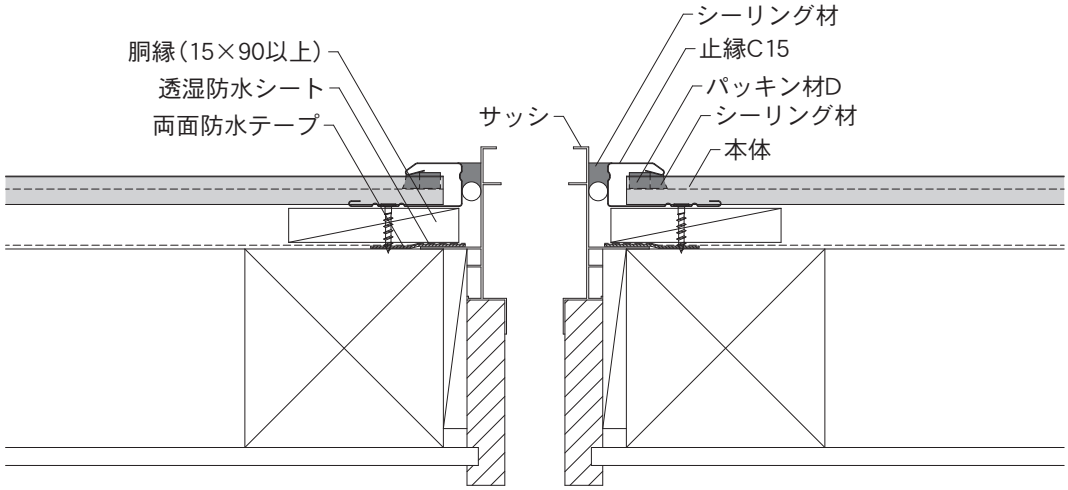
### Ⅰ. 開口部（1）

・本体の端部は必ず留め具（スクリューくぎまたは木ねじ）で、直接下地に留め付けてください。
※脳天打ちしたくぎやねじ頭には、シーリング材の施工またはタッチアップペイントで塗装をしてください。

使用部材：小口カバー15・捨板（15×85）・パッキン材D

・本頁説明商品
SP-ガルスパン



## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

単位：㎜

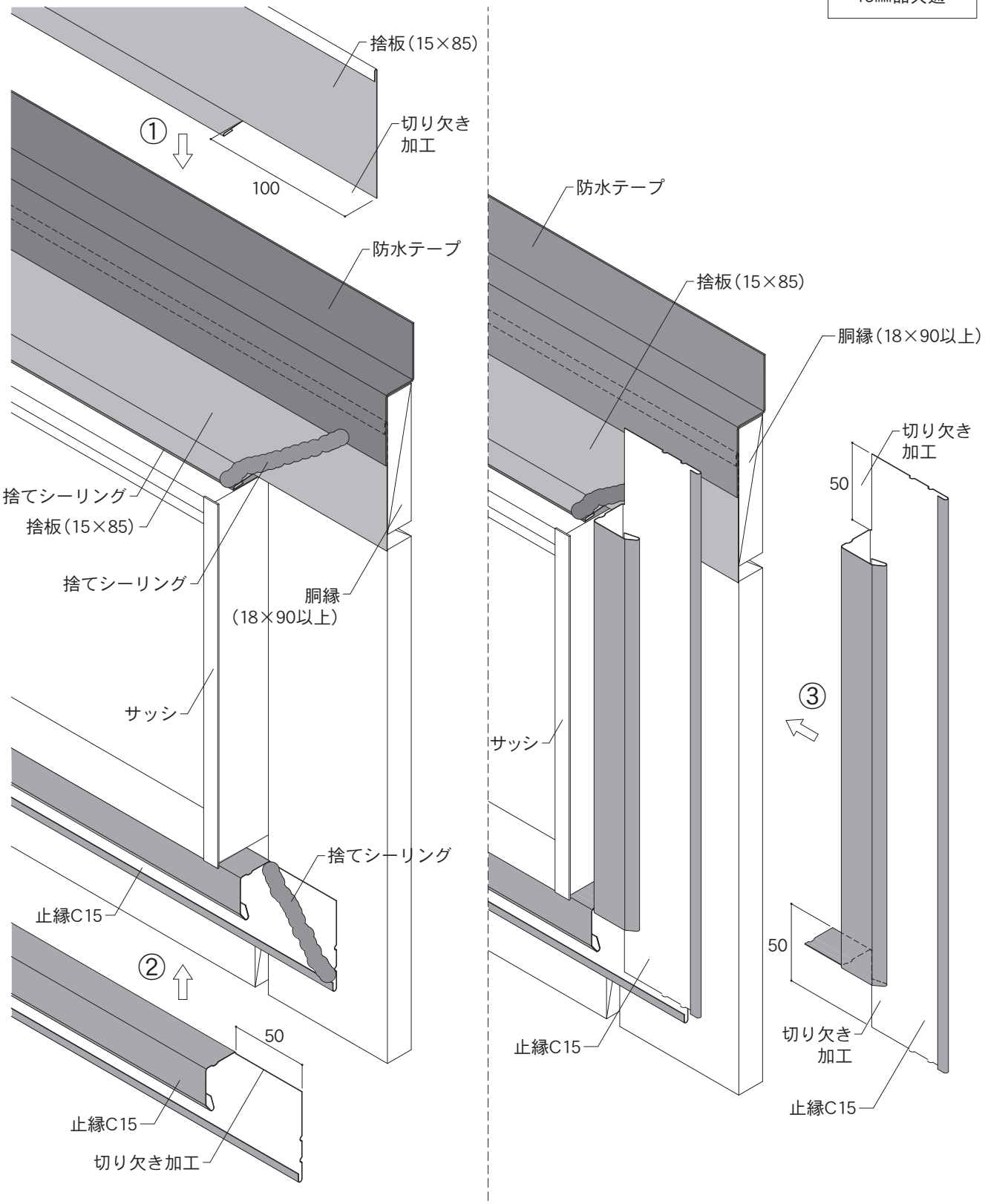
### Ⅰ. 開口部（1）

隅角部にワンタッチコーナーキャップ15-25を施工する場合

①開口部上に捨板（15×85）を施工して、その上から防水テープを図の位置に施工してください。
②開口部下に止縁C15を取り付けてください。
③開口部左右に止縁C15を取り付けてください。
・部材同士が重なる箇所には、捨てシーリングを施工してください。

使用部材：小口カバー15・止縁C15・捨板（15×85）

・本頁説明商品
15㎜品共通



## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

単位：㎜

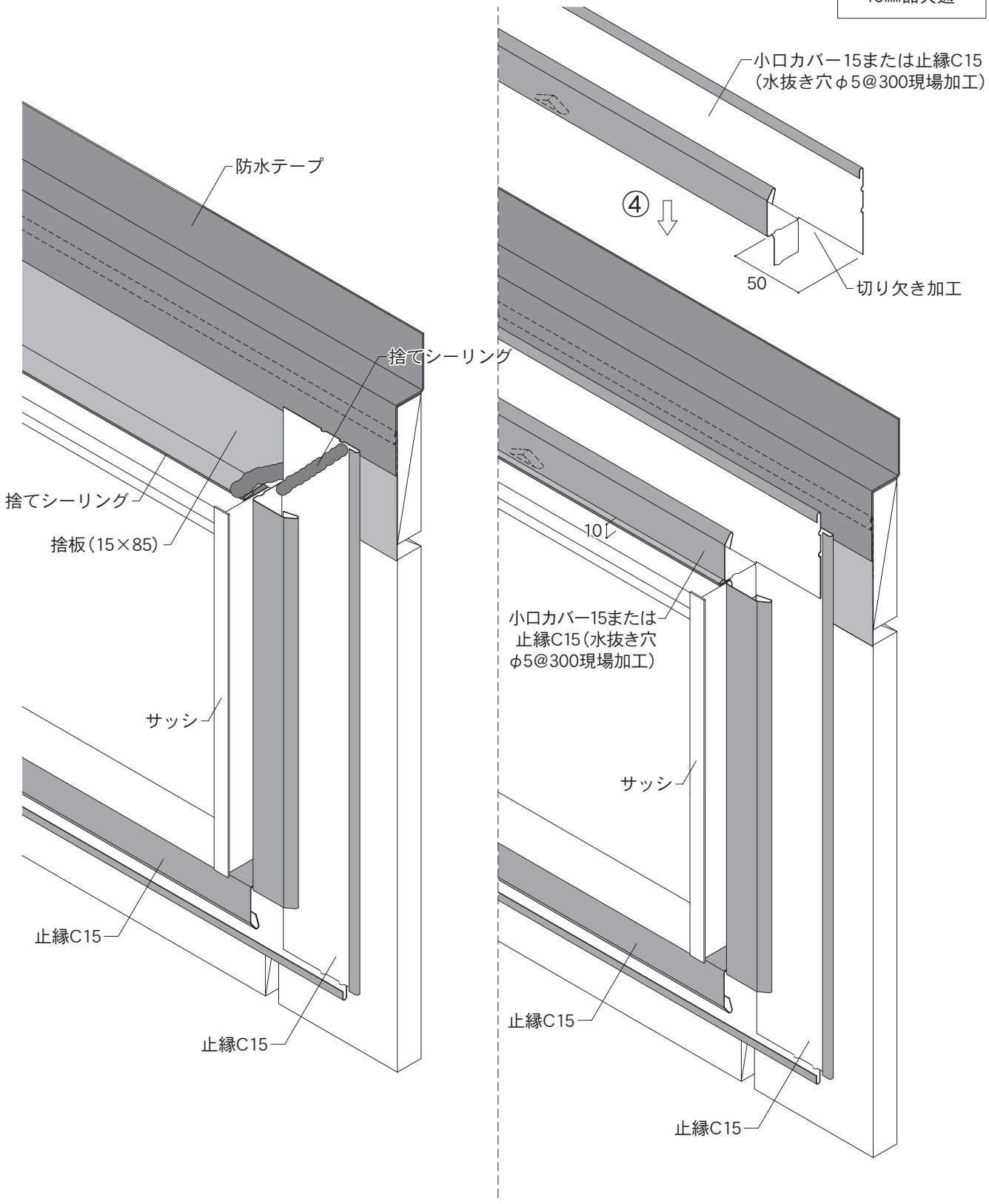
### Ⅰ. 開口部（1）

隅角部にワンタッチコーナーキャップ15-25を施工する場合

・開口部上には、小口カバー15または止縁C15（水抜き穴φ5@300現場加工）の下端とサッシの間は雨水が滞留しないよう10㎜程度のすき間をあけて取り付けてください。小口カバー15（止縁C15）の左右両端の内部には、捨てシーリングを施工してください。

使用部材：小口カバー15・止縁C15・捨板（15×85）

・本頁説明商品
15㎜品共通



## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

単位：㎜

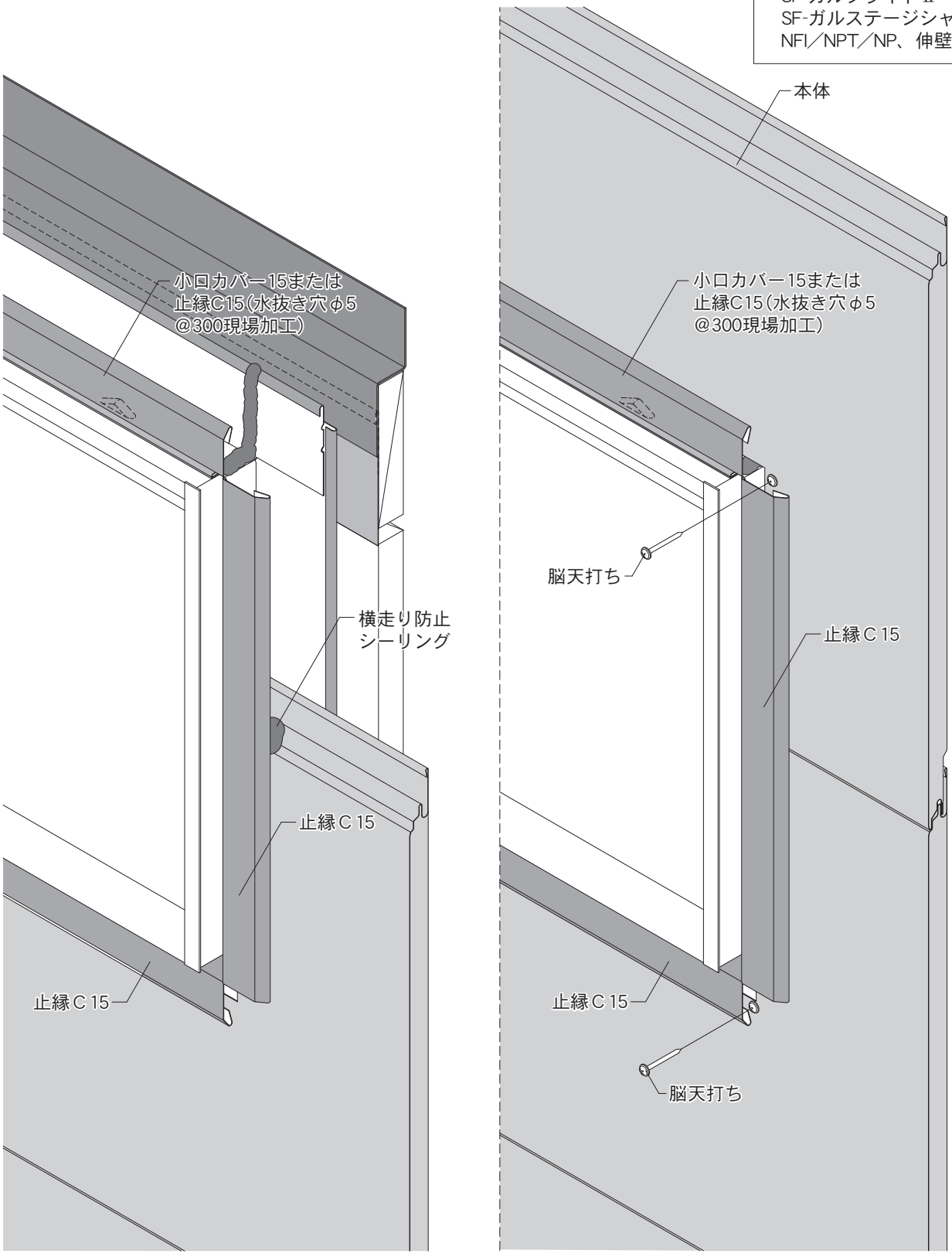
### Ⅰ. 開口部（1）

隅角部にワンタッチコーナーキャップ15-25を施工する場合

・ワンタッチコーナーキャップ15-25の隠れる位置に脳天打ちをし、本体を確実に留め付けてください。
・開口部左右に施工する本体1枚ごとに、横走り防止シーリングを施工してください。
・小口カバー15または止縁C15に捨てシーリングを施工してから、本体を施工してください。

使用部材：小口カバー15・止縁C15・捨板（15×85）

・本頁説明商品
SP-ガルブライトⅡ
SF-ガルステージシャイン
NFI／NPT／NP、伸壁Ⅱ



## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

単位：㎜

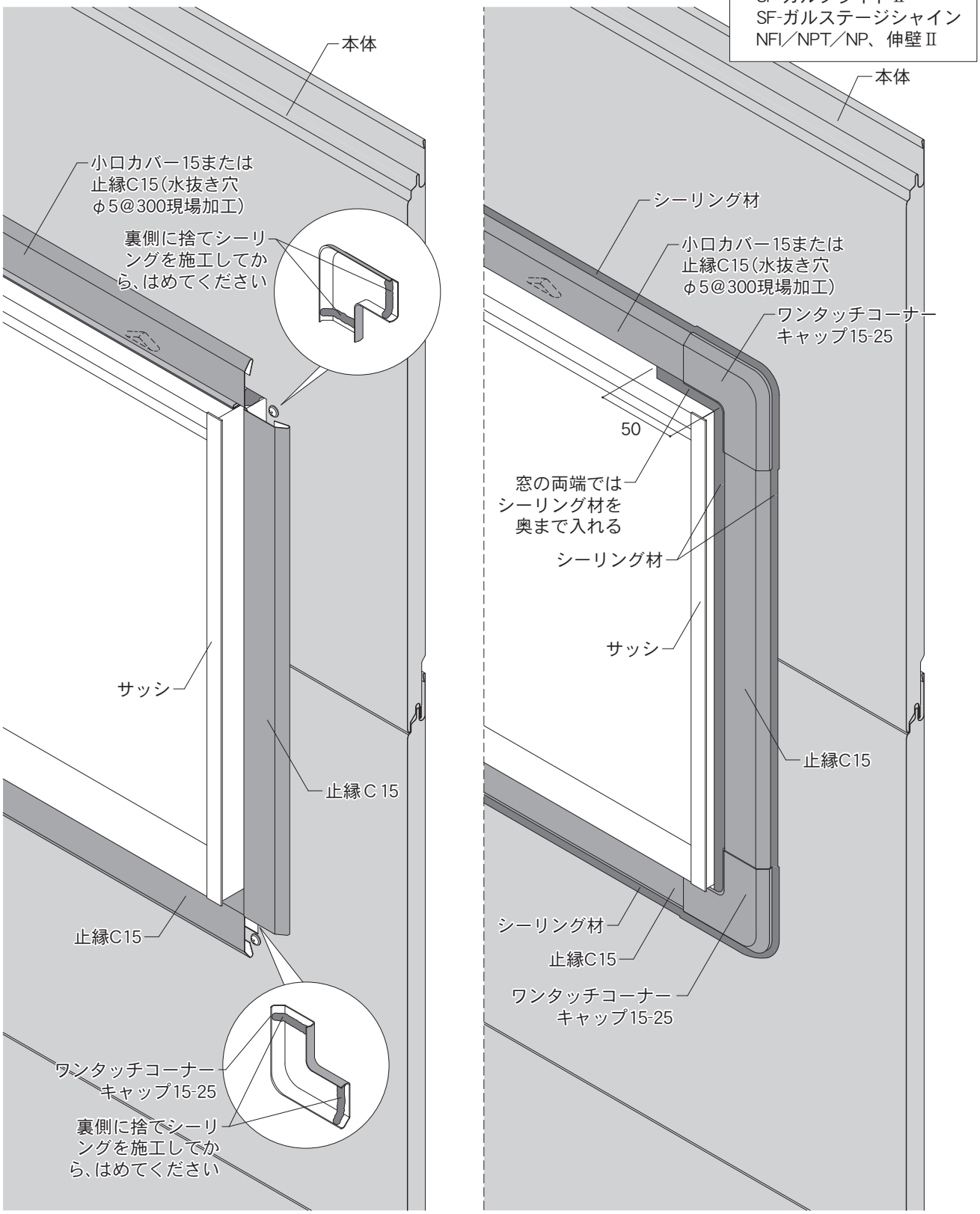
### Ⅰ. 開口部（1）

隅角部にワンタッチコーナーキャップ15-25を施工する場合

・開口部上では、小口カバー15の下端とサッシの間に左右両端50㎜程度のシーリング材を奥まで入れてください。
・脳天打ちをしたくぎやねじ頭には、シーリング材の施工またはタッチアップペイントで塗装してください。

使用部材：小口カバー15・止縁C15・捨板（15×85）

・本頁説明商品
SP-ガルブライトⅡ
SF-ガルステージシャイン
NFI／NPT／NP、伸壁Ⅱ



## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

単位：㎜

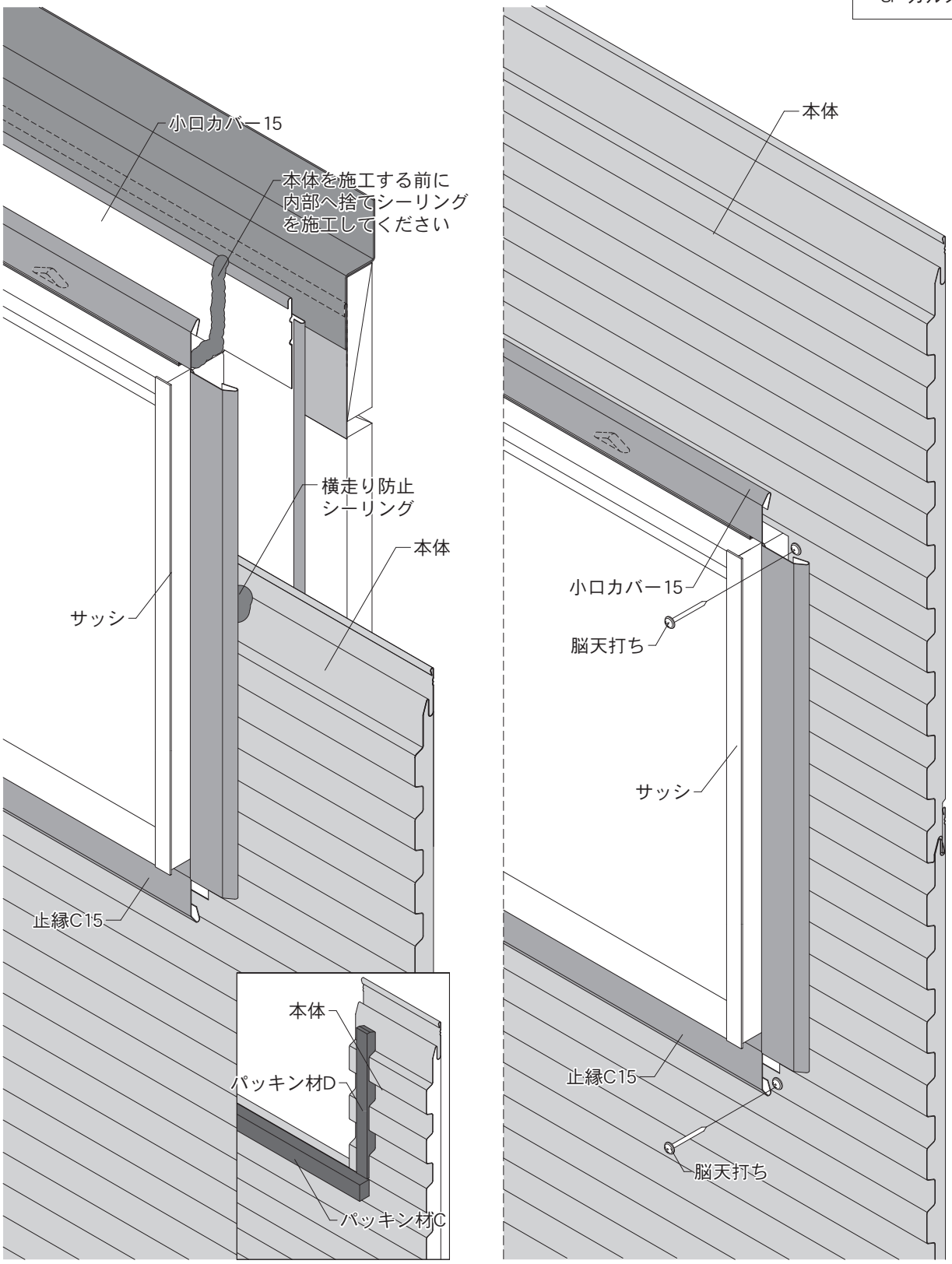
### Ⅰ. 開口部（1）

隅角部にワンタッチコーナーキャップ15-25を施工する場合

・開口部左右に施工する本体1枚ごとに、横走り防止シーリングを施工してください。
・開口部左右に施工する本体には、パッキン材Dを貼り付けてください。
・ワンタッチコーナーキャップ15-25の隠れる位置に脳天打ちをし、本体を確実に留め付けてください。

使用部材：小口カバー15・止縁C15・捨板（15×85）・パッキン材D・パッキン材C

・本頁説明商品
SP-ガルスパン



## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

単位：㎜

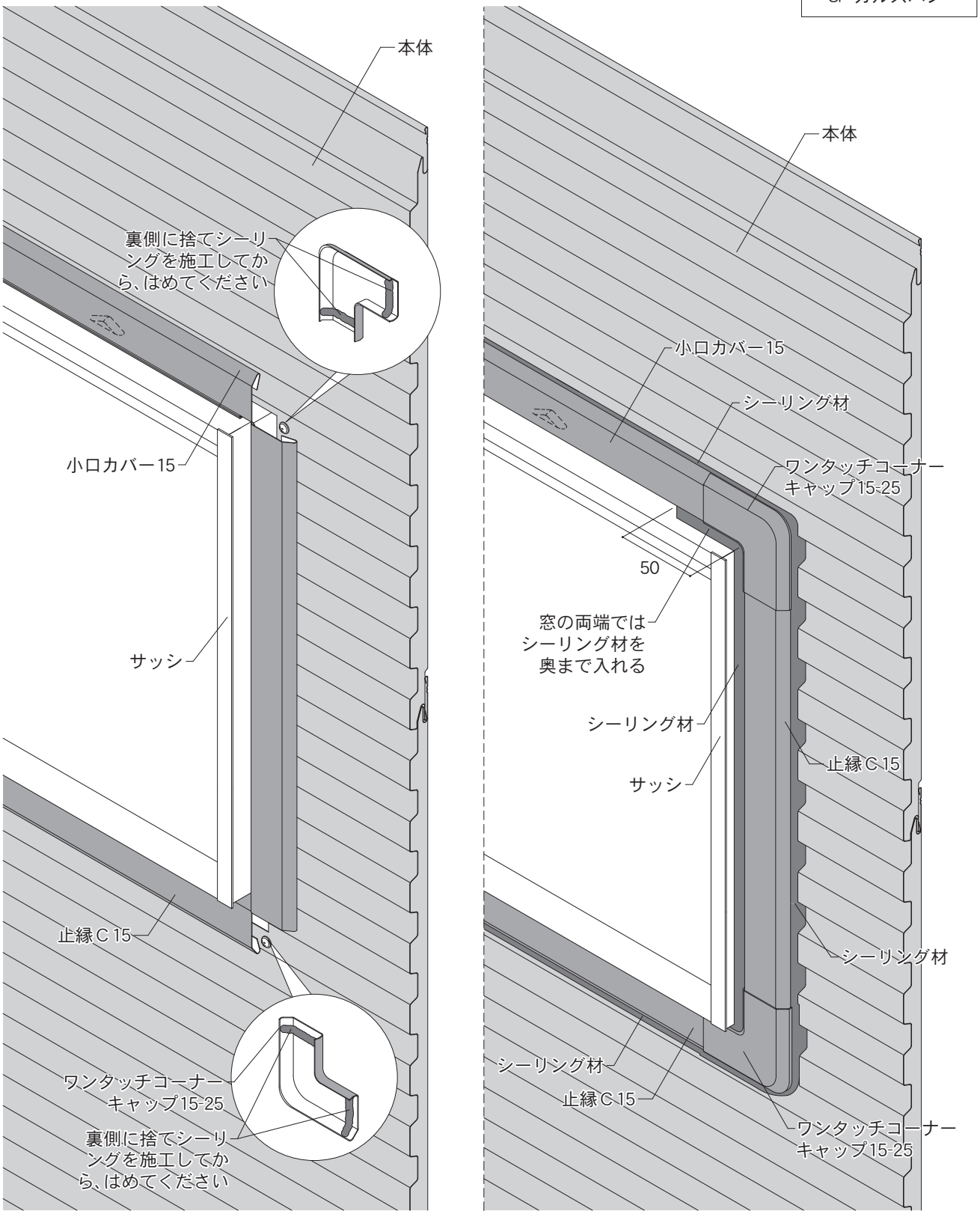
### Ⅰ. 開口部（1）

隅角部にワンタッチコーナーキャップ15-25を施工する場合

・開口部上では、小口カバー15の下端とサッシの間に左右両端50㎜程度のシーリング材を奥まで入れてください。
・脳天打ちをしたくぎやねじ頭には、シーリング材の施工またはタッチアップペイントで塗装してください。

使用部材：小口カバー15・止縁C15・捨板（15×85）

・本頁説明商品
SP-ガルスパン



## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

単位：㎜

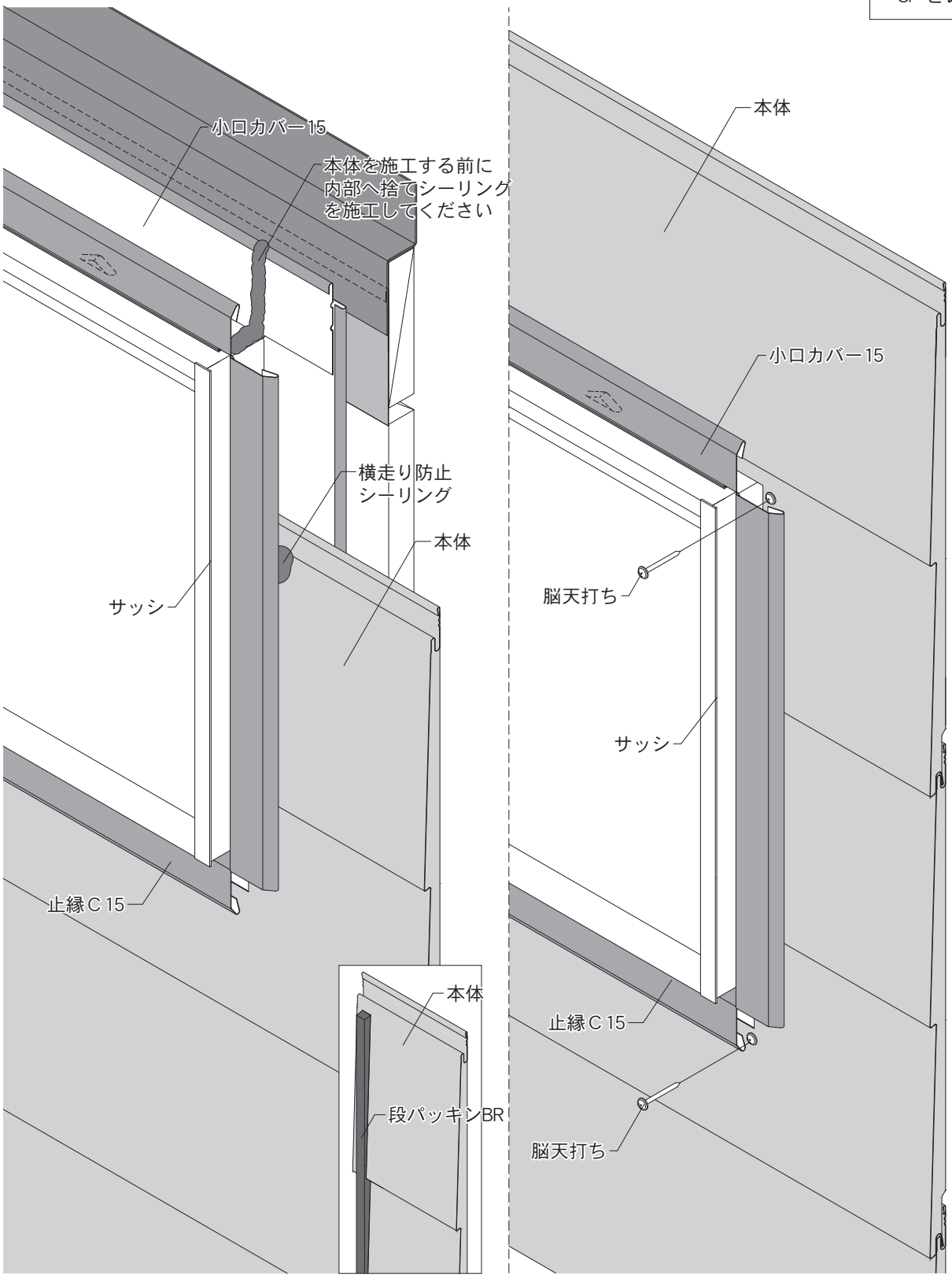
### Ⅰ. 開口部（1）

隅角部にワンタッチコーナーキャップ15-25を施工する場合

・開口部左右に施工する本体1枚ごとに、横走り防止シーリングを施工してください。
・開口部左右に施工する本体には、段パッキンBRを貼り付けてください。
・ワンタッチコーナーキャップ15-25の隠れる位置に脳天打ちをし、本体を確実に留め付けてください。

使用部材：小口カバー15・止縁C15・捨板（15×85）・段パッキンBR

・本頁説明商品
SP-ビレクト



## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

単位：㎜

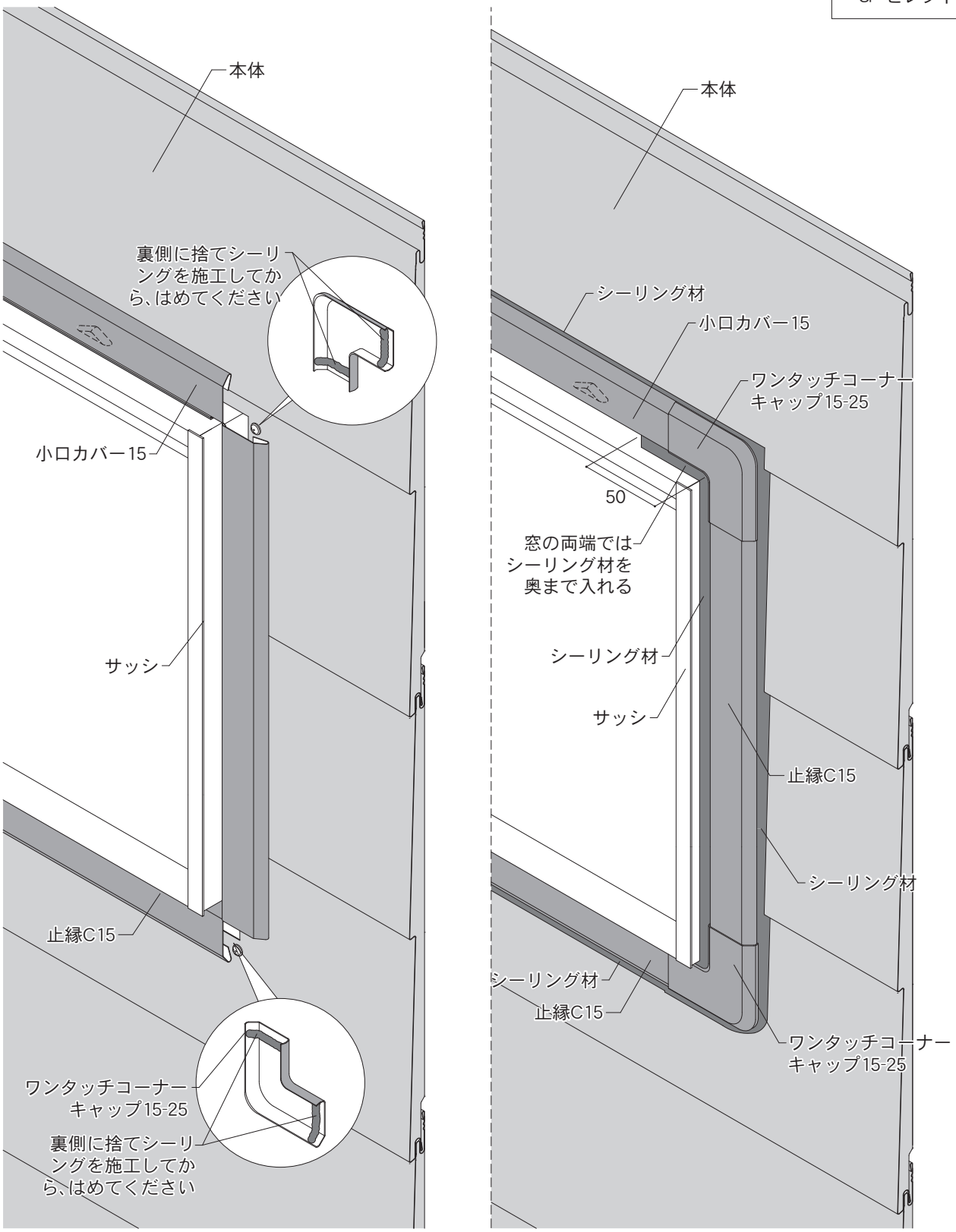
### Ⅰ. 開口部（1）

隅角部にワンタッチコーナーキャップ15-25を施工する場合

・開口部左右に施工する本体1枚ごとに、横走り防止シーリングを施工してください。
・開口部左右に施工する本体には、段パッキンBRを貼り付けてください。
・ワンタッチコーナーキャップ15-25の隠れる位置に脳天打ちをし、本体を確実に留め付けてください。

使用部材：小口カバー15・止縁C15・捨板（15×85）

・本頁説明商品
SP-ビレクト



## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

単位：㎜

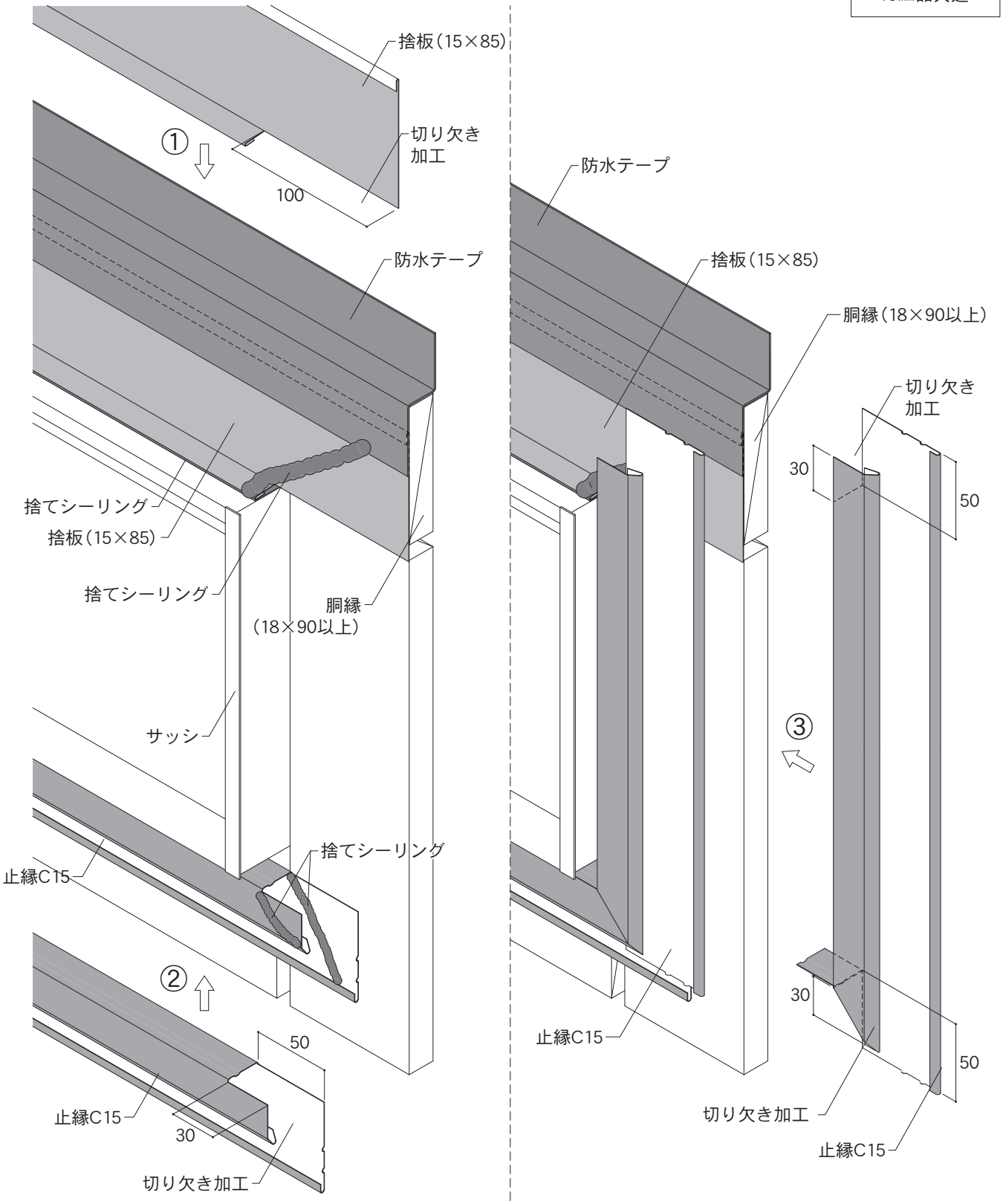
### Ⅰ. 開口部（1）

隅角部を加工する場合

①開口部上に捨板（15×85）を施工して、その上から防水テープを図の位置に施工してください。
②開口部下に止縁C15を取り付けてください。
③開口部左右に止縁C15を取り付けてください。
・部材同士が重なる箇所には、捨てシーリングを施工してください。

使用部材：小口カバー15・止縁C15・捨板（15×85）

・本頁説明商品
15㎜品共通



## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

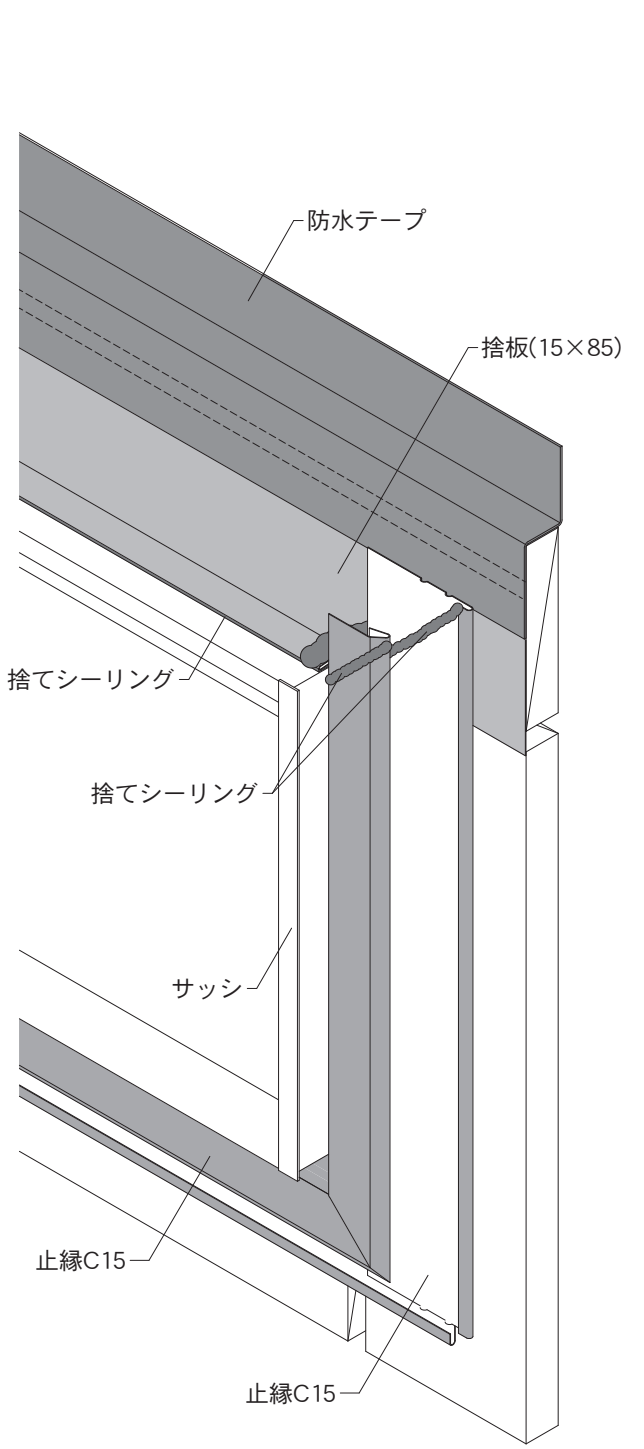
単位：㎜

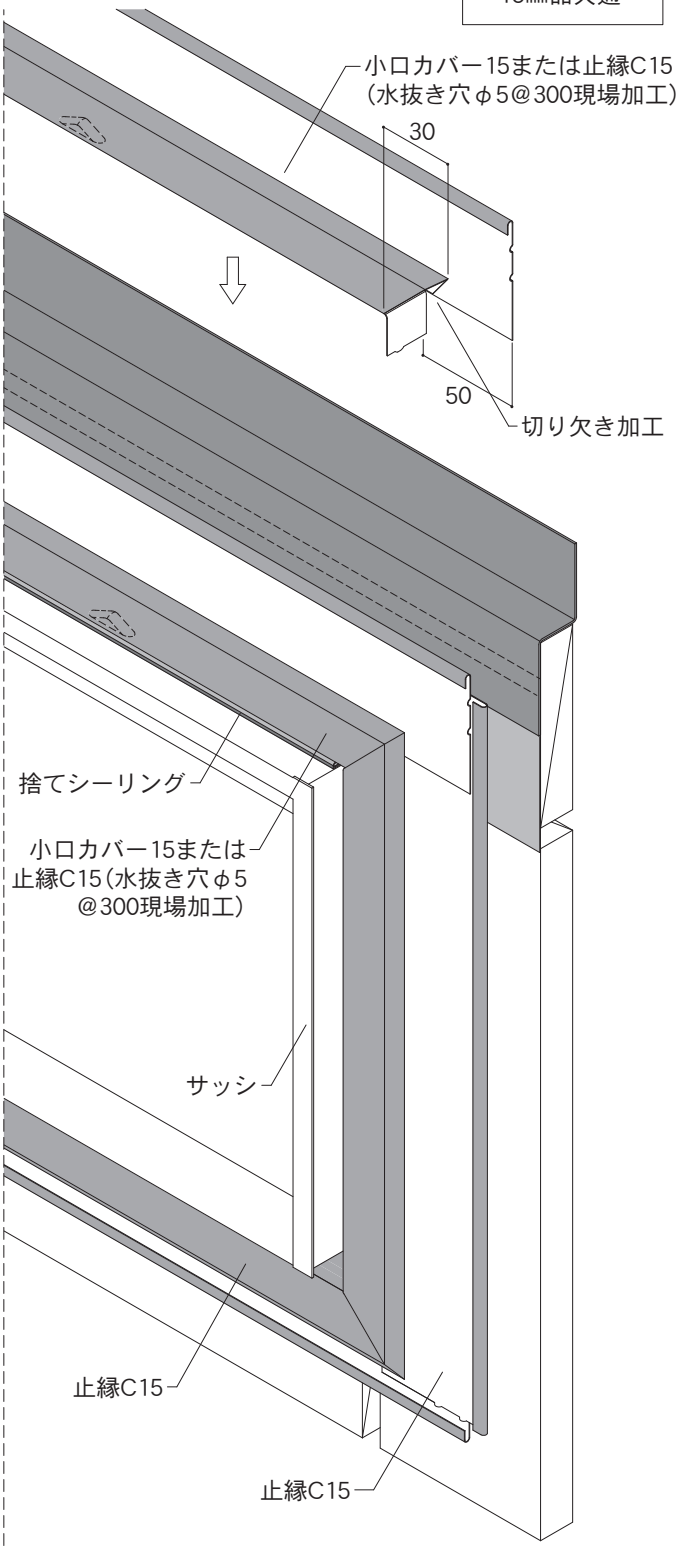
### Ⅰ. 開口部（1）　隅角部を加工する場合

・開口部上には、小口カバー15または止縁C15（水抜き穴φ5@300現場加工）の下端とサッシの間は雨水が滞留しないよう10㎜程度のすき間をあけて取り付けてください。小口カバー15（止縁C15）の左右両端の内部には、捨てシーリングを施工してください。

使用部材：小口カバー15・止縁C15・捨板（15×85）

・本頁説明商品
15㎜品共通



## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

単位：㎜

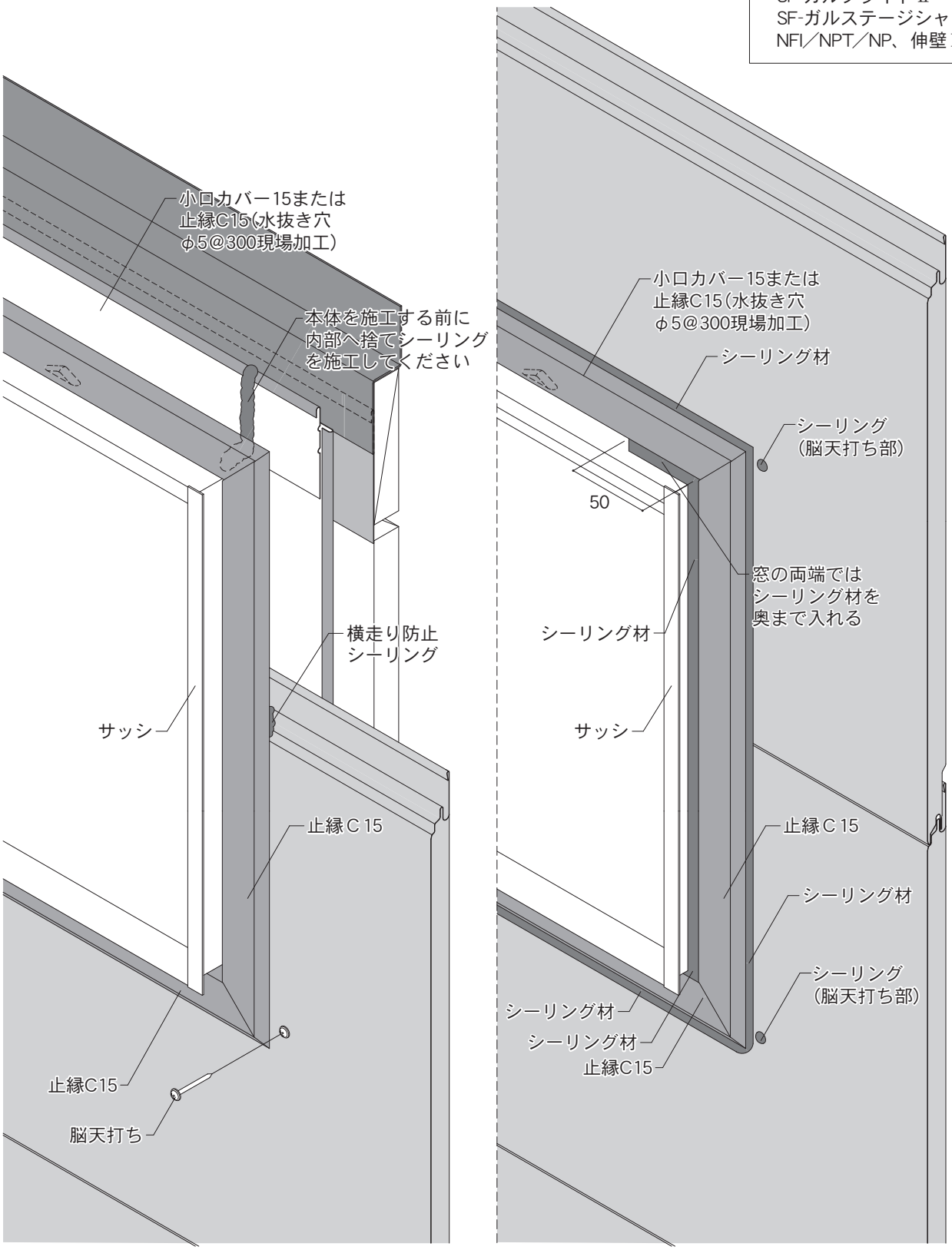
### Ⅰ. 開口部（1）

隅角部を加工する場合

・開口部左右に施工する本体1枚ごとに、横走り防止シーリングを施工してください。
・開口部上では、小口カバー15または止縁C15の下端とサッシの間の左右両端50㎜程度にシーリング材を奥まで入れてください。
・脳天打ちをしたくぎやねじ頭には、シーリング材の施工またはタッチアップペイントで塗装してください。

使用部材：小口カバー15・止縁C15・捨板（15×85）

・本頁説明商品
SP-ガルブライトⅡ
SF-ガルステージシャイン
NFI／NPT／NP、伸壁Ⅱ



## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

単位：㎜

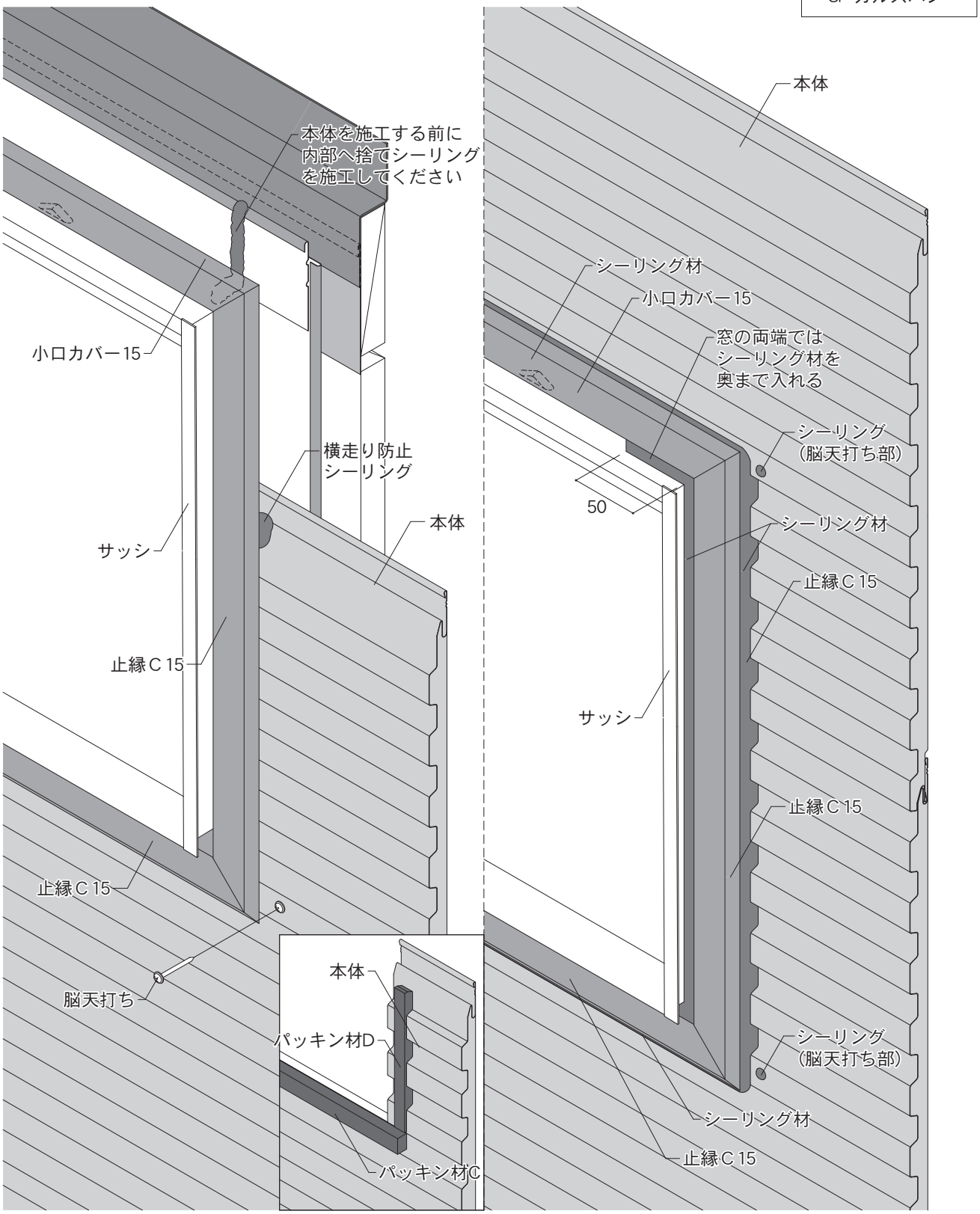
### Ⅰ. 開口部（1）

隅角部を加工する場合

・開口部左右に施工する本体1枚ごとに、横走り防止シーリングを施工してください。
・開口部上では、小口カバー15の下端とサッシの間の左右両端50㎜程度にシーリング材を奥まで入れてください。
・脳天打ちをしたくぎやねじ頭には、シーリング材の施工またはタッチアップペイントで塗装してください。

使用部材：小口カバー15・止縁C15・捨板（15×85）・パッキン材D・パッキン材C

・本頁説明商品
SP-ガルスパン



## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

単位：㎜

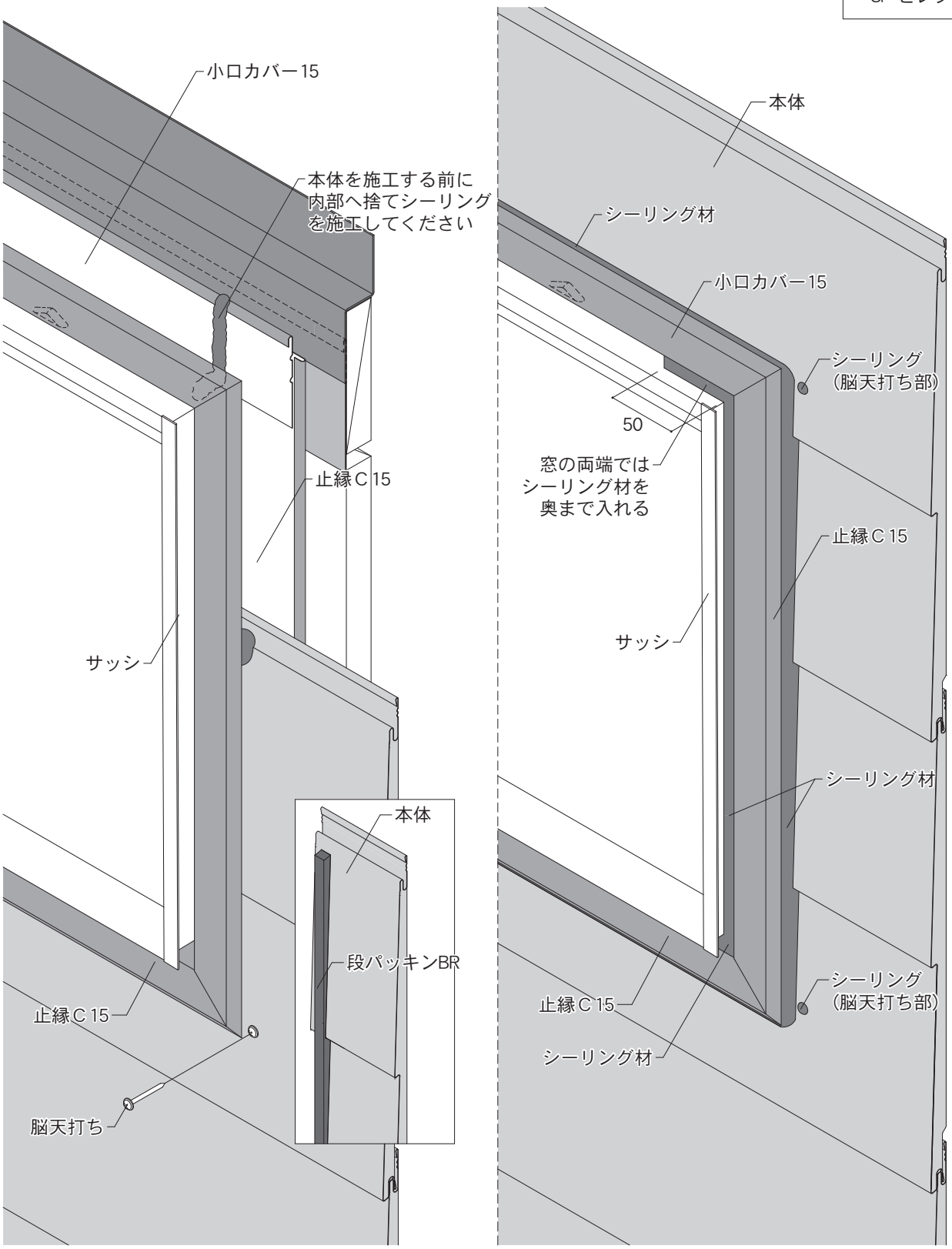
### Ⅰ. 開口部（1）

隅角部を加工する場合

・開口部左右に施工する本体1枚ごとに、横走り防止シーリングを施工してください。
・開口部上では、小口カバー15の下端とサッシの間の左右両端50㎜程度にシーリング材を奥まで入れてください。
・脳天打ちをしたくぎやねじ頭には、シーリング材の施工またはタッチアップペイントで塗装してください。

使用部材：小口カバー15・止縁C15・捨板（15×85）・パッキン材BR

・本頁説明商品
SP-ビレクト



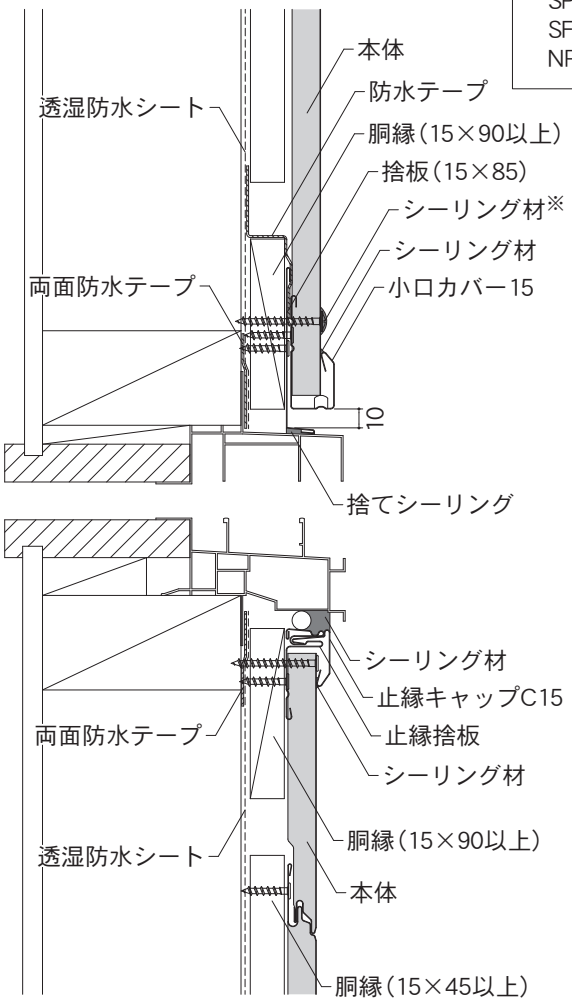
## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

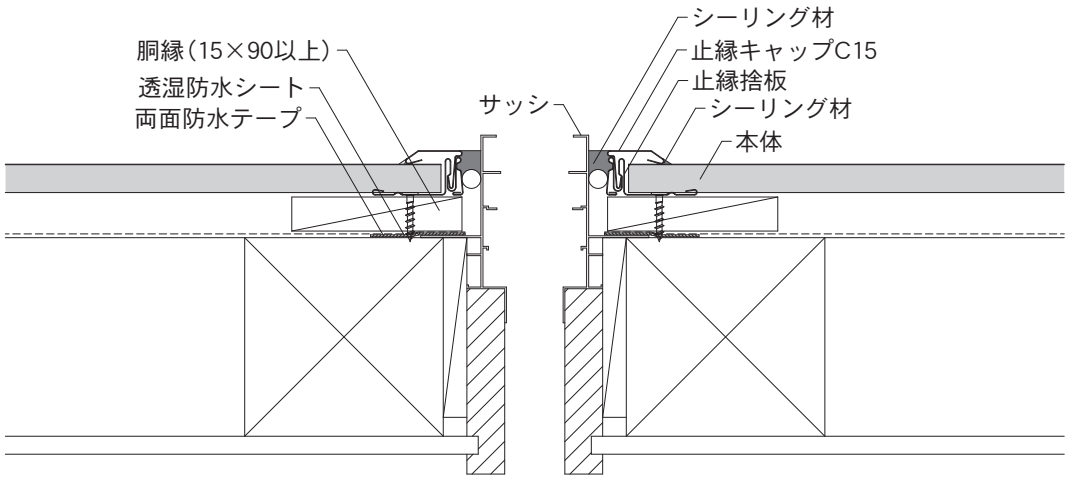
### Ⅰ. 開口部（2）

・本体の端部は必ず留め具（スクリューくぎまたは木ねじ）で、直接下地に留め付けてください。
・止縁C15をサッシ上部に取り付ける際は、あらかじめ水抜き穴をあけてから取り付けてください。小口カバー15は、水抜き穴があいています。
※脳天打ちをしたくぎやねじ頭には、シーリング材の施工またはタッチアップペイントで塗装してください。

使用部材：小口カバー15・捨板（15×85）・止縁キャップC15・止縁捨板

・本頁説明商品
SP-ガルブライトⅡ
SF-ガルステージシャイン
NPT／NP



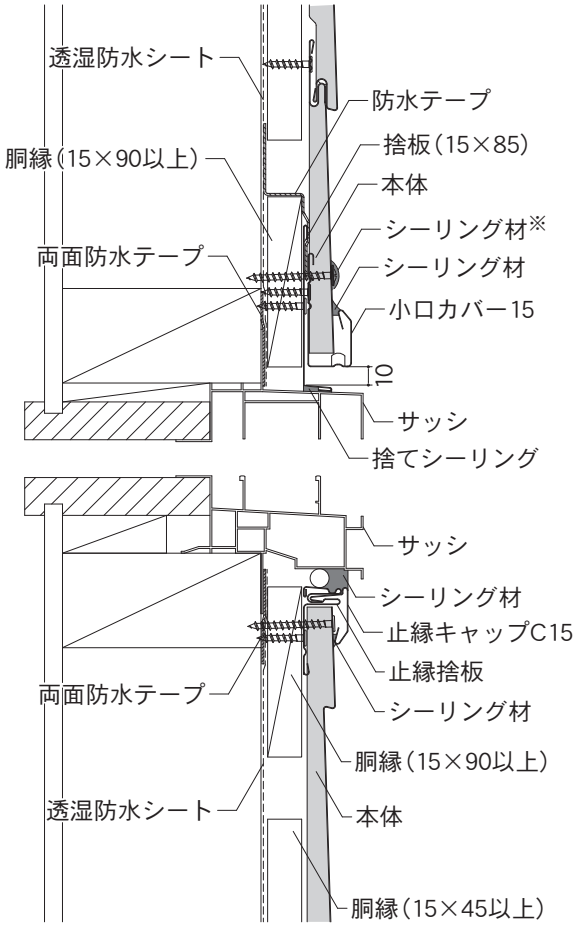
## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

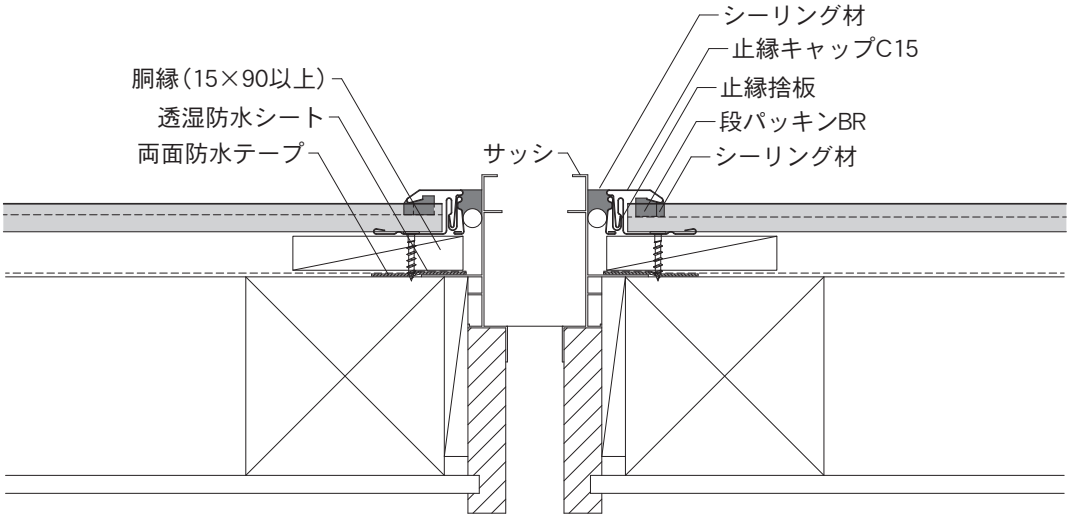
### Ⅰ. 開口部（2）

・本体の端部は必ず留め具（スクリューくぎまたは木ねじ）で、直接下地に留め付けてください。
※脳天打ちをしたくぎやねじ頭には、シーリング材の施工またはタッチアップペイントで塗装してください。

使用部材：小口カバー15・捨板（15×85）・止縁キャップC15・止縁捨板・段パッキンBR

・本頁説明商品
SP-ビレクト



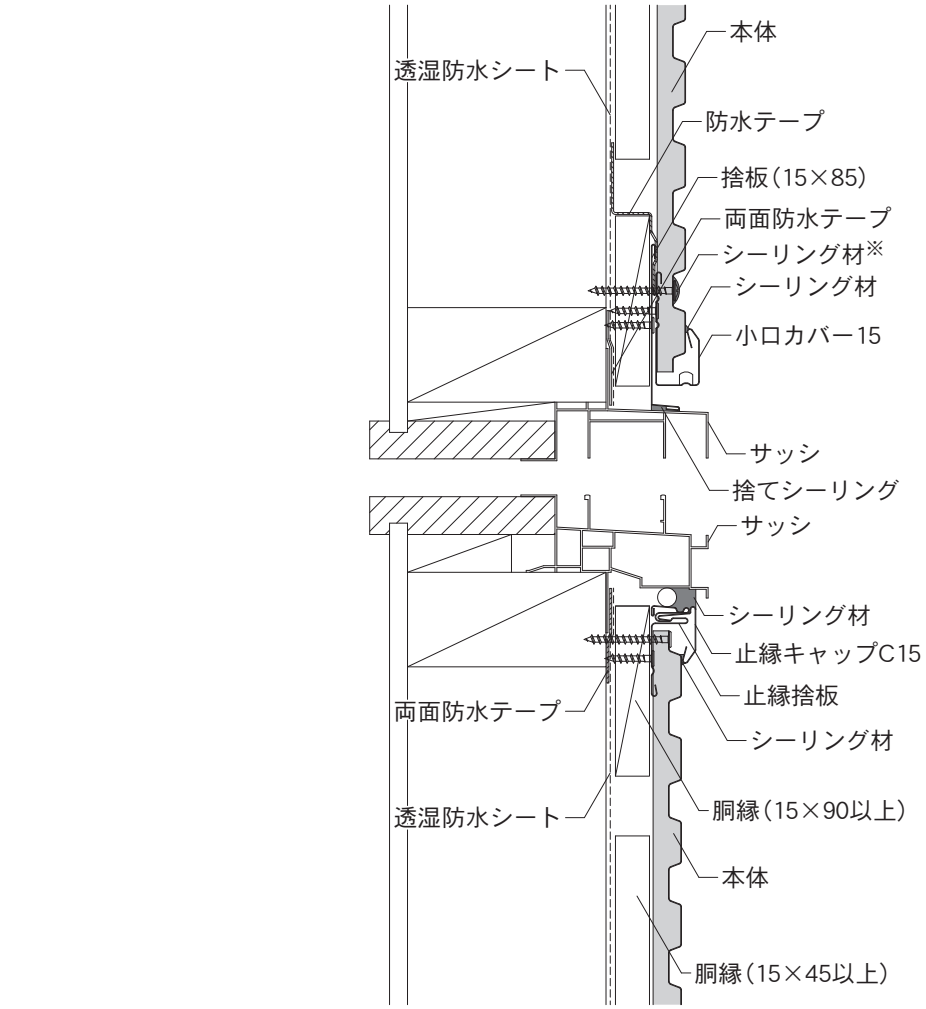
## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

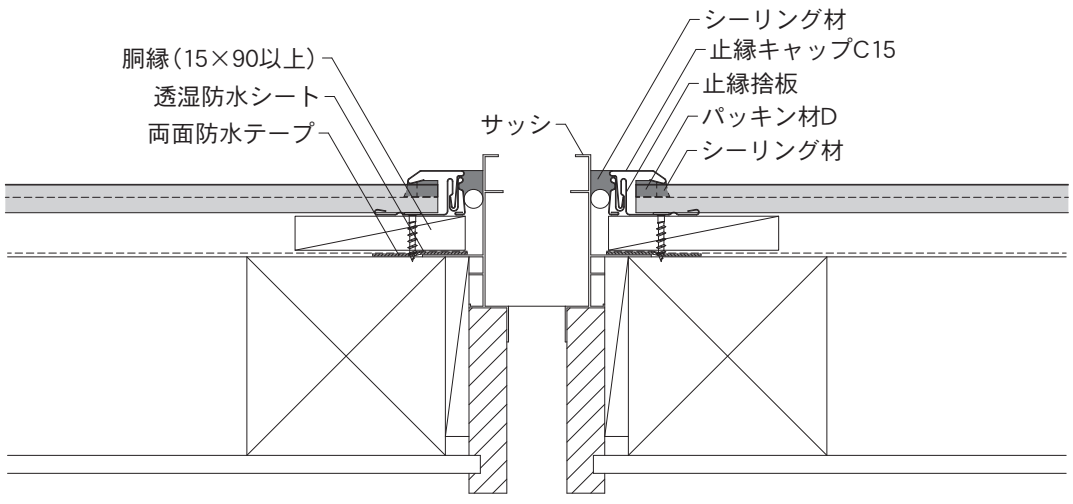
### Ⅰ. 開口部（2）

・本体の端部は必ず留め具（スクリューくぎまたは木ねじ）で、直接下地に留め付けてください。
※脳天打ちをしたくぎやねじ頭には、シーリング材の施工またはタッチアップペイントで塗装してください。

使用部材：小口カバー15・捨板（15×85）・止縁キャップC15・止縁捨板・パッキン材D

・本頁説明商品
SP-ガルスパン



## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

単位：㎜

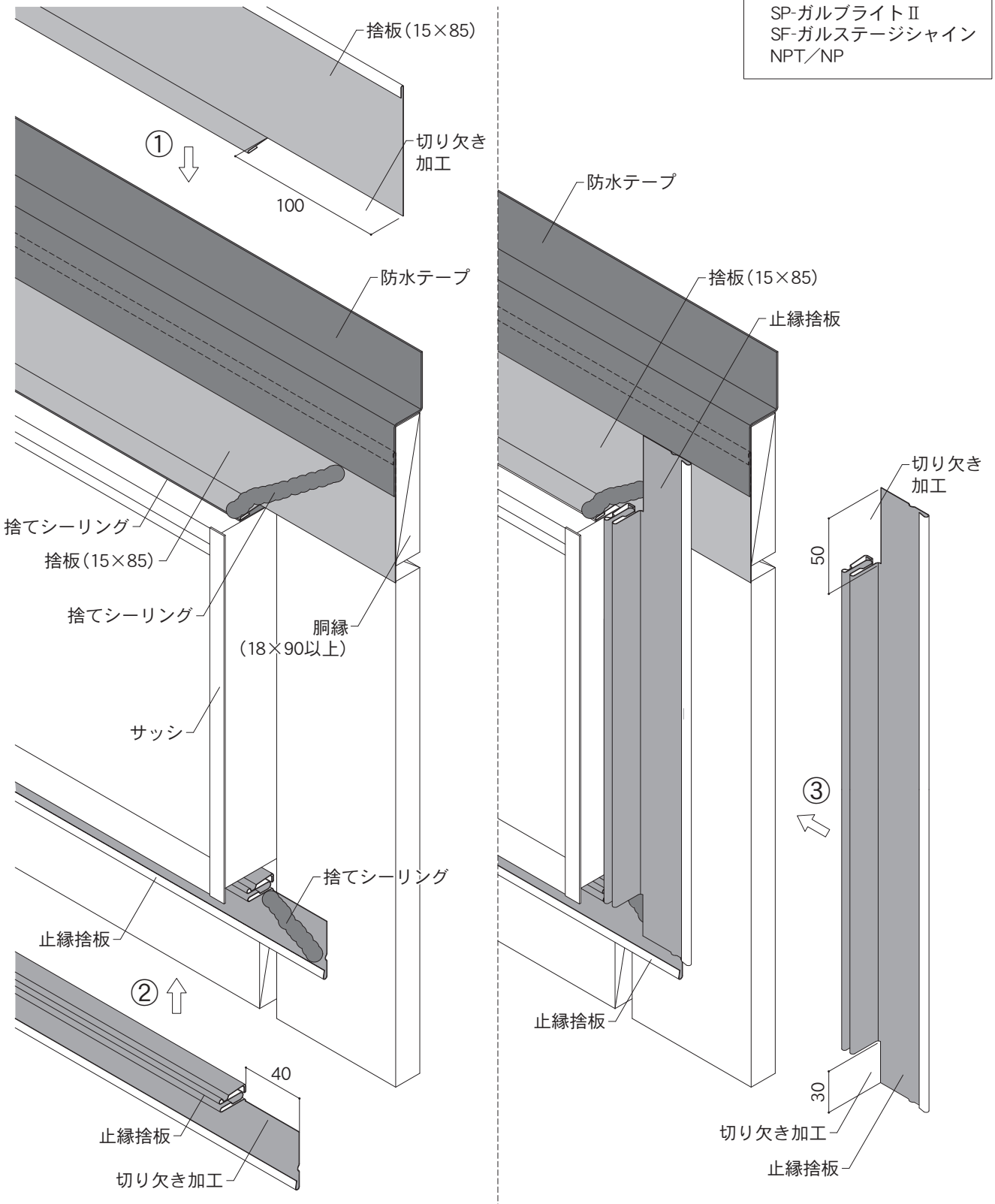
### Ⅰ. 開口部（2）

隅角部にワンタッチコーナーキャップ15-25を施工する場合

①捨板（15×85）とサッシの間には、捨てシーリングを施工してから取り付けてください。捨板（15×85）の上から防水テープを図の位置に施工してください。
②開口部下に止縁捨板を取り付けてください。
③開口部左右に止縁捨板を取り付けてください。
・部材同士が重なる箇所には捨てシーリングを施工してください。

使用部材：小口カバー15または止縁C15・止縁キャップC15・止縁捨板・捨板（15×85）

・本頁説明商品
SP-ガルブライトⅡ
SF-ガルステージシャイン
NPT／NP



## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

単位：㎜

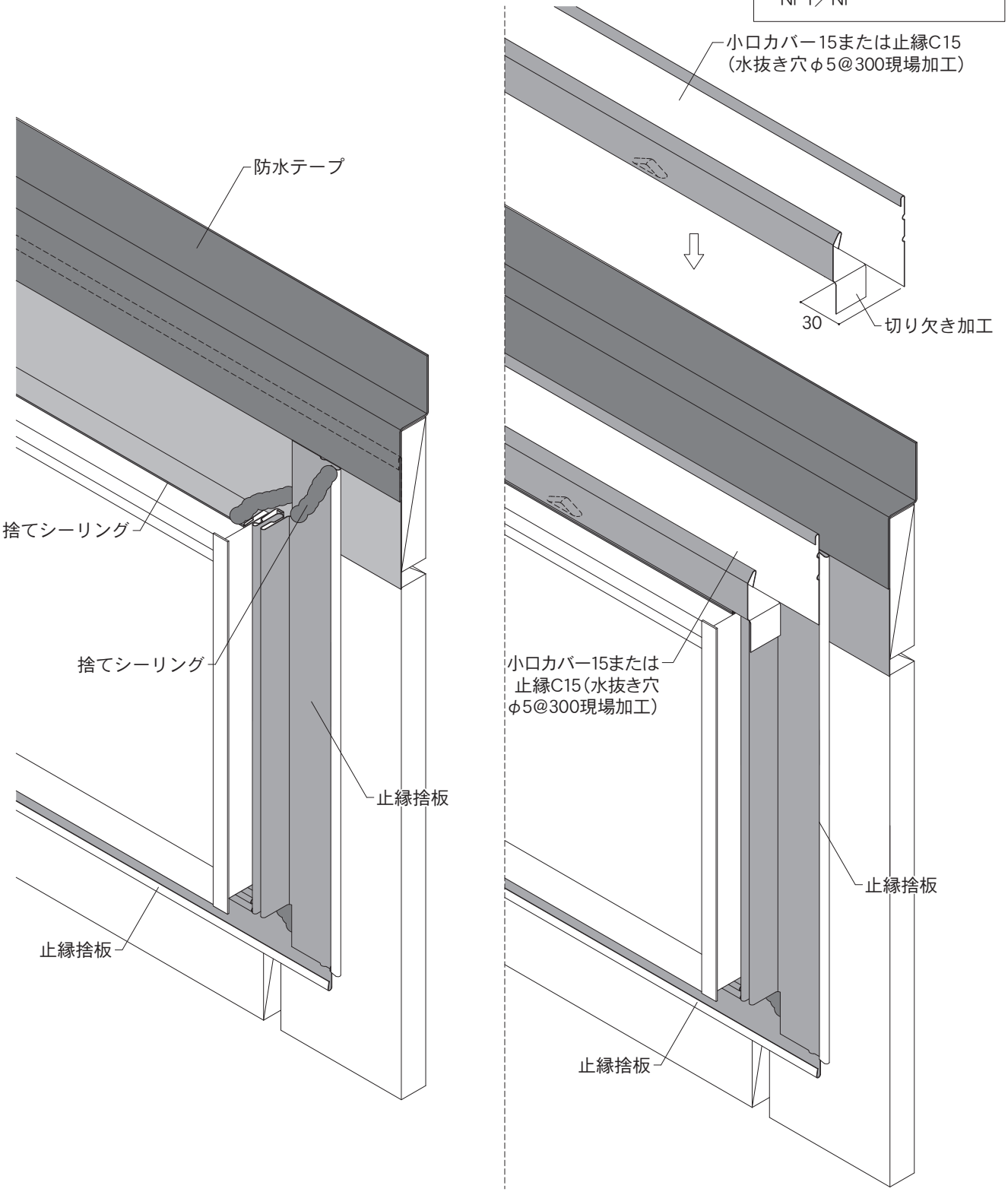
### Ⅰ. 開口部（2）

隅角部にワンタッチコーナーキャップ15-25を施工する場合

・開口部上には、小口カバー15または止縁C15（水抜き穴φ5@300現場加工）の下端とサッシの間は雨水が滞留しないよう10㎜程度のすき間をあけて取り付けてください。
・部材同士が重なる箇所には捨てシーリングを施工してください。

使用部材：小口カバー15または止縁C15・止縁キャップC15・止縁捨板・捨板（15×85）

・本頁説明商品
SP-ガルブライトⅡ
SF-ガルステージシャイン
NPT／NP



## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

単位：㎜

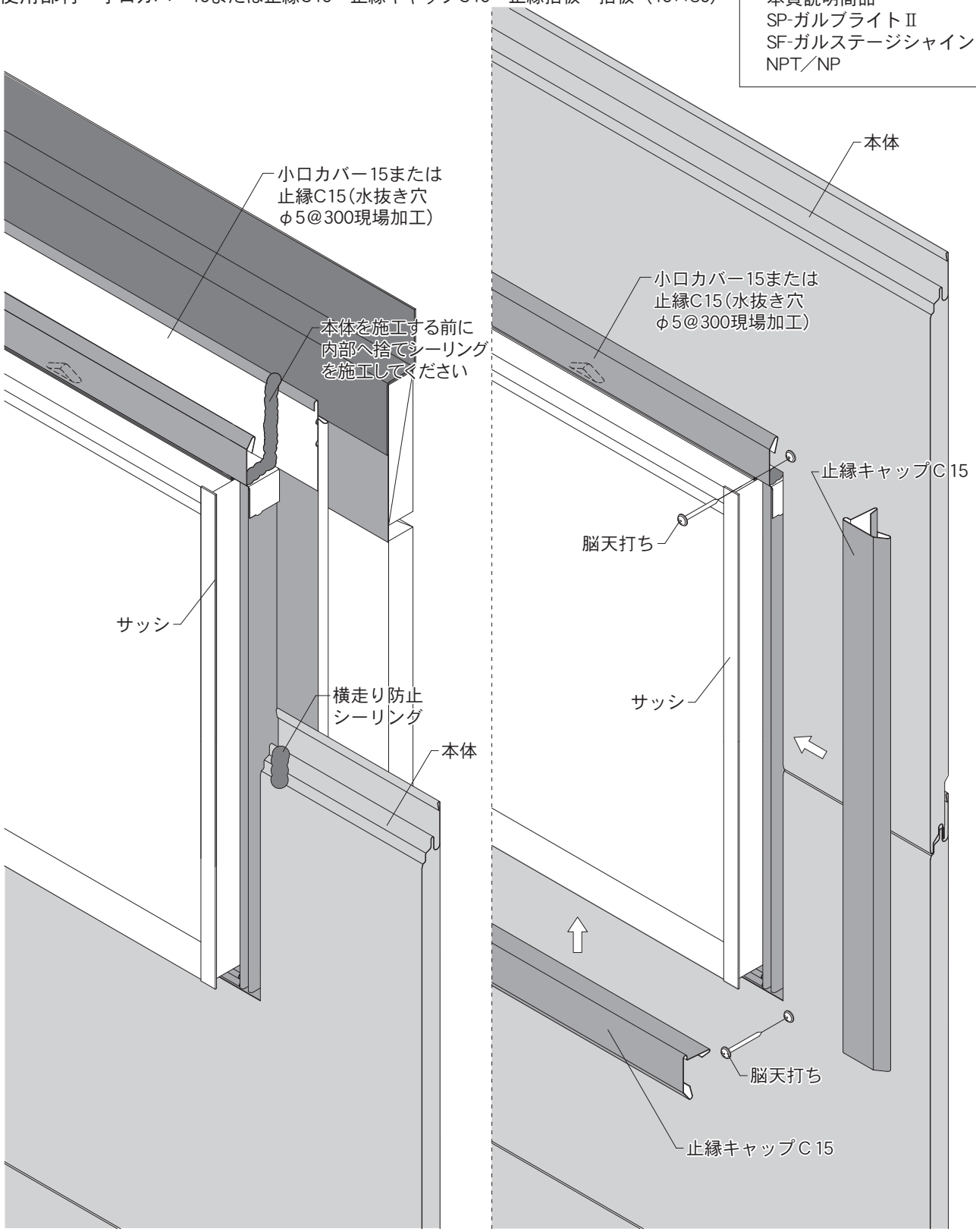
### Ⅰ. 開口部（2）

隅角部にワンタッチコーナーキャップ15-25を施工する場合

・開口部左右に施工する本体1枚ごとに、横走り防止シーリングを施工してください。
・ワンタッチコーナーキャップ15-25の隠れる位置に脳天打ちをし、本体を確実に留め付けてください。
・開口部左右および開口部下に、止縁キャップC15を施工してください。

使用部材：小口カバー15または止縁C15・止縁キャップC15・止縁捨板・捨板（15×85）

・本頁説明商品
SP-ガルブライトⅡ
SF-ガルステージシャイン
NPT／NP



## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

単位：㎜

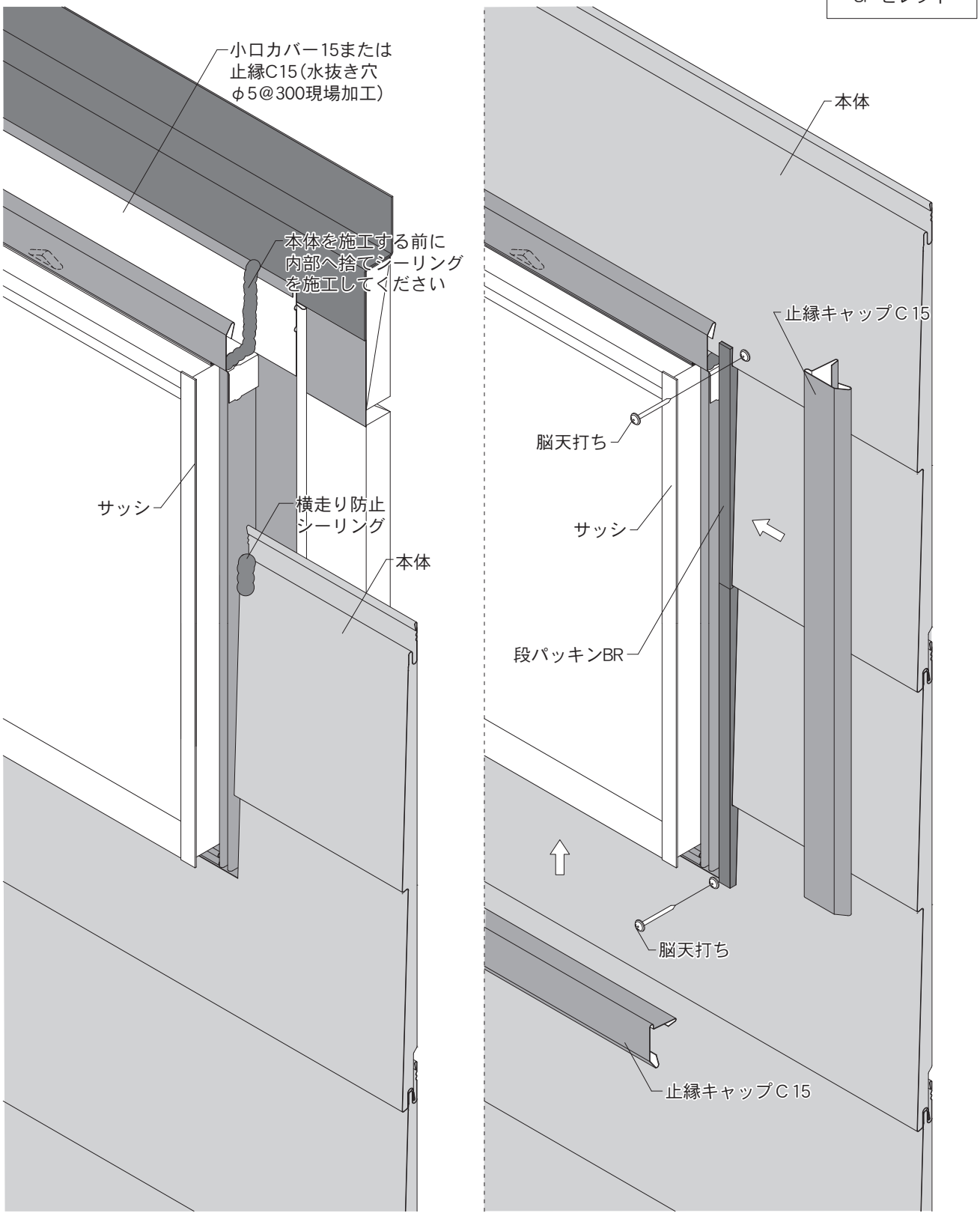
### Ⅰ. 開口部（2）

隅角部にワンタッチコーナーキャップ15-25を施工する場合

・開口部左右に施工する本体1枚ごとに、横走り防止シーリングを施工してください。
・ワンタッチコーナーキャップ15-25の隠れる位置に脳天打ちをし、本体を確実に留め付けてください。
・開口部左右および開口部下に、止縁キャップC15を施工してください。

使用部材：小口カバー15・止縁キャップC15・止縁捨板・捨板（15×85）・段パッキンBR

・本頁説明商品
SP-ビレクト



## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

単位：㎜

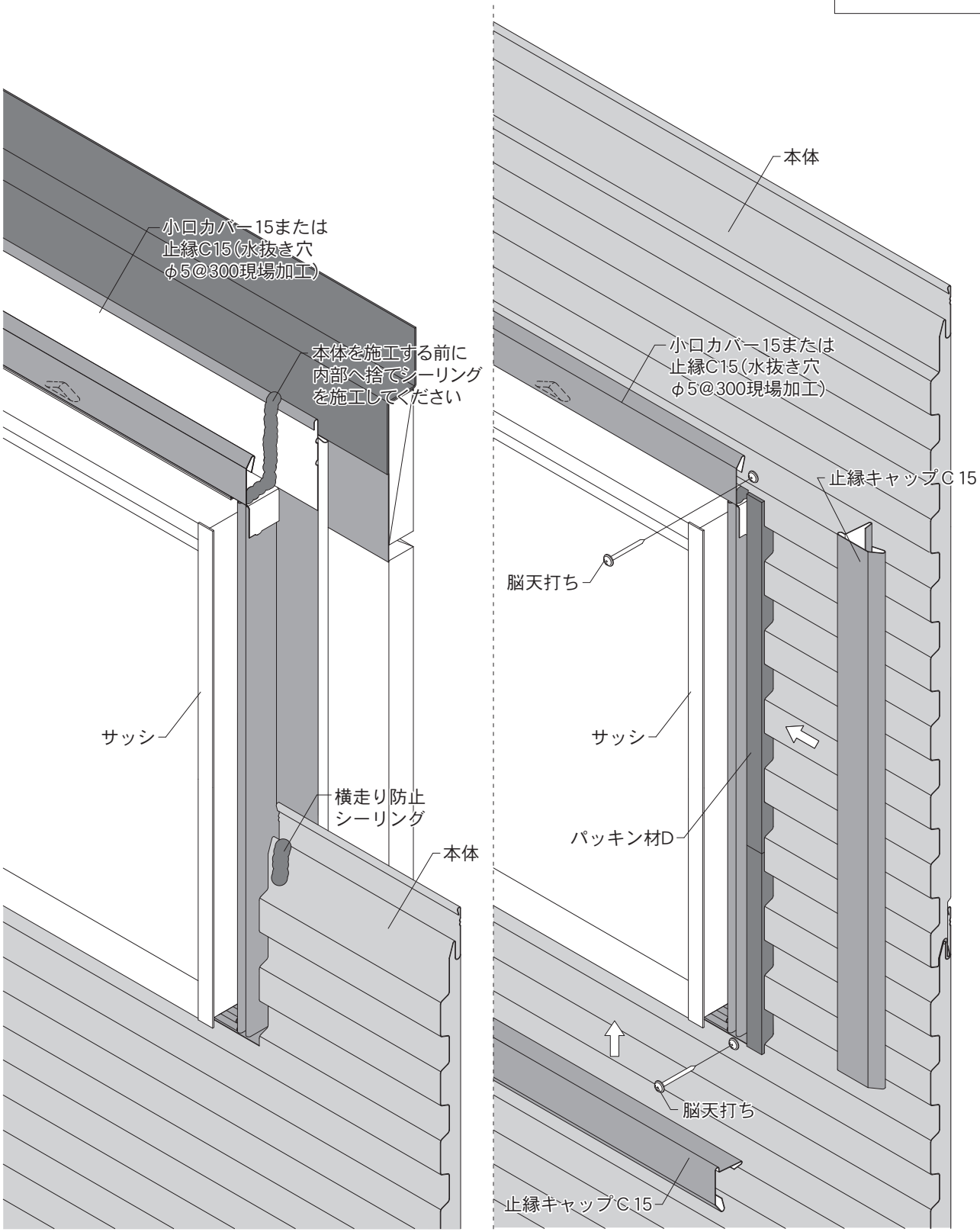
### Ⅰ. 開口部（2）

隅角部にワンタッチコーナーキャップ15-25を施工する場合

・開口部左右に施工する本体1枚ごとに、横走り防止シーリングを施工してください。
・ワンタッチコーナーキャップ15-25の隠れる位置に脳天打ちをし、本体を確実に留め付けてください。
・開口部左右および開口部下に、止縁キャップC15を施工してください。凹部と重なる場合には、パッキン材Cを施工してください。

使用部材：小口カバー15・止縁キャップC15・止縁捨板・捨板（15×85）・パッキン材D・パッキン材C

・本頁説明商品
SP-ガルスパン



## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

単位：㎜

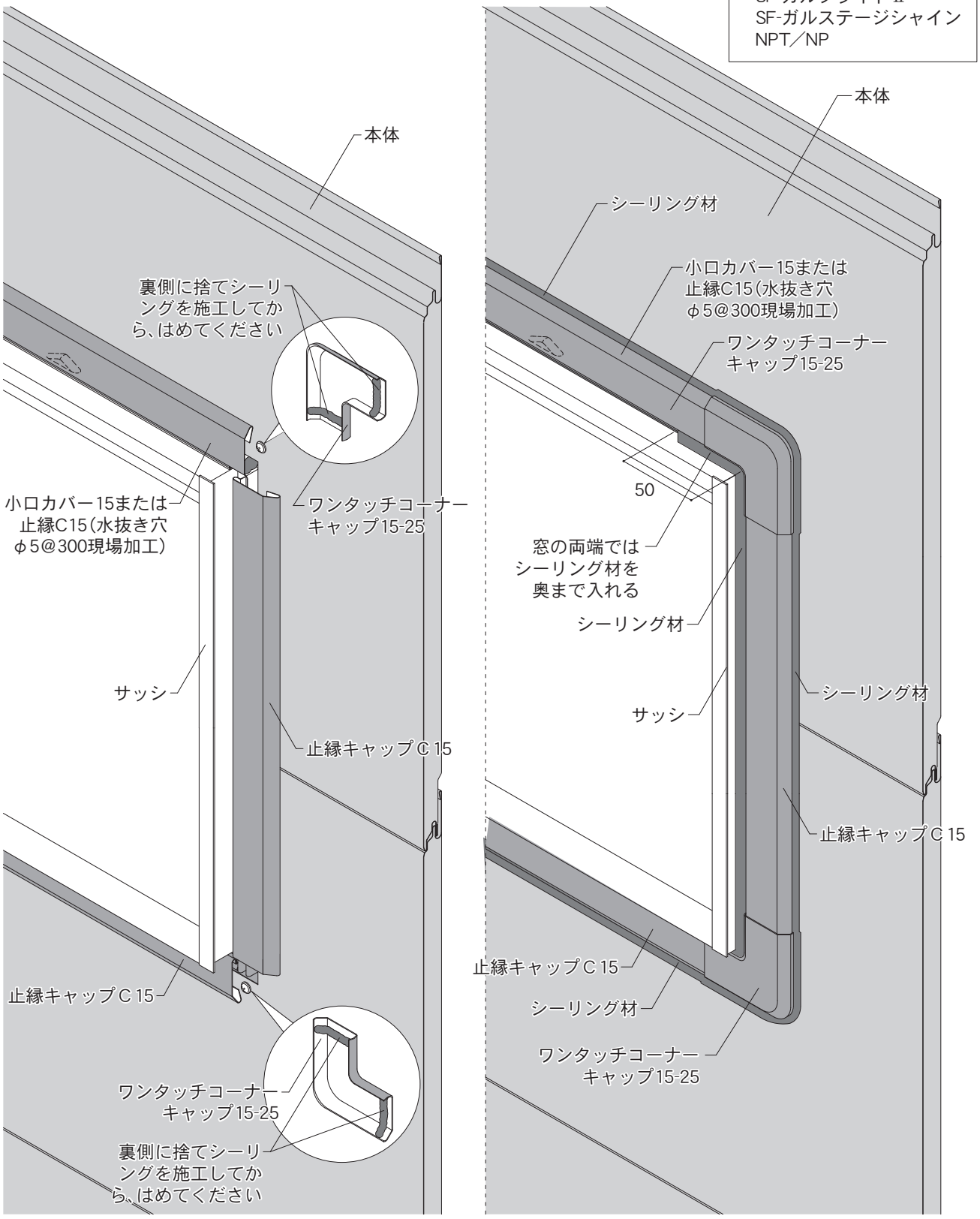
### Ⅰ. 開口部（2）

隅角部にワンタッチコーナーキャップ15-25を施工する場合

・開口部上では、小口カバー15または止縁C15の下端とサッシの間に左右両端50㎜程度のシーリング材を奥まで入れてください。
・脳天打ちをしたくぎやねじ頭には、シーリング材の施工またはタッチアップペイントで塗装してください。

使用部材：小口カバー15または止縁C15・止縁キャップC15・止縁捨板・捨板（15×85）

・本頁説明商品
SP-ガルブライトⅡ
SF-ガルステージシャイン
NPT／NP



## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

単位：㎜

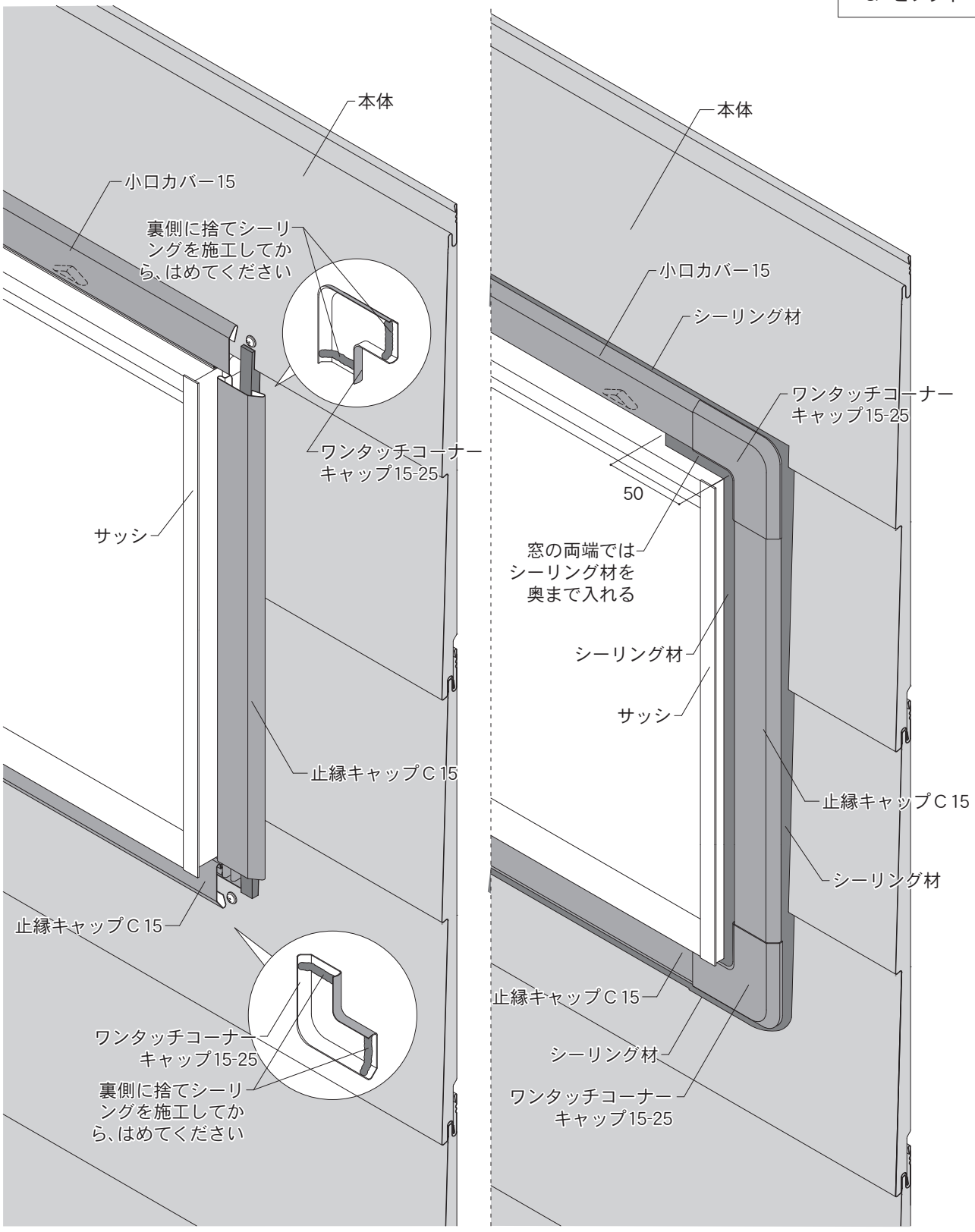
### Ⅰ. 開口部（2）

隅角部にワンタッチコーナーキャップ15-25を施工する場合

・開口部上では、小口カバー15の下端とサッシの間に左右両端50㎜程度のシーリング材を奥まで入れてください。
・脳天打ちをしたくぎやねじ頭には、シーリング材の施工またはタッチアップペイントで塗装してください。

使用部材：小口カバー15・止縁キャップC15・止縁捨板・捨板（15×85）

・本頁説明商品
SP-ビレクト



## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

単位：㎜

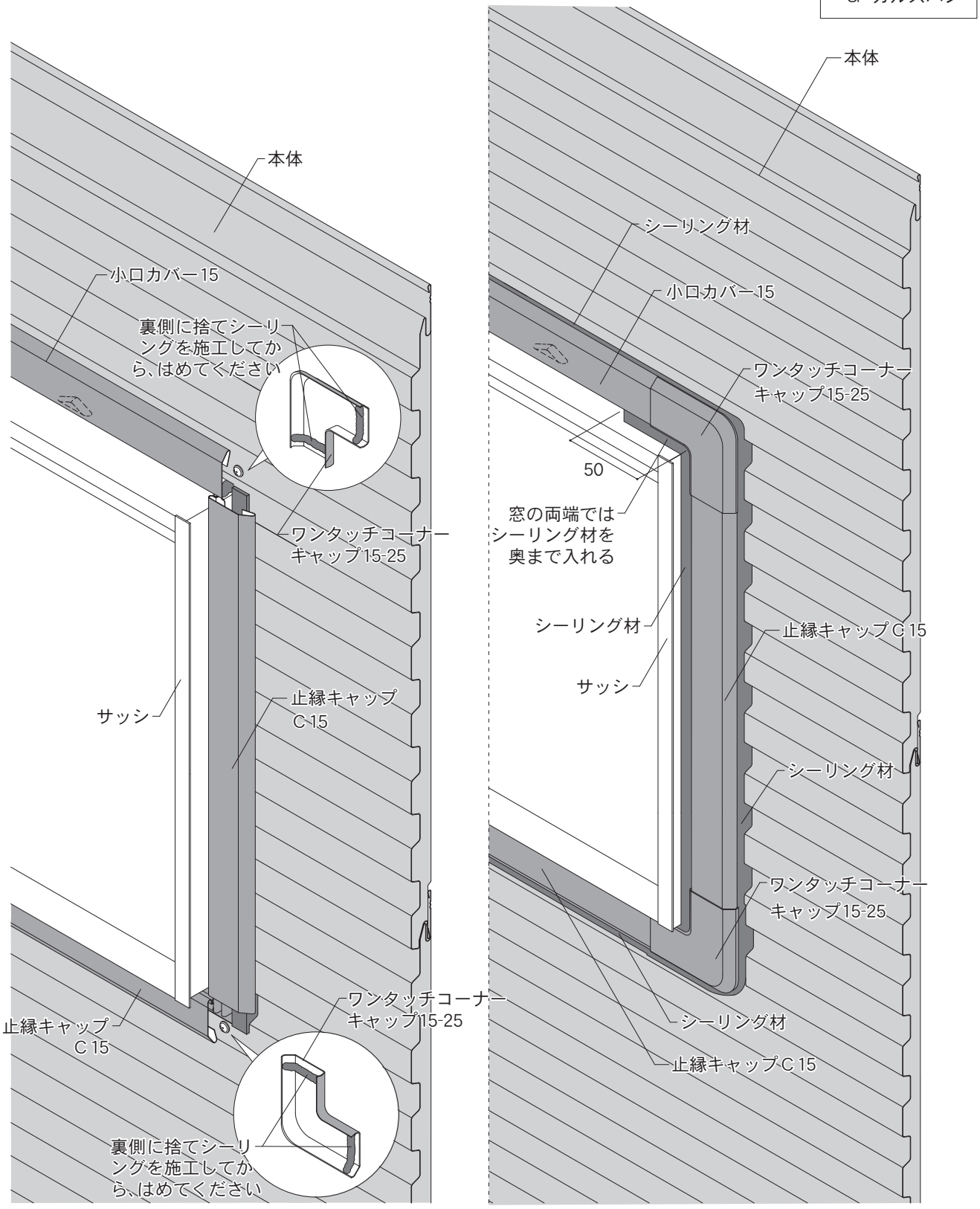
### Ⅰ. 開口部（2）

隅角部にワンタッチコーナーキャップ15-25を施工する場合

・開口部上では、小口カバー15の下端とサッシの間に左右両端50㎜程度のシーリング材を奥まで入れてください。
・脳天打ちをしたくぎやねじ頭には、シーリング材の施工またはタッチアップペイントで塗装してください。

使用部材：小口カバー15・止縁キャップC15・止縁捨板・捨板（15×85）

・本頁説明商品
SP-ガルスパン



## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

単位：㎜

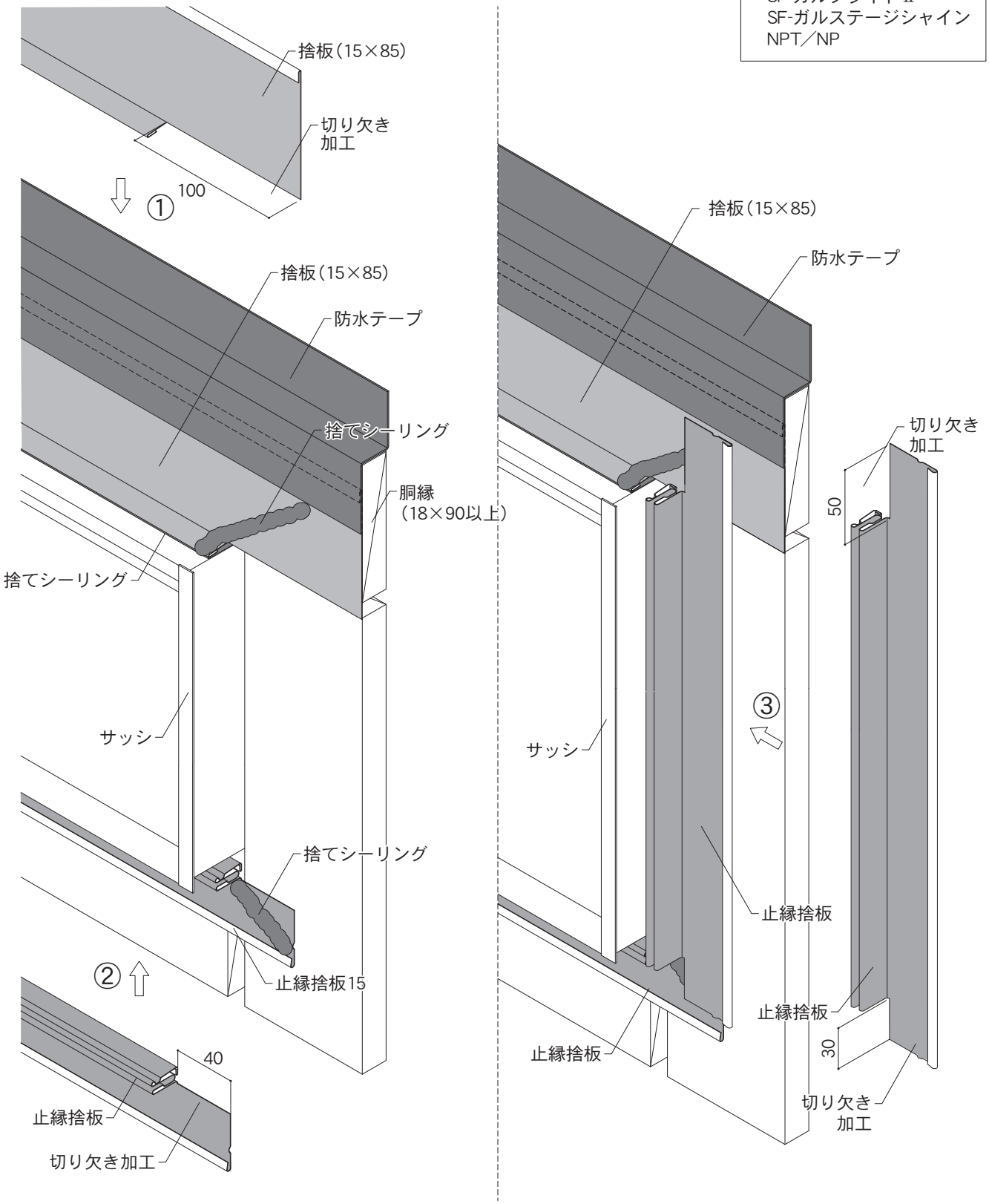
### Ⅰ. 開口部（2）

隅角部を加工する場合

①開口部上に、捨板（15×85）を施工して、その上から防水テープを図の位置に施工してください。
②開口部下に止縁捨板を取り付けてください。
③開口部左右に止縁捨板を取り付けてください。
・部材同士が重なる箇所には、捨てシーリングを施工してください。

使用部材：小口カバー15または止縁C15・止縁キャップC15・止縁捨板・捨板（15×85）

・本頁説明商品
SP-ガルブライトⅡ
SF-ガルステージシャイン
NPT／NP



## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

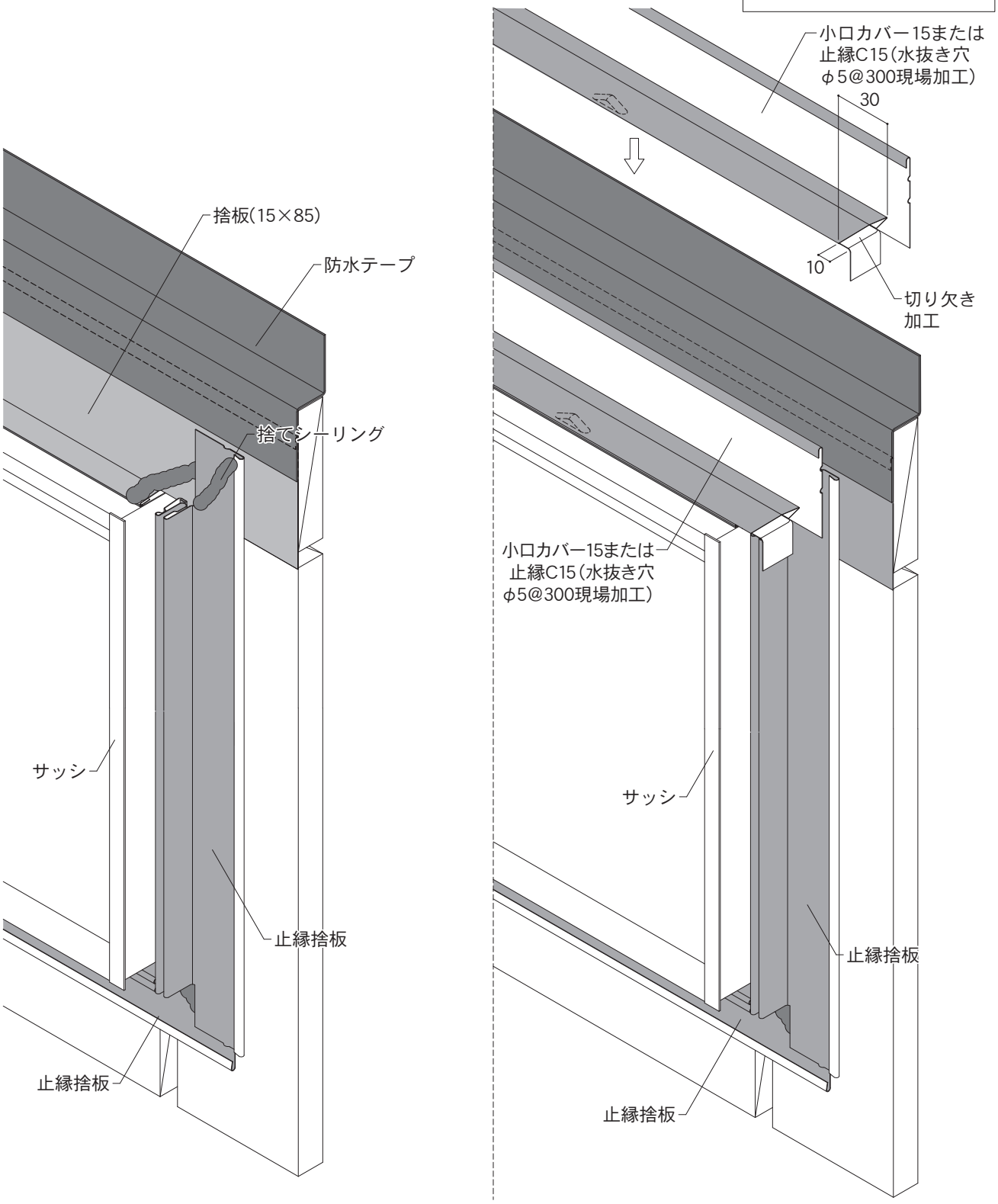
単位：㎜

### Ⅰ. 開口部（2）　隅角部を加工する場合

・開口部上には、小口カバー15または止縁C15（水抜き穴φ5@300現場加工）の下端とサッシの間は雨水が滞留しないよう10㎜程度のすき間をあけて取り付けてください。

使用部材：小口カバー15または止縁C15・止縁キャップC15・止縁捨板・捨板（15×85）

・本頁説明商品
SP-ガルブライトⅡ
SF-ガルステージシャイン
NPT／NP



## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

単位：㎜

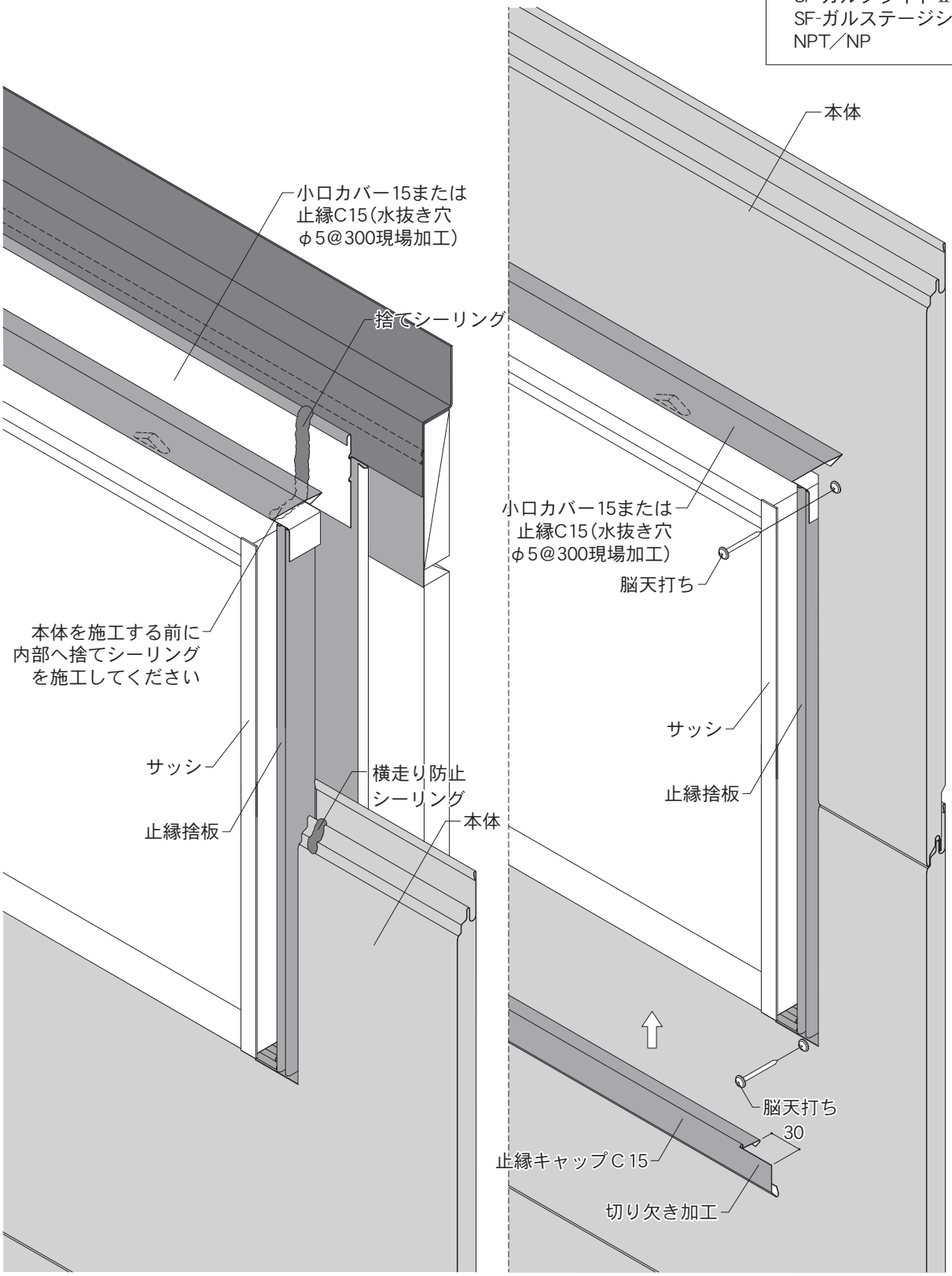
### Ⅰ. 開口部（2）

隅角部を加工する場合

・開口部左右に施工する本体1枚ごとに、横走り防止シーリングを施工してください。
・サッシ下に止縁キャップC15を施工してください。

使用部材：小口カバー15または止縁C15・止縁キャップC15・止縁捨板・捨板（15×85）

・本頁説明商品
SP-ガルブライトⅡ
SF-ガルステージシャイン
NPT／NP



## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

単位：㎜

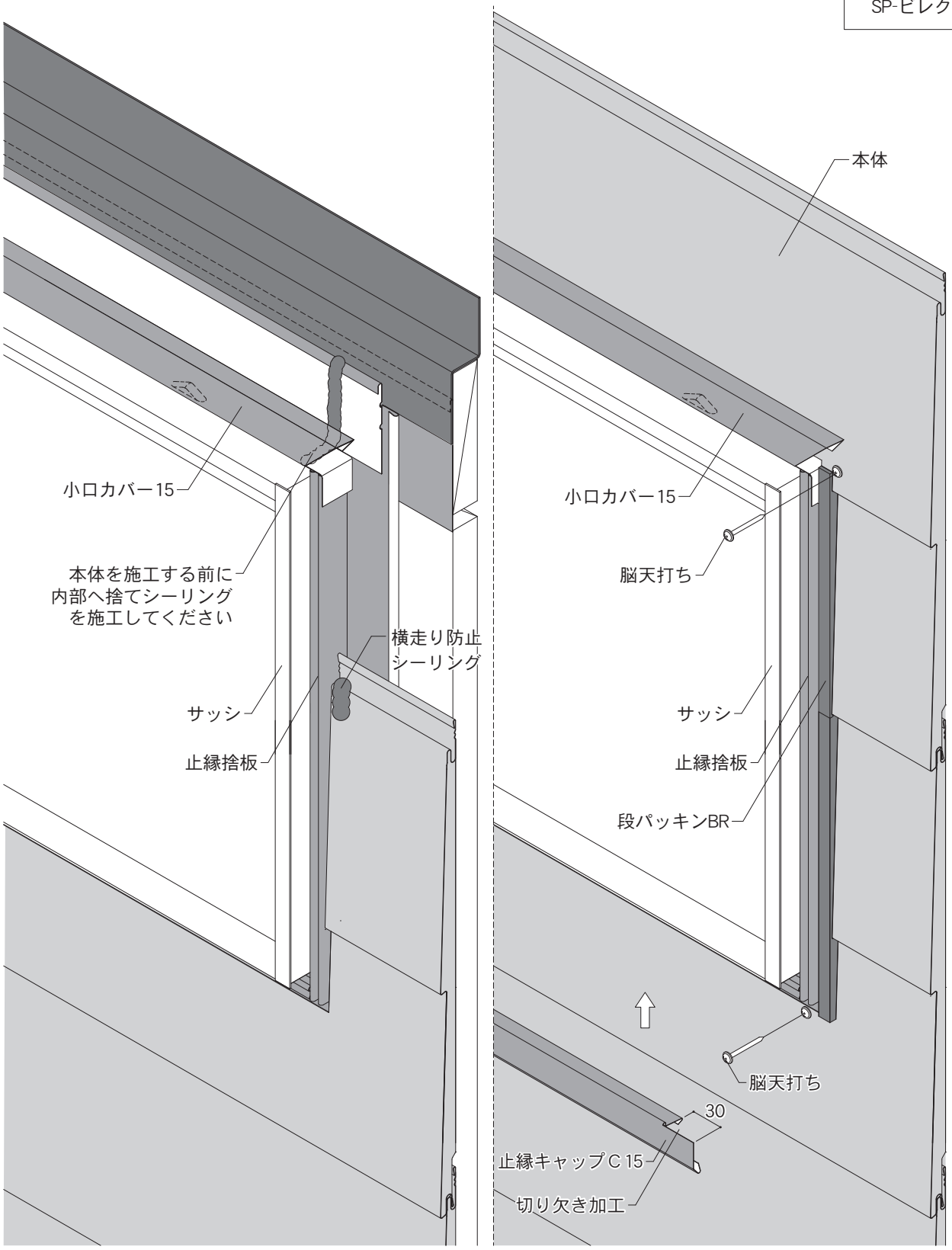
### Ⅰ. 開口部（2）

隅角部を加工する場合

・開口部左右に施工する本体1枚ごとに、横走り防止シーリングを施工してください。
・サッシ下に止縁キャップC15を施工してください。
・開口部左右には、パッキン材BRを施工してください。

使用部材：小口カバー15・止縁キャップC15・止縁捨板・捨板（15×85）・段パッキンBR

・本頁説明商品
SP-ビレクト



## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

単位：㎜

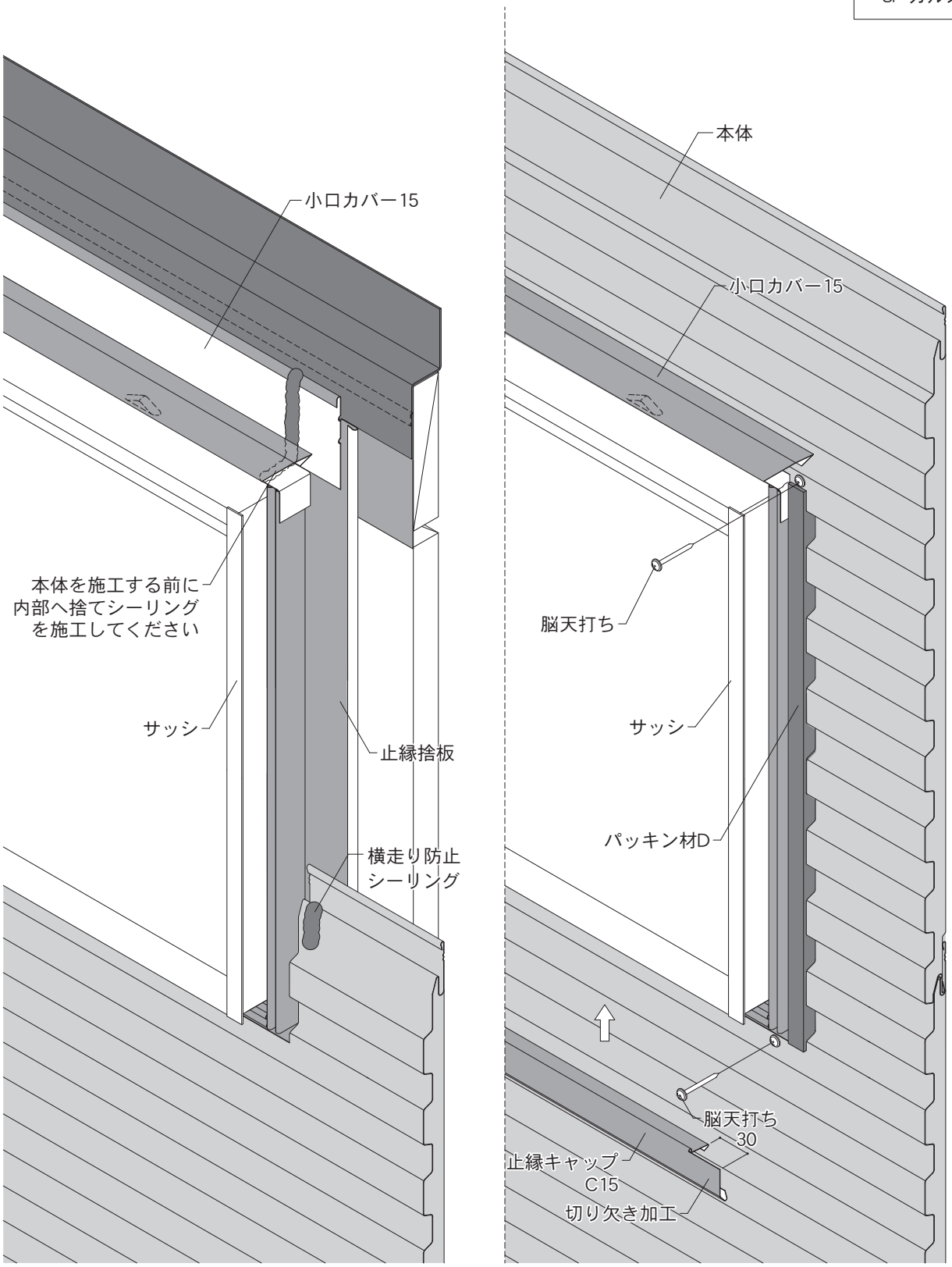
### Ⅰ. 開口部（2）

隅角部を加工する場合

・開口部左右に施工する本体1枚ごとに、横走り防止シーリングを施工してください。
・開口部下には、止縁キャップC15を施工してください。凹部と重なる場合は、パッキン材Cを施工してください。
・開口部左右には、パッキン材Dを施工してください。

使用部材：小口カバー15・止縁キャップC15・止縁捨板・捨板（15×85）・パッキン材D・パッキン材C

・本頁説明商品
SP-ガルスパン



## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

単位：㎜

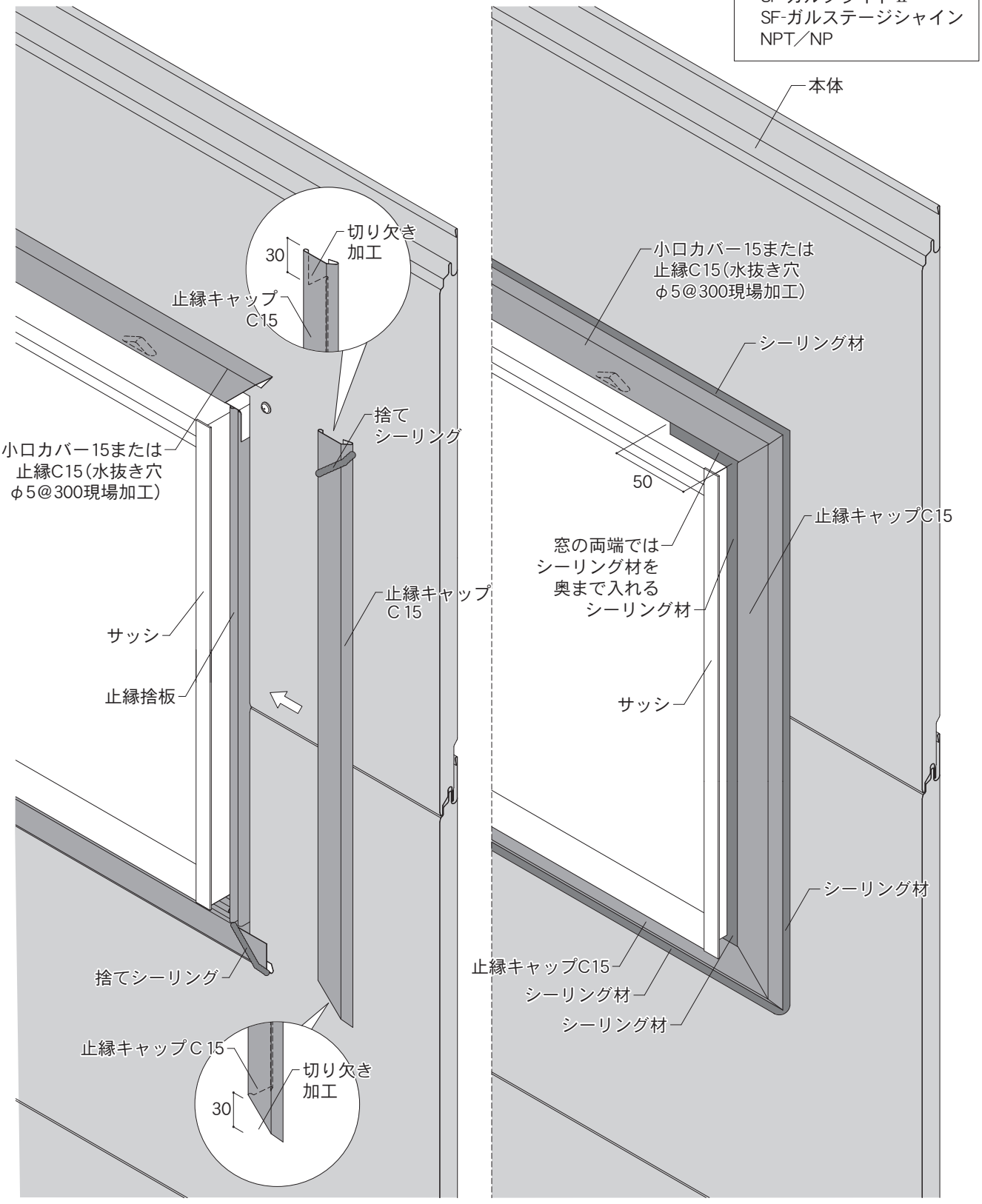
### Ⅰ. 開口部（2）

隅角部を加工する場合

・開口部左右には、止縁キャップC15を施工してください。
・部材同士が重なる箇所には、捨てシーリングを施工してください。
・開口部上では、小口カバー15または止縁C15の下端とサッシの間の左右両端50㎜程度にシーリング材を奥まで入れてください。

使用部材：小口カバー15または止縁C15・止縁キャップC15・止縁捨板・捨板（15×85）

・本頁説明商品
SP-ガルブライトⅡ
SF-ガルステージシャイン
NPT／NP



## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

単位：㎜

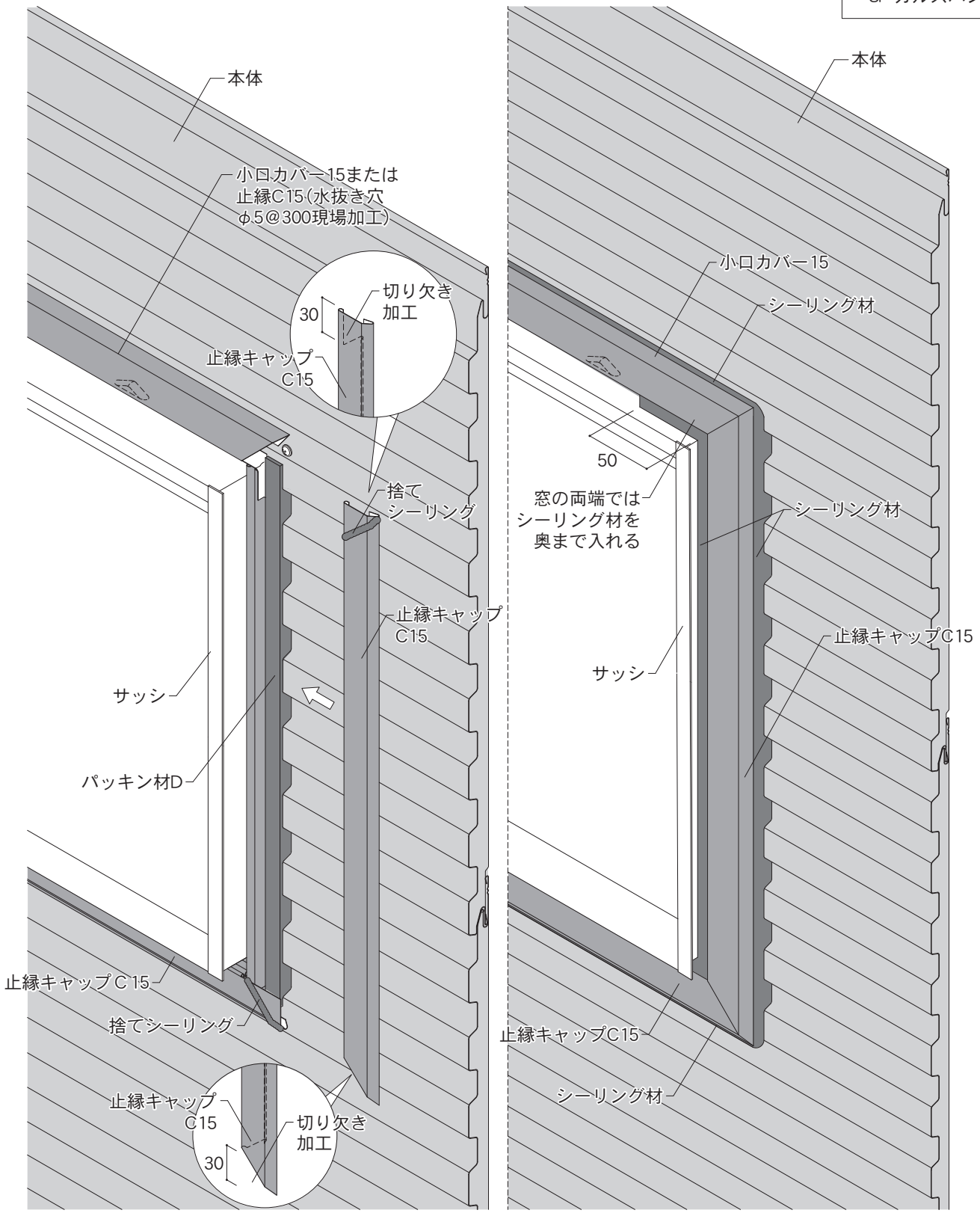
### Ⅰ. 開口部（2）

隅角部を加工する場合

・開口部左右には、止縁キャップC15を施工してください。
・部材同士が重なる箇所には、捨てシーリングを施工してください。
・開口部上では、小口カバー15の下端とサッシの間の左右両端50㎜程度にシーリング材を奥まで入れてください。

使用部材：小口カバー15・止縁キャップC15・止縁捨板・捨板（15×85）・パッキン材D・パッキン材C

・本頁説明商品
SP-ガルスパン



## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

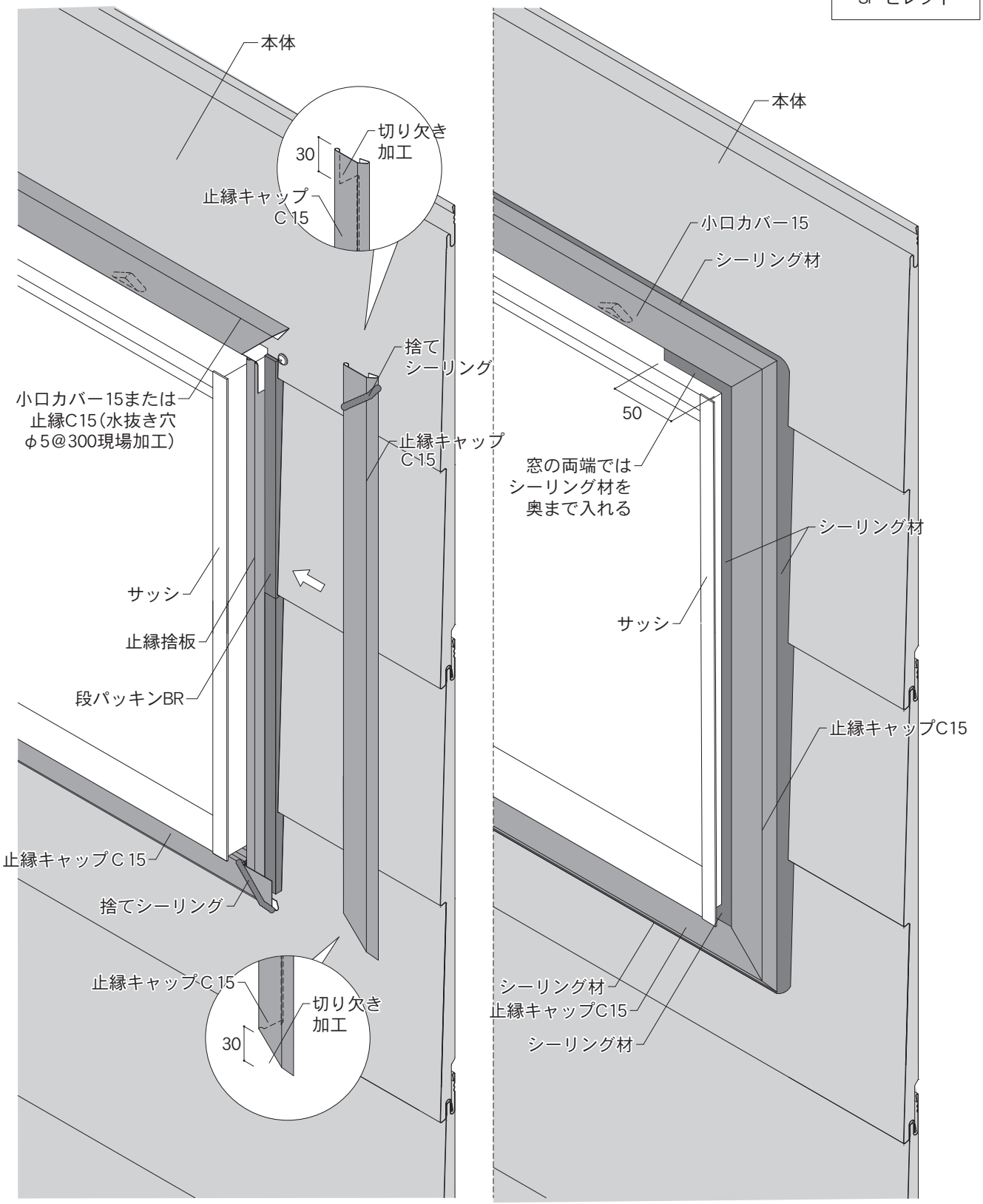
単位：㎜

### Ⅰ. 開口部（2）　隅角部を加工する場合

・開口部上では、小口カバー15の下端とサッシの間の左右両端50㎜程度にシーリング材を奥まで入れてください。
・脳天打ちをしたくぎやねじ頭には、シーリング材の施工またはタッチアップペイントで塗装してください。

使用部材：小口カバー15・止縁キャップC15・止縁捨板・捨板（15×85）・段パッキンBR

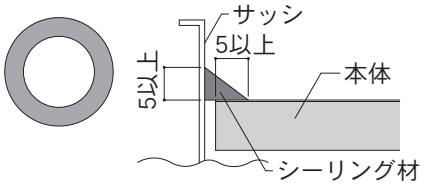
・本頁説明商品
SP-ビレクト

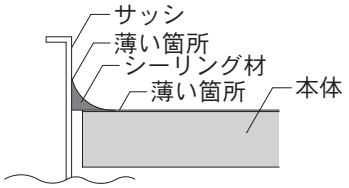


## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

### Ⅰ. 開口部（3）

・シーリング切れが生じても漏水しないよう、サッシと透湿防水シートを両面防水テープで確実に密着してください。
・本体とサッシの取り合いに施工するシーリング材は、接着断面の長さをともに5㎜以上とし、両端が薄くならないよう均一に施工してください。
・シーリング材が薄い箇所は劣化が早く進みシーリング切れの原因となります。シーリング材のこまめな点検、補修が必要です。
・本体は必ずスクリューくぎまたは木ねじで、直接下地に留め付けてください。
・開口部上では、サッシと本体の間は雨水が滞留しないよう10㎜程度のすき間をあけ、左右50㎜程度にシーリング材を奥まで入れてください。
※脳天打ちをしたくぎやねじ頭には、シーリング材の施工またはタッチアップペイントで塗装してください。

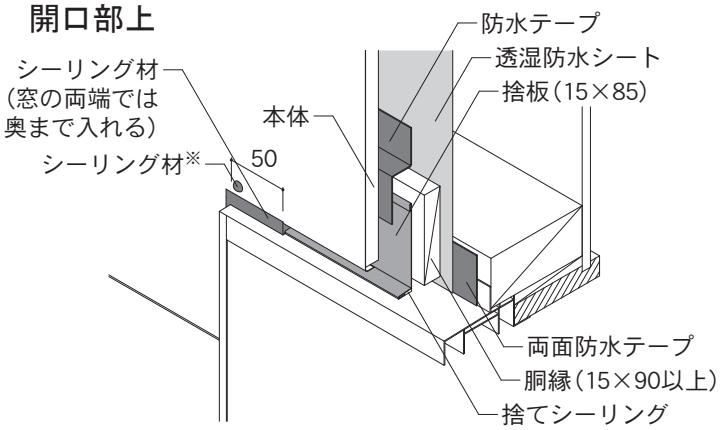


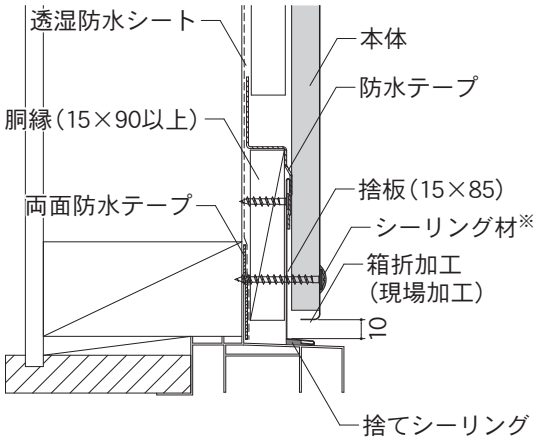




使用部材：捨板（15×85）

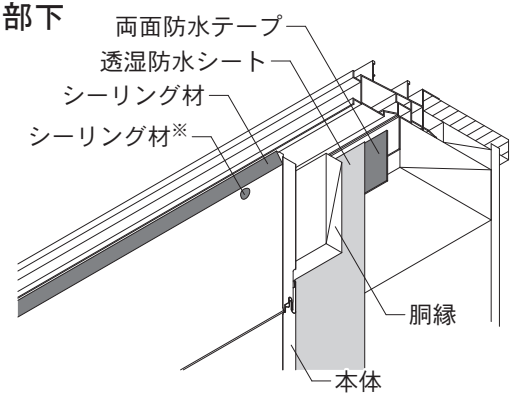
・本頁説明商品
15㎜品共通

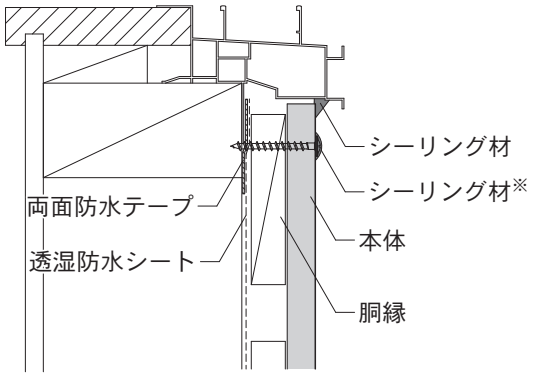
#### 開口部上



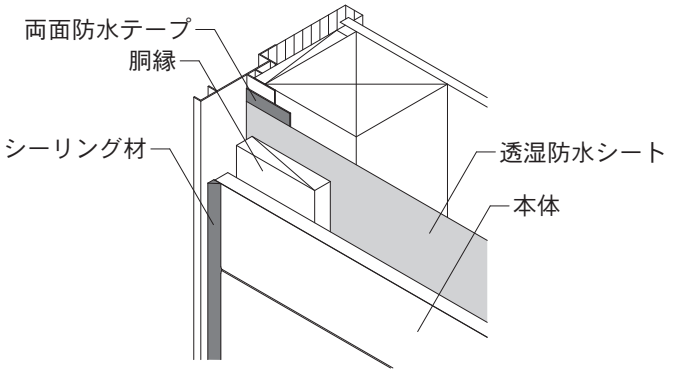



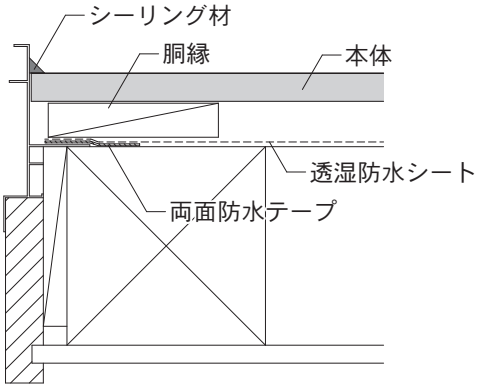

#### 開口部下




#### 開口部左右

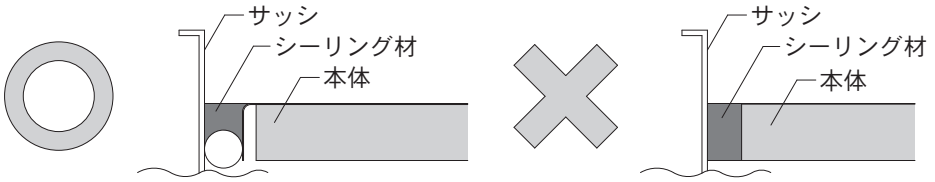


## 6－2. 15㎜品 各部位の納まり図

### Ⅰ. 開口部（4）

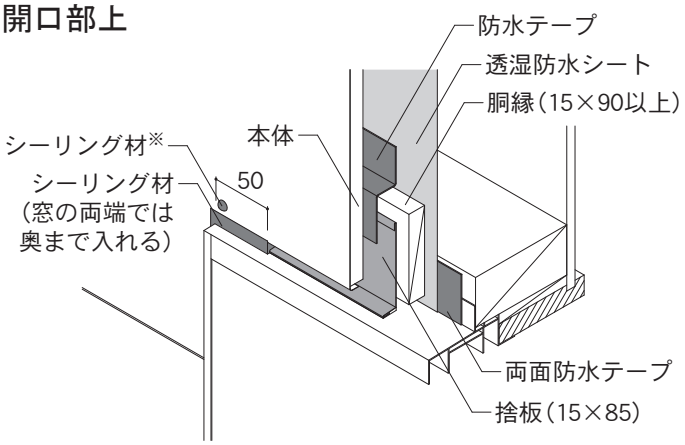
・シーリング切れが生じても漏水しないよう、サッシと透湿防水シートを両面防水テープで確実に密着してください。
・本体は必ずスクリューくぎまたは木ねじで、直接下地に留め付けてください。
・開口部上では、サッシと本体の間は雨水が滞留しないよう10㎜程度のすき間をあけ、左右50㎜程度にシーリング材を奥まで入れてください。
※脳天打ちをしたくぎやねじ頭には、シーリング材の施工またはタッチアップペイントで塗装してください。

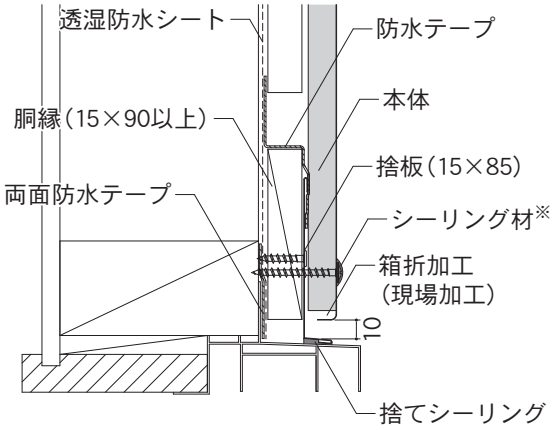



使用部材：捨板（15×85）

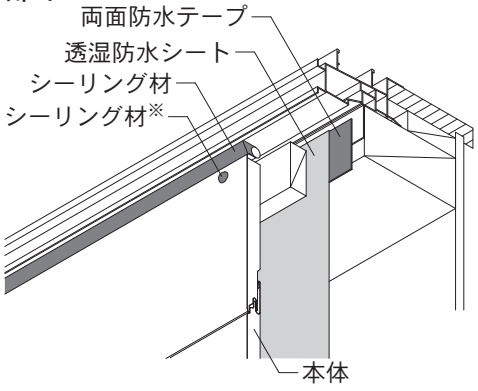
・本頁説明商品
15㎜品共通

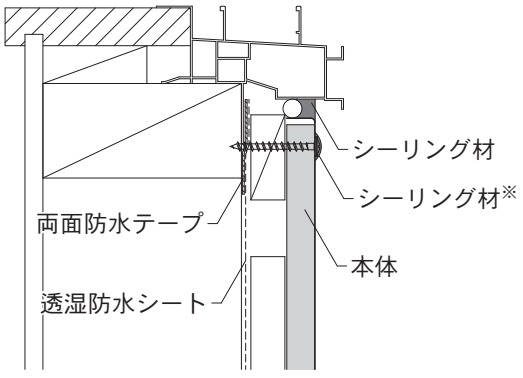
#### 開口部上

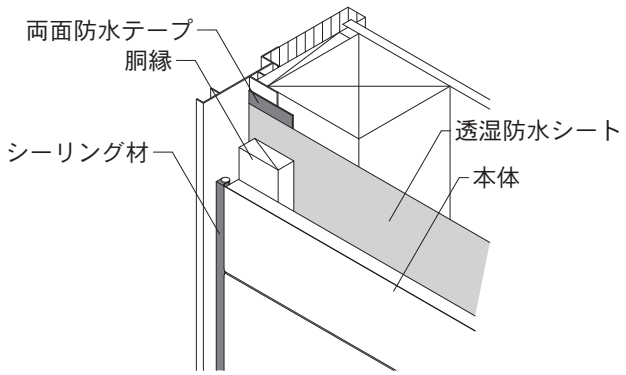
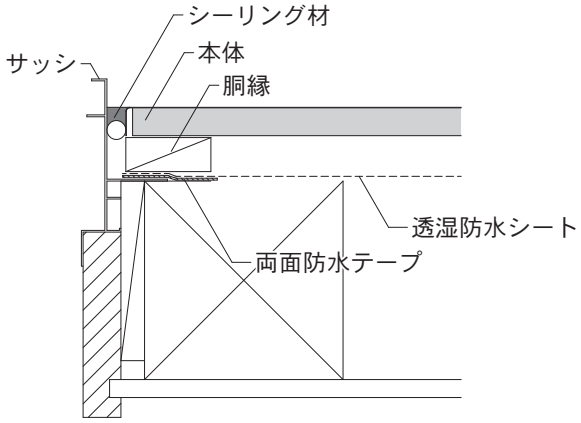



#### 開口部下




#### 開口部左右